

地域共生学科国際コミュニケーションコース

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期
基礎教育科目	大学教育入門	講義	1		1	前
	社会人基礎入門(地域と大学)	講義	1		1	前
	茶道文化Ⅰ	演習	1		1	前
	茶道文化Ⅱ	演習	1		1	後
	茶道文化Ⅲ	演習	1		2	前
	茶道文化Ⅳ	演習	1		2	後
	地域と人々	実習	2		1	通
	地域と職業	講義	2		1	後
	基礎化学	講義		2	1	前
	基礎化学実習	実習		1	1	前
	心理学	講義		2	1	前
	ビジネスマナー	演習		1	1	前
	文書資料講読	講義		2	1	後
	福祉文化	演習		1	2	後
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	1	前
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1	1	後
	Office総合演習	演習		1	2	後
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	1	前
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	1	後
	フランス語Ⅰ	演習		1	1	前
	フランス語Ⅱ	演習		1	1	後
	日本語Ⅰ	演習		1	1	前
	日本語Ⅱ	演習		1	1	後
	スポーツ実習	実習		1	1	後
	スポーツ科学	講義		2	2	後
	専門教育科目	英会話Ⅰ	演習		2	1
英会話Ⅱ		演習		1	1	4
英会話Ⅲ		演習		2	2	5・6
英会話Ⅳ		演習		2	2	7・8
英語検定Ⅰ		講義		2	1	1
英語検定Ⅱ		講義		2	1	2
英語検定Ⅲ		講義		2	2	5
多読演習Ⅰ		演習		2	1	1・2
多読演習Ⅱ		演習		1	1	3
多読演習Ⅲ		演習		2	1	4
英語ライティング&文法Ⅰ		講義		2	1	4
英語ライティング&文法Ⅱ		講義		2	2	7
英語演習Ⅰ		演習		2	2	5・6
英語演習Ⅱ		演習		2	2	8
英語演習Ⅲ(アクティブラーニング)		演習		1	2	7・8
中国語Ⅰ		講義		2	1	1・2
中国語Ⅱ		講義		2	2	6
中国語会話		演習		1	1	4
中国語検定Ⅰ		講義		2	1	1
中国語検定Ⅱ		講義		2	1	2
中国語検定Ⅲ		講義		2	2	5
中国語ライティング&文法Ⅰ		講義		2	1	4
中国語ライティング&文法Ⅱ		講義		2	2	7
中国語演習Ⅰ		演習		2	2	5・6
中国語演習Ⅱ		演習		2	2	7・8
中国語演習Ⅲ(アクティブラーニング)		演習		1	2	7・8

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期
専門教育科目	韓国語Ⅰ	講義		2	1	1・2
	韓国語Ⅱ	講義		2	2	6
	韓国語会話	演習		1	1	4
	韓国語検定Ⅰ	講義		2	1	1
	韓国語検定Ⅱ	講義		2	1	2
	韓国語検定Ⅲ	講義		2	2	5
	韓国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2	1	4
	韓国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2	2	7
	韓国語演習Ⅰ	演習		2	2	5・6
	韓国語演習Ⅱ	演習		2	2	7・8
	韓国語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	演習		1	2	7・8
	基礎日本語Ⅰ	講義		2	1	1・2
	基礎日本語Ⅱ	講義		2	2	6
	日本語会話Ⅰ	演習		2	1	1・2
	日本語会話Ⅱ	演習		1	1	4
	日本語会話Ⅲ	演習		2	2	5・6
	日本語会話Ⅳ	演習		2	2	7・8
	日本語検定Ⅰ	講義		2	1	1・2
	日本語検定Ⅱ	講義		2	1	4
	日本語検定Ⅲ	講義		2	2	7
	日本語ライティング&文法Ⅰ	講義		2	1	1
	日本語ライティング&文法Ⅱ	講義		2	2	7
	日本語演習Ⅰ	演習		2	2	5・6
	日本語演習Ⅱ	演習		2	2	7・8
	日本語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	演習		1	2	7・8
	応用日本語	講義		2	1	3
	総合日本語	講義		2	2	7
	比較文化研究	講義		2	2	7
	異文化理解演習	演習		2	1	1・2
	国際・時事研究	講義		2	2	6
	キャリアガイダンス	講義		2	1	1・2
	ビジネス文書	講義		1	1	4
	実践ビジネスマナー	演習		2	1	1・2
	ホテル業論	講義		2	1	2
	ホスピタリティビジネス	講義		2	2	7・8
	グローバル・リーダーシップ	講義		2	1	4
	実践グローバル・リーダーシップ	実習		2	1	4
	児童英語教授法	講義		2	2	5・6
	日本語教授法	講義		2	2	5・6
	Awesome Sasebo!Ⅰ(準備・導入)	演習		1	1	1・2
	Awesome Sasebo!Ⅱ(定着)	演習		1	2	5
	Awesome Sasebo!Ⅲ(応用)	演習		1	2	6
	Awesome Sasebo!Ⅳ(発展)	演習		1	2	7
	Awesome Sasebo!Ⅴ(完成)	演習		1	2	8
	ギャップイヤー事前指導	講義		2	1	1・2
	海外文化事情(留学)Ⅰ	実習		2	1	3
	海外文化事情(留学)Ⅱ	実習		2	1	3
海外文化事情(留学)Ⅲ	実習		6	1	3・5	
インターンシップⅠ	実習		2	1	3・8	
インターンシップⅡ	実習		2	1	3・8	
インターンシップⅢ	実習		2	1	3・8	
インターンシップⅣ	実習		2	2	7	
実践Awesome Sasebo!(サービスラーニング)Ⅰ	実習		2	1	3	
実践Awesome Sasebo!(サービスラーニング)Ⅱ	実習		2	1	3	
実践Awesome Sasebo!(サービスラーニング)Ⅲ	実習		2	1	3	
実践Awesome Sasebo!(サービスラーニング)Ⅳ	実習		2	1	3	
ギャップイヤー事後指導	講義		2	1	4	
卒業研究	講義		2	2	7・8	

講義科目名称：大学教育入門	授業コード：
英文科目名称： Introduction to junior college education	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1	必修	講義
担当教員				
安部恵美子				

授業概要	<p>長崎短期大学生としての自覚を深め、短期大学での学びの基本を養う。</p> <p>①建学の精神を理解する。</p> <p>②短期大学での学び、ルールやマナーを身につける</p> <p>③交流会等イベントを通して学科・コースを超え、仲間と協力し理解を深める</p> <p>④社会人基礎力職業適性テストにより自己の社会人基礎力を理解する</p> <p>⑤講義を通して短期大学での2年間の見通しを持つ</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・長崎短期大学の学生として建学の精神を理解することができる	振り返りレポート (短大での学び2)	20%
確かな専門的知識 や技能			
コミュニケーション能力	・仲間と交流しながら、お互いに理解を深めることができる	交流イベントへの参加・態度 (短大での学び4,5,7)	10%
課題解決能力	・社会人への準備段階として自己の社会人基礎力を知り、今後の学びにつなげることができる	振り返りレポート (短大での学び3,6) 最終レポート (短大での学び8)	30% 30%
主体的に学ぶ力	・長崎短期大学での学び、ルールやマナーについて理解し、短大生としての自覚を深めることができる ・長崎短期大学での2年間の見通しをもつことできる。	授業への参加・態度	10%
出席			受験用件
合計			100%

補足事項

・本授業では、振り返りレポート 50% (1回×20%、2回×15%)、最終レポート 30%、交流イベントへの参加・態度 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目 (4/9)	長崎短期大学での 学び1	・オリエンテーション ・社会人基礎力職業適性診断キャリア ステップの実施	予習：シラバスを確認し、 本授業の意義について理解 すること 復習：配布プリント等を再 度読み直すこと
2回目 (4/16)	長崎短期大学での 学び2	・建学の精神について理解する ・心の健康状態について理解する (UPI検査の実施)	予習：学生便覧の短大沿革 史、学則、3ポリシーを読 んでおくこと。 復習：配布プリント等を再 度読み直すこと
3回目 (4/23)	長崎短期大学での 学び3	・「短大での学びかた」 ・「短大生としての過ごし方ー基本的な 生活習慣と社会でのルールやマナーにつ いて」について理解する	予習：学生便覧の教育課 程、学生生活要綱を読んで おくこと。 復習：配布プリント等を再 度読み直すこと
4・5回目 (4/29)	長崎短期大学での 学び4・5	・新入生歓迎イベントを通じての短大で 学ぶ仲間と交流する	予習：学生便覧の学友会会 則を読んでおくこと。 復習：活動内容について振 り返っておくこと
6回目 (5/7)	長崎短期大学での 学び6	・「メディアリテラシーについて」 情報社会において留意すべきこと及びイ ンターネット・トラブルなどの対応につ いて理解する	予習：メディアリテラシー について調べておくこと 復習：テキストや配布プリ ント等を再度読み直すこと
7回目 (5/14)	長崎短期大学での 学び7	仲間と交流しながら、お互いに理解を 深める	予習：活動について話し合 い準備しておくこと 復習：活動内容について振 り返っておくこと
8回目 (5/21)	長崎短期大学での 学び8	・社会人基礎力職業適性診断キャリア ステップ返却&解説	予習：社会人基礎力ついて 調べておくこと 復習：診断結果を再度読み 直すこと

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	・学生便覧及び当日配付資料
履修条件	
履修上の注意	・座席は決められた場所に着くこと。講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。
オフィスアワー	・各授業担当者の講義終了後
備考・メッセージ	・資料及び返却されたレポートはファイルに綴じ込み、復習しておくこと。

講義科目名称：社会人基礎入門（地域と大学）	授業コード：
英文科目名称： Introduction to basics skills for working adults (Community and junior college)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1	必修	講義
担当教員				
安部恵美子				

授業概要	<p>長崎短期大学生及び地域の一員として自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培う</p> <p>①社会人として自己管理の方法について理解する</p> <p>②社会の一員として自分たちの意見を反映させる方法を理解する</p> <p>③地域の社会資源について知り、活用する方法を理解する</p> <p>④短大生としてできる社会貢献について理解する</p> <p>⑤今後の学びに向け、社会人への準備段階として必要な知識について理解する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・社会人として自己管理の方法について理解し、実践することができる	振り返りレポート (大人になるために3,7,8)	30%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	・社会の一員として自分たちの意見を反映させる方法を学び、実践することができる。	振り返りレポート (大人になるために4)	10%
課題解決能力	・地域の社会資源について理解し、活用することができる。 ・社会貢献について理解し、短大生としてできることに取り組むことができる。	振り返りレポート (大人になるために1,2,5,6)	40%
主体的に学ぶ力	・社会人への準備段階として必要な知識を身につけ、今後の学びにつなげることができる。	最終レポート 授業への参加・態度	15% 5%

出席	受験用件
合計	100%
補足事項	
<p>・本授業では、振り返りレポート 80% (8回×10%)、最終レポート 15%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目 (5/28)	短大との地域とのつながりについて	・地域創生学科・保育学科の「Awesome Sasebo! Project(ASP)」内容を聞き、地域貢献について理解する。	予習：シラバスを確認し、本授業の意義について理解すること。 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。
2回目 (6/4)	佐世保市の観光の現状について	・佐世保市の概要及び観光事業について理解する。	予習：佐世保市の概要及び観光事業についてHPなどで調べておくこと 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。
3回目 (6/11)	地域の防犯、交通安全について(防犯講話)	・自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。	予習：各自で取り組める防犯対策、交通安全対策などについて調べておくこと。 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。
4回目 (6/18)	明るい選挙の推進のために	・選挙の基礎知識について	予習：選挙制度について調べておくこと。 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。
5回目 (6/25)	社会貢献活動について	・自分たちで取り組める社会貢献の活動について理解する	予習：社会貢献活動の活動について調べておくこと 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。
6回目 (7/2)	高齢社会への対応について	・認知症に関する基礎的な知識を理解する	予習：認知症サポーター制度について調べておくこと。 復習：配布プリント等を再度読み直すこと
7回目 (7/9)	健康管理の方法について(保健講話)	・生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策について理解する	予習：さまざまな依存症について調べておくこと。

			復習：配布プリント等を再度読み直すこと。
8回目 (7/16)	金融の基礎知識について	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における金融の基本的な知識について理解する ・前期のまとめ（感想記入） 	予習：金融について調べおくこと。 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	・学生便覧及び当日配付資料
履修条件	
履修上の注意	・座席は決められた場所に着くこと。講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。
オフィスアワー	・各授業担当者の講義終了後
備考・メッセージ	・資料及び返却されたレポートはファイルに綴じ込み、復習しておくこと。

講義科目名称： 茶道文化 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。</p> <p>②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。）</p> <p>③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。</p> <p>④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。</p> <p>⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日本の礼儀作法を学び、相手を思いやる行動ができる。	授業への参加意欲や授業態度	15%
確かな専門的知識や技能	日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持っている。 薄茶点前が一人でできる。	正確な薄茶点前が一人で出来るか実技試験。	60%
コミュニケーション能力	茶道文化で身に付けたマナーや礼法を茶室以外の生活の中でも実践できる。	授業の感想文やアンケート調査、自己点検など。	10%
課題解決能力	正しい箸の使い方や柄杓の扱い方ができる。 掃除の仕方を知り、実践できる。 自主練習により薄茶点前ができる。	授業内や授業の準備や片付け、放課後練習態度	10%
主体的に学ぶ力	茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できる。	教科書や学習帳で、予習や復習をし、講義内容の理解度。	5%
合計			100%
補足事項			
茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	日本の礼法 ・お辞儀の仕方	【禅語：和敬清寂】 【ワンポイント】 教科書、学習帳、服紗挟み（名前を書く） ①服紗挟みの中の説明を受ける ②身だしなみ、玄関での心得について ③正しい靴の脱ぎ方 ④和室で踏んではいけないもの ⑤茶室への出入りの仕方を学ぶ （席入り、床の拝見、退席） ⑥挨拶の仕方・礼法について ・座礼（ざれい）・立礼（りつれい） ⑦準備当番、茶室での約束事 【授業内容】 ①風炉薄茶点前（見本・説明） ②和・敬・清・寂について（教科書 P2～P6） ③座礼（双手礼・爪甲礼） 立礼（会釈・敬礼・最敬礼）を学び体験する ④席入り・退席の仕方を学ぶ	茶室「不文軒」に来る時は白靴下を持って来て下さい。履いてきません。
2 回目	風炉薄茶点前① ・茶道具の説明	【禅語：看脚下】 【ワンポイント】 箸の扱い方 【授業内容】 ①茶道具の説明（教科書 P37～P50） ②服紗の畳み方扱い方を学ぶ（教科書 P53～55） ③服紗の付け方、捌き方 ④挨拶の仕方・礼法・歩き方（畳半畳3歩） ⑤席入り・退席の仕方 ⑥服紗の扱い方・棗、茶杓の清め方（教科書 P56） ⑦道具の片付け方	予習：茶道文化の意義(教科書 P7～P12)を読むでくること。 復習：四規和敬清寂・授業を受ける時の心構え
3 回目	風炉薄茶点前② ・仕込み茶碗を体験する	【禅語：洗心】 【ワンポイント】 ①上着の扱い方 ②掃除の方法 雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方 【授業内容】 ①茶道具の準備と片付け方について学ぶ ②仕込み茶碗の仕方を学び体験する	予習：茶巾の扱い方(教科書 P59～P61) 復習：礼法、正しい靴の脱ぎ方

		③服紗の扱い・棗、茶杓の清め方の復習	
4回目	風炉薄茶点前③ ・お菓子の取り方、食べ方を体験する	【禅語：大道無門】 【ワンポイント】 ①柄杓の扱い方 【授業内容】 ①お菓子の取り方、食べ方を学び体験する ②柄杓の扱い方・茶道具の持ち方を体験する ③服紗の付け方、捌き方の復習をする ④茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の復習をする	予習：箸と柄杓の扱い方 復習：茶道具と準備と片付けについて学習帳で復習する。
5回目	風炉薄茶点前④ ・茶筌通し ・茶巾の扱い方 ・茶碗の拭き方を体験する	【禅語：喫茶去】 【ワンポイント】 ①茶筌通し、茶巾の扱い方、茶碗の拭き方 【授業内容】 ①道具の置き合わせを学び、体験する ②棗清め、茶杓清め、柄杓の扱い方の復習 ③菓子の取り方、食べ方の復習をする ④点て出しを体験する	予習：教科書 P59 を見て、理解してくるように 復習：箸の使い方、茶道具の名前、席入りの仕方
6回目	風炉薄茶点前⑤ ・茶筌通し ・茶碗の拭き方	【禅語：清風匝地】 【ワンポイント】 ①敬語について（尊敬語、謙譲語、丁寧語） ②研究室への入り方を学び体験する ③訪問のマナー 【授業内容】 ①茶筌通し・茶巾の扱い方・茶碗の拭き方まで復習する。 ②道具の置き合わせから茶筌通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭き、抹茶を入れ、お湯を入れて茶筌でお茶を点て、飲むまで体験する。（点て出しをする） ③道具の片付け	予習：教科書 P74 を見ながら、理解してくる。 復習：茶道具について・片付け方までを教科書を見ながら確認しておくように。
7回目	風炉薄茶点前⑥ ・茶筌通し ・茶碗拭きまで復習	【禅語：歩々是道場】 【ワンポイント】 ①衣替えについて 【授業内容】 ①初めから茶筌通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭くまでを復習する。 ②道具の片付け	予習：点前の自主練習 復習：敬語について、学習帳で確認 片付け方確認

8 回目	風炉薄茶点前⑦ ・抹茶の入れ方 ・水指の蓋の扱い方 ・湯の入れ方 ・茶の点て方	【禅語：日々是好日】 【ワンポイント】 ①茶の種類（緑茶・ウーロン茶・紅茶） 【授業内容】 ①お茶を点てるまでを復習する ②道具の片付け	予習:教科書 P15 ～P18 を読んでくるように。 復習：茶道具について。
9 回目	風炉薄茶点前⑧ ・客点前 ・茶碗の取り込み方	【禅語：且座喫茶】 【ワンポイント】 ①喫茶法（団茶法・抹茶法・煎茶法） 【授業内容】 ①風炉薄茶前半点前復習 ②客点前を体験する ③道具の片付け	予習:教科書 P19 ～P22 までを読んでくる。 復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）、禅語
10 回目	風炉薄茶点前⑨ ・薄茶点前前半点前復習	【禅語：思無邪】 【ワンポイント】 ①佗び茶にかかわった人 村田珠光・武野紹鷗・千利休 【授業内容】 ①風炉薄茶前半点前復習 ②道具の片付け	予習:教科書 P23 ～P25 を読んでくる。 復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）を学習帳で再確認
11 回目	風炉薄茶点前⑩ ・薄茶点前前半点前（内検）	【禅語：明珠在掌】 【ワンポイント】 ①試験を受ける時の心構え （姿勢・位置・落ち着き） 【授業内容】 ①服装、身だしなみチェックシートに記入 ②風炉薄茶前半点前（内検）	予習：薄茶点前前半の自主練習を行う 復習：佗び茶にかかわった人について、学習帳で再確認
12 回目	風炉薄茶点前⑪ ・薄茶点前後半の見本 ・説明	【禅語：処々全真】 【ワンポイント】 ①武家茶にかかわった人 古田織部・小堀遠州・片桐石州 【授業内容】 ①風炉薄茶点前後半の見本・説明 ②風炉薄茶後半点前練習 ③道具の片付け	予習:教科書 P26 ～P28 を読んでくるように 復習：点前の三要素、試験時に気を付ける点

13 回目	風炉薄茶点前⑫ ・薄茶点前練習	【禅語：啐啄同時】 【ワンポイント】 実技試験のチェックポイント 【授業内容】 ①薄茶点前練習 ②道具の片付け	予習：点前の自主練習をおこなう 復習：「武家茶」について学習帳で再確認
14 回目	風炉薄茶点前確認 (実技試験)	【禅語：在眼前】 【ワンポイント】 実技試験について全体説明 【授業内容】 ①薄茶点前前半確認（実技試験） ②実技試験を受けたら、客点前をする。 ③終わった順に速やかに退席する。	予習：不文軒で自主練習を行うように 復習：今までの復習
15 回目	前期のまとめ 点前確認 自己点検・アンケート	【禅語：一期一会】 【ワンポイント】 利休七則 【授業内容】 ①薄茶点前の実技の確認 ②各班で成績発表 ③自己評価 ④アンケート記入 ⑤学習帳回収	予習：前期の自己点検を行い、感想を書いてくる。 復習：学習帳のまとめ
科目 (教職課程用)			
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分または 事項等			
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。		
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生		
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。		
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。		

備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。</p> <ol style="list-style-type: none">①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。⑥日本の礼法を学びましょう。⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。
----------	--

講義科目名称： 茶道文化Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①風炉薄茶点前を一人でできる。</p> <p>②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。</p> <p>③大寄せの茶会の心得を学ぶ。茶会の客の作法を学ぶ。季節と客組を学ぶ。</p> <p>④上座と下座について学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。</p> <p>⑤和室での立ち居振る舞いを身に付ける。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を茶道文化の授業以外でも役立てることができる。	授業への参加意欲や授業態度	15%
確かな専門的知識や技能	薄茶点前が一人でできる。日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持っている。	風炉薄茶点前が一人でできる 筆記試験	60%
コミュニケーション能力	茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができる。	授業の感想文やアンケート調査、自己点検など。	10%
課題解決能力	茶道大会に参加し、自分の役割を責任を持って果たすことができる。	茶道大会への参加状況、感想文	5%
主体的に学ぶ力	季節の移ろいを感じるができる。禅語の意味を理解できるようになる。	授業内や授業の準備や片付け、放課後練習態度	10%
合計			100%

補足事項			
茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	風炉薄茶点前①	<p>【禅語：清風万里秋】</p> <p>【ワンポイントレッスン】</p> <p>薄茶点前のポイント確認</p> <p>【授業内容】</p> <p>①本学における茶道の考え方</p> <p>②茶道文化の意義</p> <p>③準備当番、茶室での約束事</p> <p>④玄関での心得について</p> <p>⑤礼法、服紗捌き、道具の清め方・仕込み茶碗などを復習する。</p> <p>⑥道具の片付け</p>	茶室「不文軒」に来る時は白ソックスを持って来て下さい。履いてきません。
2回目	風炉薄茶点前②	<p>【禅語：平常心是道】</p> <p>【ワンポイントレッスン】</p> <p>茶道大会の映像を見る（DVD）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶点前練習</p> <p>②道具の片付け</p>	<p>予習：薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>復習：四規、授業を受ける時の心構え、礼法、正しい靴の脱ぎ方</p>
3回目	<p>風炉薄茶点前③</p> <p>着物の名称を知る</p> <p>着付けを学ぶ</p> <p>着物の畳み方を知る</p>	<p>【禅語：桂花露香】</p> <p>【ワンポイントレッスン】</p> <p>着物の種類</p> <p>着物の名称を知る</p> <p>着付けを体験する</p> <p>着物の畳み方を知る</p> <p>【授業内容】</p> <p>①着物の名称を知り、着付けを学ぶ</p> <p>②着物での立ち居振る舞いを学び、着物の畳み方を知る</p> <p>③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ</p> <p>④風炉薄茶点前練習</p>	<p>予習：薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>復習：教科書と学習帳で平戸について確認する</p>
4回目	<p>風炉薄茶点前④</p> <p>着物の名称を知る</p> <p>着付けを学ぶ</p> <p>着物の畳み方を知る</p>	<p>【禅語：行雲流水】</p> <p>【ワンポイントレッスン】</p> <p>上座と下座 1</p> <p>【授業内容】</p> <p>①着物の名称を知り、着付けを学ぶ</p> <p>②着物での立ち居振る舞いを学び、着物の畳み方を知る</p> <p>③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ</p>	<p>予習：薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>復習：茶道具と準備と片付けについて</p>

		④風炉薄茶点前練習	
5回目	風炉薄茶点前⑤ 着物の名称を知る 着付けを学ぶ 着物の畳み方を知る	【禅語：別無工夫】 【ワンポイントレッスン】 上座と下座2 【授業内容】 ①着物の名称を知り、着付けを学ぶ ②着物での立ち居振る舞いを学び、着物の畳み方を知る ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：箸の使い方、茶道具の名前、席入りの仕方
6回目	立礼見本点前披露 立礼見本点前①	【禅語：耕不尽】 【ワンポイントレッスン】 旧暦について学ぶ（1月～12月） 【授業内容】 立礼見本点前 立礼点前練習	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：茶道具について・片付け方
7回目	立礼見本点前②	【禅語：放下着】 【ワンポイントレッスン】 煎茶の入れ方 【授業内容】 ①各班で煎茶の入れ方を体験する。 ②立礼点前練習	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：学習帳で煎茶の入れ方を確認する
8回目	茶道大会パート別①	【禅語：泥多仏大】 【ワンポイントレッスン】 出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方 【授業内容】 濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：茶道具について
9回目	茶道大会パート別②	【禅語：無功德】 【ワンポイントレッスン】 和食の基本 【授業内容】 立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：点前自主練習
10回目	茶道大会で使用する道具について学ぶ	【禅語：徳不孤】 【ワンポイントレッスン】 会記について学ぶ 【授業内容】	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：点前自主練習

		①茶道大会の会場確認 ②茶道大会で使用する道具について	
11 回目	茶道の歴史について (合同講義)	茶道の歴史について合同講義 第3章 茶の湯に関わった人々 (教科書 P23～P28) 第4章 鎮信流の茶 (教科書 P29～P33) ①風炉薄茶前半点前 (内検)	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：点前自主練習
12 回目	風炉薄茶点前⑥ 立礼見本点前③	【禅語：知足】 【ワンポイントレッスン】 ①縁起物について ②正月飾りにについて 【授業内容】 ①風炉薄茶点前練習 ②立礼点前練習 ③道具の片付け	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：点前の三要素 点前中に気を付ける点の確認
13 回目	初釜	【軸：高砂・松竹梅鶴亀】 【授業内容】 ①薄茶点前拝見 ②初釜の道具組・床飾りにについて説明を聞く	予習：薄茶点前の自主練習を行う 復習：学習帳を見直す
14 回目	松芳忌	【授業内容】 ①礼拝の仕方の練習 ②松芳先生の経歴紹介 ③献茶 ④教職員、学生の順に礼拝 ⑤講話	予習：供養の献茶について学習帳を見ておく 復習：今までの復習
15 回目	学習のまとめ	【禅語：一以貫之】 【ワンポイントレッスン】 ワンポイントレッスンの振り返り (1年間分) 【授業内容】 ①学習帳まとめ ②自己評価 ③アンケート記入 ④学習帳回収	予習：点前の自主練習 復習：学習帳のまとめ
16 回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」</p> <p>テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰを履修していること
履修上の注意	<p>茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。</p> <p>TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。</p> <p>毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。</p> <p>授業開始5分前には席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。</p>
オフィスアワー	<p>茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。</p> <p>空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。</p>
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。</p> <p>①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。</p> <p>②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。</p> <p>③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。</p> <p>④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。</p> <p>⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。</p> <p>⑥日本の礼法を学びましょう。</p> <p>⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。</p> <p>⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。</p>

講義科目名称： 茶道文化Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。</p> <p>②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。</p> <p>③亭主と客の作法を学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深める。</p> <p>④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。</p> <p>⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。</p> <p>言葉遣いに気を付けるようになる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	亭主と客の心得などを習得し、先生や相手に対して心遣いができる。	授業中や授業の準備や片付け方時の態度	15%
確かな専門的知識や技能	濃茶席で使用する茶道具の名前を覚え、正しく使用できる。 正確な濃茶点前ができる。 道具を大切に扱うことができる。	実技試験。	60%
コミュニケーション能力	お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を身につけている。 日常生活に役立てている。	授業の感想文やアンケート調査、自己点検など。	10%
課題解決能力	繰り返し練習し、自然な点前を身に付けることができた。	放課後の自主練習態度	10%
主体的に学ぶ力	茶道の歴史を学び、鎮信流について説明できる。	学習帳を毎週記入しているか。授業への参加意欲や授業態度	5%
合計			100%

補足事項			
茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	風炉濃茶点前①	【禅語：和敬清寂】 【ワンポイント】 「礼儀作法・伝えたいTPO」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前（見本・説明） ②出し服紗の畳み方確認・茶入の紐の結び ③茶入、仕覆の扱い方、茶入の清め方 ④礼法復習 （双手礼・爪甲礼・会釈・敬礼・最敬礼） ⑤席入り、退席の仕方再確認	茶室「不文軒」に来る時は白ソックスを持って来て下さい。履いてきません。
2回目	風炉濃茶点前②	【禅語：梨花一枝春】 【ワンポイント】 「冠・婚・葬・祭」 【授業内容】 風炉濃茶点前前半①	予習：濃茶点前の自主練習 復習：教科書、学習帳で茶道文化の意義の再確認
3回目	風炉濃茶点前③	【禅語：花看半開】 【ワンポイント】 「熨斗の知識」 【授業内容】 三種類の柄杓の扱い （切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓） 風炉濃茶点前前半②	予習：濃茶点前の自主練習 復習：礼法、正しい靴の脱ぎ方
4回目	風炉濃茶点前④	【禅語：薫風自南来】 【ワンポイント】 「袱紗について」 【授業内容】 風炉濃茶点前前半③	予習：濃茶点前の自主練習 復習：茶道具と準備と片付けについて
5回目	風炉濃茶点前⑤	【禅語：悟無好悪】 【ワンポイント】 「衣替えについて」 【授業内容】 風炉濃茶点前後半①	予習：濃茶点前の自主練習 復習：箸の使い方、茶道具の名前、席入りの仕方
6回目	風炉濃茶点前⑥	【禅語：千里同風】 【ワンポイント】 「食事前に心がけること」 「器の扱い方」 【授業内容】 風炉濃茶点前後半②	予習：濃茶点前の自主練習 復習：茶道具について・片付け方

7回目	風炉濃茶点前⑦	【禅語：本来無一物】 【ワンポイント】 「嫌い箸について」 【授業内容】 風炉濃茶点前総復習①	予習：濃茶点前の自主練習 復習：敬語について、片付け方
8回目	風炉濃茶点前⑧	【禅語：無事】 【ワンポイント】 「五節句について」 【授業内容】 風炉濃茶点前総復習②	予習：濃茶点前の自主練習 復習：茶道具について
9回目	風炉濃茶点前⑨	【禅語：無心】 【ワンポイント】 「身だしなみチェックシート」 【授業内容】 風炉濃茶点前総復習③	予習：濃茶点前の自主練習 復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）、禅語
10回目	風炉濃茶点前（内検）	【禅語：白珪尚可磨】 【ワンポイント】 「試験を受ける心構え」 (姿勢・位置・落ち着き) 【授業内容】 風炉濃茶点前（内検）	予習：濃茶点前の自主練習 復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）、準備・片付け時の注意事項、茶花
11回目	風炉濃茶点前⑩	【禅語：萬法一如】 【ワンポイント】 「実技試験のチェックポイント」 【授業内容】 風炉濃茶点前練習	予習：濃茶点前の自主練習 復習：侘び茶、禁花
12回目	濃茶点前実技試験	【禅語：平常心是道】 実技試験のための全体説明 【授業内容】 ①濃茶点前確認（実技試験） 実技試験を受けたら、客点前をする。 終わった順に速やかに退席する。	予習：濃茶点前の自主練習 復習：点前の三要素、試験時に気を付ける点
13回目	茶会の流れと花寄せ	【禅語：王三昧】 【ワンポイント】 「禁花について」 【授業内容】 ①花寄せ ②ミニ茶会計画・練習	予習：濃茶点前の自主練習 復習：「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）、禅語

		③学習帳	
14回目	合同講義	合同講義 第4章 鎮信流の茶（教科書 P29～P33） 第5章 茶道における諸機能と茶道具について	予習：濃茶点前の自主練習 復習：今までの復習
15回目	班別ミニ茶会 点前確認 自己点検 アンケート	【禅語：一期一会】 【ワンポイント】 「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具片付け ③自己評価 ④アンケート記入 ⑤学習帳回収	予習：濃茶点前の自主練習 復習：学習帳のまとめ
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。		
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること		
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。		
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。		
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。 ⑥日本の礼法を学びましょう。 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。</p> <p>②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。</p> <p>③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。</p> <p>④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。</p> <p>⑤人や物を大切にする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	茶道文化で身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できる。	授業の感想文やアンケート調査、自己点検など。	10%
確かな専門的知識や技能	季節に応じた茶室、茶道具のあしらいに気付くことができる。	筆記試験。	60%
コミュニケーション能力	茶道大会の運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことができた。	茶道大会への参加意欲や授業態度	10%
課題解決能力	繰り返しの練習により、点前がスムーズに流れ、美味しいお茶を点てることできる。	授業態度や授業準備や片付けの態度、自主練習態度	15%
主体的に学ぶ力	茶道文化の授業を受けることにより、和室での自然な立ち居振る舞いができる。	教科書や学習帳で、予習や復習をし、講義内容の理解度。	5%
合計			100%
補足事項			

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	茶室・路地・炭点前	【禅語：月白風清】 【ワンポイント】 「炭の力」 【授業内容】 ①炭点前 DVD ②炭の説明 ③炉濃茶置き合わせ確認 ④炉濃茶点前前半確認	茶室「不文軒」に来る時は白ソックスを持って来て下さい。履いてきません。 予習：教科書 P63～P69 風炉炭点前 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う
2回目	炉濃茶点前披露	【禅語：水急不流月】 【ワンポイント】 「中秋の名月」 【授業内容】 炉濃茶点前前半復習 1 道具の片付け	予習・復習：炉の濃茶点前、風炉の点前の自主練習を行う
3回目	炉・風炉濃茶点前	【禅語：釣月耕雲】 【ワンポイント】 「和室の名称①」 【授業内容】 炉濃茶点前前半練習② 道具の片付け	予習・復習：炉の濃茶点前、風炉の点前の自主練習を行う
4回目	炉・風炉濃茶点前	【禅語：悠然見南山】 【ワンポイント】 「和室の名称②」 【授業内容】 炉濃茶点前後半練習① 道具の片付け	予習・復習：炉の濃茶点前、風炉の点前の自主練習を行う
5回目	炉・風炉濃茶点前	【禅語：独座大雄峰】	予習・復習：炉の濃茶点

		<p>【ワンポイント】 「二十四節気について」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前後半練習②</p>	前、風炉の点前の自主練習を行う
6回目	立礼点前披露	<p>【禅語：直心是道場】</p> <p>【ワンポイント】 「雑節について」</p> <p>【授業内容】 立礼見本点前 立礼点前確認</p>	予習・復習：風炉薄茶点前練習を行う 炉の濃茶点前の自主練習を行う
7回目	立礼・炉・風炉濃茶点前・薄茶点前	<p>【禅語：教外別伝不立文字】</p> <p>【ワンポイント】 「祝日・休日について」(1月～6月)</p> <p>【授業内容】 立礼、炉濃茶点前練習1</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う
8回目	立礼・炉・風炉濃茶点前・薄茶点前	<p>【禅語：古今無二路】</p> <p>【ワンポイント】 「祝日・休日について」(7月～12月)</p> <p>【授業内容】 立礼、炉濃茶点前練習2</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う
9回目	茶道大会に向けての練習	<p>【禅語：守拙全天真】</p> <p>【ワンポイント】 「縁起物(達磨・鶴亀)」</p> <p>【授業内容】 茶道大会の水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ(3パートを20分ずつローテーション) 客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方 水屋：濃茶を練る。 接待：縁高や濃茶を客へ出す。</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う
10回目	茶道大会に向けての練習	<p>【禅語：報恩謝徳】</p> <p>【ワンポイント】 「縁起物(松・竹・梅)」</p> <p>【授業内容】 茶道大会の道具説明 茶道大会当日の役割の練習に参加する</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う
11回目	茶道大会反省会・釜	<p>【禅語：門外有松風】</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う

	仕舞い	<p>【ワンポイント】 「正月飾りについて」</p> <p>【授業内容】 お別れの茶会の流れを冊子、映像で学ぶ 釜仕舞い 点て出し</p>	練習を行う
12回目	初釜	<p>【軸：高砂・松竹梅鶴亀】</p> <p>【授業内容】 初釜（濃茶点前） 点前拝見・主菓子の取り方、食べ方 濃茶の飲み方 初釜の道具組について説明を聞く 各班に分かれて新年の抱負を語る</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う。学習帳をまとめる。
13回目	松芳忌	<p>【ワンポイント】 「愛別離苦」</p> <p>【授業内容】 松芳忌、礼拝練習 経歴紹介（映像にて） 献茶 教職員、学生礼拝 講話</p>	予習・復習：点前の自主練習を行う。学習帳をまとめる。
14回目	学習のまとめ	<p>【禅語：一華開五葉】</p> <p>【ワンポイント】 茶道文化の意義・利休七則</p> <p>【授業内容】 筆記試験について 薄茶、濃茶点前練習・学習帳まとめ 自己点検・アンケート・学習帳</p>	予習・復習：教科書、学習帳で、今までの復習をする。 点前は薄茶、濃茶の自主練習を行う。
15回目	卒業記念茶会（お別れの茶会）	<p>【禅語：白珪尚可磨】</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>【授業内容】 お別れの茶会全体説明（松芳庵にて） ①茶会の流れ（寄り付き⇒外待合⇒蹲踞⇒躡り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③点前練習、点て出し 終わりの挨拶</p>	予習・復習：学習帳のまとめとお別れの茶会の冊子を読み直しておく。

		教員代表挨拶・学生代表挨拶	
16回目	定期試験		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」</p> <p>テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>		
履修条件	茶道文化Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していること		
履修上の注意	<p>茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。</p> <p>TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。</p> <p>毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。</p> <p>授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。</p>		
オフィスアワー	<p>茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。</p> <p>空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。</p>		
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。</p> <p>①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。</p> <p>②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。</p> <p>③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。</p> <p>④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。</p> <p>⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。</p> <p>⑥日本の礼法を学びましょう。</p> <p>⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。</p> <p>⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。</p>		

講義科目名称：地域と人々	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
集中	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>地域で活躍できる人材になるためには、多種多様な人とコミュニケーションする能力が求められる。本授業では、学内外での地域活動や交流を通して、コミュニケーション能力の向上や多様性理解力を身につける。それぞれのコースの特性を生かした地域活動にとどまらず、4つのコースがコラボレートした交流を、企画から運営、振り返りという一連の流れの中で行うことで、題基礎力(課題発見力・計画立案力・実践力)も身につける。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	多様な人とコミュニケーションができるようになることを目標とする。	・プレゼンテーション	30%
課題解決能力	それぞれの活動を通して、問題点(課題)を発見し、それを解決できる方法を提案できるようになることを目標とする。	・プレゼンテーション	40%
主体的に学ぶ力	積極的、能動的に参加することができることを目標とする。	・レポート	30%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、レポート提出 80%、授業への参加・態度 15%の割合で評価する。 ・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	① この授業の目的や到達目標について説明する。 ② これまでの地域活動について説明する。	予習:シラバスを読む。 復習:参加したい地域活動を決定する。
2回目	地域活動 1-1	① 参加したい地域活動を選び、グループを組む。 ② グループ内の役割を決める。	予習:役割としてどんな役割があるか考える。 復習:決まったことをきろくとしてまとめる。
3回目	地域活動 1-2	① 自分たちが取り組む活動のテーマと目標を決める。 ② 細かく計画を立て、予算が必要なものについては予算化する。	予習:あらかじめお金がかりそうなものを検討する。 復習:予算書を作り上げる。
4回目	地域活動 1-3	① 実際に活動を行う。 ② 活動を記録する。	予習:実施前に再度計画を振り返る。 復習:写真などを入れた活動記録を作る。
5回目	地域活動 1-4	① 活動を振り返り、うまくいったところと改善すべき点についてまとめる。 ② 到達目標に対する自己評価を行う。	予習:これまでの一連の流れを振り返る。 復習:成果と課題をまとめる。
6回目	地域活動 2-1	① 参加したい地域活動を選び、グループを組む。 ② グループ内の役割を決める。	予習:役割としてどんな役割があるか考える。 復習:決まったことをきろくとしてまとめる。
7回目	地域活動 2-2	① 自分たちが取り組む活動のテーマと目標を決める。 ② 細かく計画を立て、予算が必要なものについては予算化する。	予習:あらかじめお金がかりそうなものを検討する。 復習:予算書を作り上げる。
8回目	地域活動 2-3	① 実際に活動を行う。 ② 活動を記録する。	予習:実施前に再度計画を振り返る。 復習:写真などを入れた活動記録を作る。
9回目	地域活動 2-4	① 活動を振り返り、うまくいったところと改善すべき点についてまとめる。 ② 到達目標に対する自己評価を行う。	予習:これまでの一連の流れを振り返る。 復習:成果と課題をまとめる。

		う。	
10 回目	地域活動 3-1	① 参加したい地域活動を選び、グループを組む。 ② グループ内の役割を決める。	予習：役割としてどんな役割があるか考える。 復習：決まったことをきろくとしてまとめる。
11 回目	地域活動 3-2	① 自分たちが取り組む活動のテーマと目標を決める。 ② 細かく計画を立て、予算が必要なものについては予算化する。	予習：あらかじめお金がかかりそうなものを検討する。 復習：予算書を作り上げる。
12 回目	地域活動 3-3	① 実際に活動を行う。 ② 活動を記録する。	予習：実施前に再度計画を振り返る。 復習：写真などを入れた活動記録を作る。
13 回目	地域活動 3-4	① 活動を振り返り、うまくいったところと改善すべき点についてまとめる。 ② 到達目標に対する自己評価を行う。	予習：これまでの一連の流れを振り返る。 復習：成果と課題をまとめる。
14 回目	まとめ	それぞれの地域活動で何を成果として身につけたのかをまとめる。	予習：最も製菓として感じられることをまとめる。 復習：プレゼンテーションを作成し、グループ内で練習する。
15 回目	成果報告	成果をプレゼンテーションする。	予習：時間内にプレゼンテーションできるように再度調整する。
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	必ず、地域活動に 3 回参加すること。
履修上の注意	
オフィスアワー	放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。
備考・メッセージ	多様な人との交流は視野を広げ、コミュニケーション能力を高めます。やる

なら楽しんで、自分たちの得意なことを道具にして、積極的に活動しましょう。自分の得意な分野で活躍してください。

講義科目名称：地域と職業	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（食物栄養） 4 Q（製菓・介護福祉・国際コミュニケーション）	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>地域で働くための知識を幅広い角度から学ぶ。長崎県や佐世保市の地理や歴史文化、産業に関する基本を学び、地域の職業の実態や、地域にどのような企業(職業)があるのか、について学ぶ。また、地域を支える人材になるためにはどのような能力(知識や技能)が求められるのか、について地域の企業人を講師に迎え学ぶ。学外での学びとして、長崎県や佐世保市が主催する合同企業説明会や面談会に参加し、地域の職業理解を深める。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	地域の職業（企業）の実態を知り、地域を支える人材になるための能力(知識や技能)を身につけ活用することができることを目標とする。	・レポート提出	40%
コミュニケーション能力	地域の職業人や行政職員とコミュニケーションを取り、コミュニケーション能力の向上や多様性理解力を身につけ活用することができることを目標とする。	・レポート提出	40%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	自分自身のキャリアをデザインする上で必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる	・授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、レポート課題 80%、授業への参加・態度 20%の割合で評価する。
- ・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	① 就職活動におけるキャリアプランニングについて説明する。 ② 今年の就職戦線について新聞などを通して説明する。 ③ 今取り組むべきことについて説明する。	予習:シラバスを読んでくる。
2回目	就職課を活用しよう	① 就職課について(利用方法)説明する。 ② 社会が求める3つの能力と12の能力要素について説明する。 ③ 就職活動を始めるにあたり、さまざまな事前調査を行う。	予習:新聞などで就職活動に関する情報を集める。 復習:今やるべきことをまとめる。
3回目	自分をプレゼンする ①	① 紳士服会社様を招き、就活や社会人としてふさわしい服装について説明する。	予習:就活スーツについてインターネットや新聞のチラシで調べる。 復習:社会が求める能力についてまとめる。
4回目	Nagasaki しごとみらい博参加①	① 合同企業説明会に参加する。 ② 最低3社について調べてまとめる。	予習:インターネットで参加企業をしらべる。 復習:就活に求められるスーツの着こなしについてまとめる。
5回目	Nagasaki しごとみらい博参加①	〃	〃
6回目	Nagasaki しごとみらい博参加①	〃	〃
7回目	ハローワークを利用しよう	① ハローワークを招いて、今の就活の現状について説明する。 ② ハローワークの利用方法について説明する。	予習:ハローワークがどこにあるのか、どんな業務を行うか調べる。 復習:合同企業説明で一番収穫だと思ったことをまとめる。
8回目	自分をプレゼンする ②	① 化粧品会社様を招き、就活や社会人としてふさわしいメイクについて説明する。 ② 実際に体験する。	予習:就活メイクについて調べる。 復習:ハローワークについてまとめる。
9回目	フレッシュワークを利用する①	① フレッシュワークの利用の仕方について説明する。	予習:フレッシュワークがどこにあり、どんな業務を行うか調

			べる。 復習：自分の就活メイクのポイントをまとめる。
10回目	公務員について学ぶ ①	① 警察の職員を招き、警察官の業務や役割、採用試験について説明する。	予習：警察の業務について調べておく。 復習：フレッシュワーク利用上大事な点についてまとめる。
11回目	「企業との交流会」	① 佐世保の企業・事業所を招き、企業説明会を体験する。	予習：参加企業・事業所に対する質問をまとめる。 復習：公務員試験についてまとめる。
12回目	公務員について学ぶ ②	① 自衛隊職員を招き、業務や役割、採用試験について説明する。	予習：自衛隊について調べる。 復習：一般常識試験について調べる。
13回目	フレッシュワークを利用する②	② 自己PRや志望動機の書き方の基本について説明する。 ③ 実際に書いてみる。	予習：自己PRをまとめる。 復習：公務員試験対策についてまとめる。
14回目	働くための労働法規について	① 労働基準法について説明する。 ② 労働安全衛生法について説明する。 ③ 男女雇用機会均等法について説明する。 ④ 実例を通してについて説明する。	予習：ブラックアルバイトについて調べる。 復習：志望動機を書く。
15回目	まとめ	① 自分のキャリア計画をまとめる。 ② 20年後、30年後のプランをまとめる	予習：入学時に書いた自分の夢（目標）を読み返す。 復習：労働契約についてまとめる。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特に指定はしません。 毎回必要な資料を配布します。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。

備考・メッセージ

2年生では、具体的な進路選択として就職活動や留学・編入試験が始まります。しっかりと自分のキャリアを卒業後20年、30年後もイメージできる授業にしたいと思います。

講義科目名称：基礎化学	授業コード：52111
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
小玉智章				

授業概要	身の回りで起こる事象は化学反応に基づくものが多く、日々の生活を安全かつ快適に過ごすには化学の知識が必要となる場面もある。今後、化学を基礎とする科目を学習する第一歩としてだけでなく、生活のあらゆる現象を化学的な視点からとらえるようになることを目標とする。具体的には、原子の構造、化学結合、物質の量、酸と塩基、酸化還元反応、有機化学を理解する。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造、化学結合、物質の量、酸と塩基、酸化還元反応、有機化学を理解し、説明できる 濃度計算や化学反応に関わる計算ができる 	定期試験 小テスト	80% 10%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの事象に興味を持ち、その仕組みについて化学的に考えることができる。 	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 本授業では、定期試験 80%、小テスト 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方等のオリエンテーション 身近な生化学を紹介する	予習：シラバスを読んでおく
2回目	原子の構造	物質は何からできているのか。 原子の構造を理解する。	予習：教科書の第2章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
3回目	分子と化学結合	全校で学んだ原子がどのように結合して物質を構成しているのか理解する。	予習：教科書の第3章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
4回目	物質の量①	科学における数字のルールについて理解する。 原子量、分子量とその求め方について理解する。	予習：教科書の第1章と第4章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
5回目	物質の量②	全校の内容について問題を解きながら理解を深める。	予習：教科書の第4章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
6回目	化学反応の量的関係①	化学反応によって物質の量がどう変化するのかを理解する。	予習：教科書の第5章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
7回目	化学反応の量的関係②	濃度について理解する。	予習：教科書の第5章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
8回目	まとめ①	2～7回目までの内容の小テストを行う。	予習：2～7回目までの内容を復習しておく 復習：理解できていなかったところをもう一度復習する
9回目	酸と塩基①	酸と塩基の定義と性質について理解する。	予習：教科書の第6章を読んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
10回目	酸と塩基②	中和反応、pHについて理解する。	予習：教科書の第6章を読んでおく

			復習：授業内容を自分でまとめる
11 回目	酸化・還元①	酸化と還元の見義について理解する。	予習：教科書の第 7 章を讀んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
12 回目	酸化・還元②	酸化数、酸化還元滴定について理解する。	予習：教科書の第 7 章を讀んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
13 回目	有機化合物①	有機化合物の見義と性質について理解する。	予習：教科書の第 10 章を讀んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
14 回目	有機化合物②	食品中の有機化合物について理解する。	予習：教科書の第 11 章を讀んでおく 復習：授業内容を自分でまとめる
15 回目	まとめ②	9～14 回目までの内容の小テストを行う。	予習：9～14 回目までの内容を復習しておく 復習：理解できていなかったところをもう一度復習する
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教養基礎シリーズ まるわかり！基礎化学（南山堂）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：生化学実習	授業コード：53111
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択	実習
担当教員				
小玉智章				

授業概要	栄養学を学ぶ上で必要な化学の知識について、自ら実験することで理解を深める。また、1年次後期以降に開講される実験系実習で用いられる器具の特徴と使用法、実験手法およびレポート作成方法を修得することを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> 原子量、物質量、濃度、酸と塩基、酸化還元の原理について説明できる 実験器具を正しく取り扱うことができる 実験結果を整理し、レポートを書くことができる 	定期試験 レポート	60% 10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で協力をし、確実に実験を遂行できる。 	授業への参加・態度	5%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果と理論値や予測値とを比較し、評価し、考察することができる 	レポート	20%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 実習での基本的な実験を踏まえ、より専門的な理論に興味を持ち、自発的な学習ができる 	授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 本授業では、定期試験 60%、レポート 30%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の進め方、心構え、準備するもの等を理解する ・ 実験室での注意事項を理解する 	予習：シラバスを読んでおく
2回目	実験器具の扱い方①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 器具の種類と使用法を理解する 	予習：実習書を読んでおく 復習：実験ノートをまとめる
3回目	実験器具の扱い方②・実験ノートの取り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子天秤の扱い方を理解する ・ 実験ノートの取り方と実験器具の使用法について、実際に作業をしながら身につける 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
4回目	レポートの書き方①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回の作業と実験ノートをもとにレポートを作成しながら、その書き方を身につける 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
5回目	溶液の作り方①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子量、分子量、物質質量、濃度について振り返る ・ 濃度計算の方法を復習する 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：実験ノートをまとめる
6回目	溶液の作り方②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に目的の濃度の溶液を作成しながら、濃度計算、実験器具の扱い方を身につける 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
7回目	中和滴定①	<ul style="list-style-type: none"> ・ シュウ酸で水酸化ナトリウムを評定し、中和滴定の原理を理解し、手法を身につける 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：実験ノートをまとめる
8回目	中和滴定②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回で濃度を用いた水酸化ナトリウムを用いて、塩酸の濃度を評定する 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
9回目	レポートの書き方②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回・8回の中和滴定のレポートを作成しながら、その書き方を身につける 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：実験ノートをまとめる
10回目	酸化還元滴定①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酸化と還元を振り返る 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
11回目	酸化還元滴定②	<ul style="list-style-type: none"> ・ シュウ酸を用いた過マンガン酸カリウムを評定する 	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：実験ノートをまとめる

			る
12回目	レポートの書き方 ③	・ 第10回・11回の酸化還元滴定のレポートを作成しながら、その書き方を身につける	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
13回目	器具の使い方③	・ pHメーターの原理と使い方を身につける	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：実験ノートをまとめる
14回目	緩衝液	・ 実際に緩衝液に酸や塩基を混ぜてpHを測ることで、緩衝液の原理について理解する	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく
15回目	レポートの書き方 ④	・ 第14回の緩衝液のレポートを作成しながら、その書き方を身につける	予習：教科書・実習書・実験ノートを読んでおく 復習：レポートをまとめる
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教養基礎シリーズ まるわかり！基礎化学（南山堂）（「基礎化学」の授業で使用したもの）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：心理学	授業コード：12121
英文科目名称：Psychology	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（食物栄養）	2年	2単位	選択	講義
前期（製菓）	1年			
7ndQ・8ndQ（国際コミュニケーション）	2年			
担当教員				
中野明人				

授業概要	この授業は、心理学の様々な考え方を学ぶことで心豊かな人間力を身につけることを目的として行われる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解や他者理解を深め、客観的に自分をみつめることができる。 様々な人間関係について理解し、自律的に行動できる。 	・レポート（毎回授業に行う Web 報告を期限内に提出する）	80%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	・毎回、講義内容を踏まえて自分の考えをまとめる説明することができる。	・授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 本授業では、授業後アンケート 80%、授業への参加・態度 20%の割合で評価する。 授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ガイダンス	・この授業の目的や到達目標について説明する。	予習：シラバスを読み込んでおく

		・心理学の歴史について説明する。	
2回目	自分について知ろう	性格って何？エゴグラムを使って自分の行動特徴について知る。	予習：「エゴグラム」の用語を調べておく。 復習：前回のプリントを読みかえし、ポイントを確認する。
3回目	人とうまくつきあうために①	① 第一印象の大切さについて説明する。 ② 人と親密になるための方法を説明する。 ③ 自分と似た人違う人、について説明する。	予習：自分の第一印象について周囲に聞いておく 復習：自分の行動特徴を再確認する。
4回目	人とうまくつきあうために②	① 「対人魅力」について説明する。 ② なぜ人付き合いで疲れるのか、についてその理由について説明する。 ③ 過剰適応について説明する。	予習：対人魅力という言葉の意味を調べておく。 復習：自分の第一印象を確認し、望ましい自分のイメージを持つ。
5回目	集団の心理学①	① 社会的な手抜きについて説明する ② 座る場所と対人関係について説明する ③ アイヒマンの実験について説明する	予習：社会的な手抜きという言葉を探る 復習：過剰適応を防ぐには何が大切かを確認する。
6回目	集団の心理②	① 集団的葛藤について説明する ② ネットと人間関係について説明する ③ 群集心理について説明する	予習：群集心理という言葉について説明する 復習：社会的な手抜きを防ぐには何が大切かまとめておく
7回目	コミュニケーションスキル	① アサーションについて説明する。 ② 説得の心理について説明する。 ③ 心の知能指数（EQ）について説明する。	予習：アサーションという言葉を探る。 復習：ネットとの関わりで注意すべき点をまとめる。
8回目	セルフカウンセリング①	① コラージュ療法について説明し、体験してみる。	予習：コラージュという言葉を探る。 復習：EQ を高める方法をまとめる
9回目	愛着の心理学	① アタッチメントについて説明する。 ② 人間関係のクセとアタッチメントについて説明する	予習：アタッチメントという言葉を探る 復習：様々なコラージュについて振り返る
10回目	家族関係の心理学	① 家族（親子、夫婦）間のコミュニケーションについて説明する。 ② 家族間の欲求について説明する。	予習：自分の親子関係について振り返りまとめる。 復習：自分の人間関係のクセを確認する

11 回目	恋愛の心理学①	① 愛の三角理論について説明する。 ② 好意と愛情の違いについて説明する。 ③ 恋愛における対人魅力について説明する。	予習：第 4 回の授業で学んだ対人魅力を読み返す。 復習：身近な例を通して王位と愛情の違いを考える。
12 回目	恋愛の心理学②	① 類似性、相補性について説明する。 ② 自己開示について説明する。	予習：自己開示という言葉について調べる。 復習：自分自身の自己開示についてまとめる。
13 回目	困っている人の心理	① 依存症について説明する。 ② 摂食障害について説明する。 ③ アダルトチルドレンについて説明する。	予習：依存症について調べる 復習：依存症にならないための方法についてまとめる。
14 回目	困った人の心理	① 犯罪や非行の心理について説明する。 ② ストーカーの心理について説明する。	予習：最近の犯罪について調べておく 復習：ストーカーへの対処法についてまとめる。
15 回目	セルフカウンセリング	① ロールレタリングについて説明する ② 体験する。	予習：ロールレタリングという言葉について調べる。 復習：自分でできるストレス解消についてまとめる。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	プリントを適宜配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業には積極的に参加し、授業終了後に実施するアンケートに必ず返答してください。
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	心理学は比較的関心を持ってもらいやすい科目ですが、自分自身をより知るためにも積極的に受講して欲しいと思います。毎回ちょっとした心理テストも行いますが、よりよい自分の方向性を見つけるヒントになればうれしいです。

講義科目名称：ビジネスマナー	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身につける。社会人として必要なビジネスマナー、日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・良識を持ち、相手に対する思いやりの心（気持）を素直に表現することができる	筆記試験 実技試験	75% 20%
確かな専門的知識や技能	・社交儀礼の業務について理解し活用できる ・接遇用語を理解し活用できる		
コミュニケーション能力	・さまざまな価値観の人と共に生きていく（仕事をする）上で必要とされるコミュニケーション力を身につけることができる ・人間関係の対処について理解できる		
課題解決能力	・顧客心理を理解し、能力を発揮できる		
主体的に学ぶ力	・ビジネスマナーを身につけることが、社会人として相手から信頼され、仕事を円滑に進められることを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義の進め方、心構えについて説明する	予習：マナーテキストブック全体に目を通す 復習：次回の学習ページ（P.25）を確認する
2回目	人間関係は挨拶から	挨拶の持つ意味、心地よい人間関係をつくる方法を理解する	予習：人間関係について考えてみる 復習：マナーテキストブック（P.25）を読み直す
3回目	美しい立ち居振る舞い	笑顔の演出、好感の持てる挨拶のしかたを説明する	予習：笑顔の必要性について考える 復習：講義内容を確認する
4回目	身だしなみについて	身だしなみで誠実度が見抜かれることを説明する	予習：身だしなみについて考えてみる 復習：自分自身の身だしなみチェックをする
5回目	来客応対	来客の先導・ドアの開閉・席次について説明する	予習：マナーテキストブック（P40.P41.P43）に目を通す 復習：講義内容を確認する
6回目	和室でのマナー	訪問とおもてなしのマナー・座布団のマナー・和室の席次について説明する	予習：マナーテキストブック（P1.P2.P3.P4）を読む 復習：講義内容を確認する
7回目	招待状の返事の書き方	招待状の出席・欠席の返事の書き方のマナーを説明する	予習：マナーテキストブック（P5.P6）を読む 復習：返信ハガキの書き方を練習してみる
8回目	冠婚葬祭のマナー	慶弔の服装・祝儀・不祝儀袋の書き方を説明する	予習：マナーテキストブック（P7.P8.P12.P13）を読む 復習：祝儀、不祝儀袋の書き方を練習してみる
9回目	冠婚葬祭のマナー	贈り物のマナー、お見舞いのマナー、賀寿祝いについて説明する	予習：マナーテキストブック（P16.P17.P21.P22）を読

			む 復習：講義内容を確認する
10 回目	言葉遣い	正しい敬語の遣い方を説明する	予習：マナーテキストブック (P52) を読む 復習：配布プリントを読み返す
11 回目	言葉遣い	ビジネスの言葉遣い・接遇用語の説明	予習：マナーテキストブック (P53) を読む 復習：配布プリントを読み返す
12 回目	電話応対	ビジネスでの電話応対の重要性について説明する	予習：マナーテキストブック (P46.P47.P48.P49) を読む 復習：講義内容の確認
13 回目	電話応対	(I) 基礎編 ロールプレイング	予習：マナーテキストブック (P50) を読む 復習：基礎編を練習する
14 回目	電話応対	(II) 応用編 ロールプレイング	予習：マナーテキストブック (P51) 復習：応用編の練習をする
15 回目	講義の振り返り (総まとめ)	これまでの講義内容を振り返る・丁寧な挨拶の実技	予習：マナーテキストブック全体を読み返す 復習：いつでも丁寧な挨拶が出来るように練習する
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスマナーに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）・髪型をきちんと整えて講義に出席すること（スリッパ不可）
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：文書資料講読	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
小嶋 栄子 (日本人クラス)				

授業概要	<p>介護の現場では高いコミュニケーション能力に基づく円滑な対人関係の構築が重要であり、そのためのツールの一つとして「日本語の読み書き」の能力は必須である。本講義では、毎回日本語一般常識に関するドリルを行い、さらに学生の興味ある話題や課題に関する文書を読みながら、①基本的な漢字や語彙を身につけ、②さまざまな文章の内容をつかんで要約できたり、③自分の考えを文章にまとめたりできる、という個々の実践的な目標を通じて、日本語の総合力を高めていくことにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・読解した内容を要約して、それを自分の言葉で表現（話す・書く）し、介護実習の場で活かすことができる。 ・適切な表現法を学び、それを用いて自分の考えや主張を作文し、介護実習日誌に活かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・作文と小論文 	<p>60%</p> <p>15%</p>
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章の中で用いられている語句の適切な意味を理解し、介護実習の場で活かすことができる。 ・文章に書かれている内容を理解し、著者の考えまたは主張を正しく把握することを通じて、介護実習日誌に活かす言葉できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文と小論文 	15%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・介護のさまざまな場で使えるように、自分でドリルを解いて、漢字や言葉使い等に関する一般常識を身につけるための学習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に辞書（電子辞書等でも可）を活用する。 ・授業への参加・態度 	10%

合計	100%
補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは使わず毎回プリントと資料を配布するので、それらをきちんと整理しておくこと。 ・授業中の作業（小論文・作文・ドリル）は、必ず当該授業中に提出あるいは終わらせること。 	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	授業に関するオリエンテーション	授業の進め方の説明と日本語プレースメントテスト①	復習：プレースメントテストでできなかった部分の見直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
2 回目	エッセイなどの短文の読み方 1	語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル 1	復習：配布プリントの読み直しとドリル 1 でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
3 回目	エッセイなどの短文の読み方 2	文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル 2	復習：配布プリントの読み直しとドリル 2 でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
4 回目	エッセイなどの短文の読み方 3	把握した著者の考えを要約して文章にする (1)。ドリル 3	復習：配布プリントの読み直しとドリル 3 でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
5 回目	エッセイなどの短文の読み方 4	把握した著者の考えを要約して文章にする (2)。ドリル 4	復習：配布プリントの読み直しとドリル 4 でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
6 回目	エッセイなどの短文の読み方 5	学んだ表現法をもとにエッセイ風の文章を書いてみる。ドリル 5	復習：配布プリントの読み直しとドリル 5 でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。

7回目	説明文などの短文の読み方1	語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル6	復習：配布プリントの読み直しとドリル6でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
8回目	説明文などの短文の読み方2	文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル7	復習：配布プリントの読み直しとドリル7でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
9回目	説明文などの短文の読み方3	把握した著者の主張を要約して文章にする(1)。ドリル8	復習：配布プリントの読み直しとドリル8でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
10回目	説明文などの短文の読み方4	把握した著者の主張を要約して文章にする(2)。ドリル9	復習：配布プリントの読み直しとドリル9でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
11回目	説明文などの短文の読み方5	学んだ表現法をもとに自分の主張を述べる文章を書いてみる。ドリル10	復習：配布プリントの読み直しとドリル10でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
12回目	エッセイなどの長文の読み方1	文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル11	復習：配布プリントの読み直しとドリル11でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
13回目	エッセイなどの長文の読み方2	把握した著者の考えを要約して文章にする。ドリル12	復習：配布プリントの読み直しとドリル12でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。
14回目	説明文などの長文の読み方1	文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル13	復習：配布プリントの読み直しとドリル13でできなかった問題のやり直し

			予習：次回用配布プリントを読んでおく。
15 回目	説明文などの長文の読み方2	把握した著者の主張を要約して文章にする。日本語プレースメントテスト②	復習：配布プリントの読み直しとプレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：定期試験の準備
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。参考書は随時授業で紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週水曜日 16:30-18:00
備考・メッセージ	主体的な授業への参加と活発な質問を期待します。

講義科目名称：福祉文化	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2	選択	講義
担当教員				
藤島法仁				

授業概要	福祉文化の開発と課題について理解を深める。本講義では、①コミュニティについて説明できる、②コミュニティづくりと福祉文化の関係を説明できる、③生活に根付いた福祉文化について説明できる、④福祉教育の現状と課題を理解できる、⑤福祉文化の課題について理解できることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティについて説明できる。 ・コミュニティづくりと福祉文化の関係を説明できる。 ・生活に根付いた福祉文化について説明できる。 ・福祉教育の現状と課題を理解できる。 	定期試験	60%
コミュニケーション能力	グループ内で議論し、福祉教育の現状と課題を理解できる。	グループディスカッション	15%
課題解決能力	福祉文化の課題についてレポートをまとめることができる。	レポート	20%
主体的に学ぶ力	福祉文化の課題を理解し積極的な学習ができる。	授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験 60%、グループディスカッション 15%、レポート 20%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	新しいコミュニティづくりと福祉文化	コミュニティづくりと福祉文化の融合について説明する。	予習：コミュニティづくりと福祉文化の関係を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
2回目	新しいコミュニティづくりと福祉文化	コミュニティづくりと福祉文化の関係について説明する。	予習：コミュニティづくりの必要条件を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
3回目	新しいコミュニティづくりと福祉文化	コミュニティづくりの必要条件について説明する。	予習：コミュニティの定義を調べておくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
4回目	新しいコミュニティづくりと福祉文化	レポート① コミュニティと、コミュニティと福祉文化の関係についてレポートをまとめる。	予習：個別支援の限界と地域支援を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
5回目	生活に根付いた福祉文化	個別支援の限界と地域支援について説明する。	予習：地域包括ケアシステムについて調べておくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
6回目	生活に根付いた福祉文化	地域包括ケアシステムについて説明する。	予習：限界集落を再生させる地域コミュニティを読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
7回目	生活に根付いた福祉文化	限界集落を再生させる地域コミュニティについて説明する。	予習：限界集落を再生するエネルギー源と福祉文化を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
8回目	生活に根付いた福祉文化	限界集落を再生するエネルギー源と福祉文化について説明する。	予習：文化の定義を調べておくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。

9回目	生活に根付いた福祉文化	レポート② 生活に根付いた福祉文化についてレポートをまとめる。	予習：子どもの福祉文化の現状を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
10回目	人々の生活と福祉文化	子どもの福祉文化の現状について説明する。	予習：子どもの福祉文化に必要なことを読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
11回目	人々の生活と福祉文化	子どもの福祉文化に必要なことを説明する。	予習：福祉教育の定義について調べておくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
12回目	福祉教育	福祉教育の定義について説明する。	予習：福祉教育と福祉文化の関係を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
13回目	福祉教育	福祉教育と福祉文化の関係について説明する。	予習：市民性創造のための福祉教育と福祉文化を読んでおくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
14回目	福祉教育	市民性創造のための福祉教育と福祉文化について説明する。	予習：配布したプリントを整理しておくこと。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと。
15回目	まとめ	振り返りを行う。	
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書『新しい地域づくりと福祉文化』（明石書店）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水・木の5限目。

備考・メッセージ	
----------	--

講義科目名称：コンピュータ演習 I（栄養士）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1	選択	
担当教員				
久田 裕己				

授業概要	<p>①パソコンの基本操作を身につけタッチタイピングを習得する。</p> <p>②インターネットを活用した情報収集や、セキュリティ対策を身につける。</p> <p>③Wordを使い、正確かつスピーディーな文書作成が行えるよう、基本操作を学習する。</p> <p>④Excelを使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成を学習する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本操作を身につけタッチタイピングができる ・Wordを使い、正確かつスピーディーな文書作成ができる ・Excelを使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間測定 ・課題作成、提出 ・課題作成、提出 	<p>10%</p> <p>40%</p> <p>40%</p>
コミュニケーション能力			
課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使った情報を参考資料とし、自分の言葉でまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出 	10%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<p>本授業では、タイピング測定 10%、Word 課題提出 40%、Excel 課題提出 40%、インターネットによる情報収集課題レポート 10%の割合で評価する。</p> <p>レポートや課題提出は、指定の場所へファイルでの提出および、印刷物の提出とする。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	学籍番号でのログイン ネットワークドライブへのアクセス フォルダ作成 Google アカウントの作成 ファイルの移動とコピー（課題提出の方法）	復習：ネットワークドライブへのアクセス方法の手順まとめ
2回目	パソコン基礎	Google ドライブの活用 G-Mail の活用 正しいメール文章の作成、送信	復習：Google ドライブおよび G-Mail の日常活用
3回目	Word 基礎（1）	タッチタイピング 文字入力（五十音・拗音・促音）	復習：正しい指の位置の練習、キーボードを見ないで入力する練習、母音の克服
4回目	Word 基礎（2）	文字入力（カタカナ・アルファベット・漢字変換） 入力テクニック（変換の訂正・入力ミスの訂正・文節長さの変更）	復習：テキストを見ながら入力テクニックの理解
5回目	Word 基礎（3）	10分入力測定 ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定）	復習：テキストを見ながら基本操作の理解
6回目	Word 基礎（4）	10分入力測定 表枠作成（表の挿入、列の分割・結合）	復習：テキストを見ながら表操作の理解
7回目	Word 基礎（5）	10分入力測定 表枠作成（表のデザインとレイアウト）	復習：テキストを見ながら表操作の理解
8回目	Word 基礎（6）	10分入力測定 課題作成（ビジネス文書作成）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
9回目	インターネット活用	インターネットを活用した情報収集 データのダウンロード 情報セキュリティ	復習：インターネットの正しい検索やデータダウンロードの日常活用
10回目	Excel 基礎（1）	Excel の基本操作（ワークシートの操作・データ入力の基礎・オートフィル）	復習：テキストを見ながら基本操作の理解
11回目	Excel 基礎（2）	Excel の基本操作（セルの書式設定） 計算式の組み立て（加減乗除）	復習：テキストを見ながら基本操作の理解
12回目	Excel 基礎（3）	基本関数（合計、平均、カウント、最大、最小）	復習：テキストを見ながら、基本関数を理解

		印刷設定（ページ設定）	
13 回目	Excel 基礎（4）	課題作成（表計算）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
14 回目	Excel 基礎（5）	グラフ作成（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）	復習：テキストを見ながらグラフの理解
15 回目	Excel 基礎（6）	課題作成（グラフ）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習 I（テキスト代：1,000 円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるため、休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：コンピュータ演習 I	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	1	選択	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	Word や Excel の一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。製菓コースの特性から、Word では写真や図形の加工、Excel では表の作成と売上げ計算に使われる計算式やオートフィルの活用など、基礎的な操作方法を身に付けます。PowerPoint は見本を基に資料作成のための操作方法を身に付けます。また、毎時間、授業の最初にタイピング練習を 10 分間行い、印刷してもらいます。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・文字入力の手速と正確さを習得する ・Word、Excel、PowerPoint の印刷までの基本的な操作ができる ・社内外の実務文書の作成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 	50%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフから得られる情報を収集、結果を考察し解決に導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 	40%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出(毎回の 10 分間タイピング含む) 	10%
合計			100%

補足事項	
本授業では毎回 10 分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式(データもしくは印刷物)での提出とする。	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	パソコンの基礎知識（1）	パソコンの基本操作（マウス・キーボード・画面操作）、大学内でのファイル保存先設定、フォルダ作成、タイピング練習	パソコンの基本操作であるマウス・キーボード操作を習得し、今後の学習に備える
2回目	パソコンの基礎知識（2）	文章入力（ひらがな・ローマ字・漢字変換・単語入力・長文入力）	文章入力を習得し、今後の学習に備える
3回目	Word 基礎（1）	Word 基本操作（画面構成・範囲選択・コピー貼付・ページ設定）	文書作成にあたる基本操作として、範囲選択・コピー貼付を、テキストを見ながら復習を行う
4回目	Word 基礎（2）	Word によるビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定）	中央揃えやインデントなどの文字配置や飾りつけの練習を行う
5回目	Word 基礎（3）	Word によるビジネス文書の作成演習	中央揃えやインデントなどの文字配置や飾りつけの練習を行う
6回目	Word 基礎（4）	Word による表枠作成（表の挿入、列の分割・結合）	表挿入や編集を行うボタンの位置および完成例をもとにした表枠の練習課題を行う
7回目	Word 基礎（5）	Word による表枠作成（罫線の装飾）	完成例をもとにした表枠の練習課題を行う
8回目	Word 基礎のまとめ	課題作成（ビジネス社外文書）	ビジネス社外文書を完成させ、印刷し提出を行う
9回目	情報モラル（1）	インターネット社会のルール・マナー、著作権の保護、情報検索方法	インターネットを活用する際に危険な行為を再度認識し、ネット活用を行う
10回目	情報モラル（2）	個人情報ファイルの保護（パスワード設定・暗号化）	課題問題に解答し、提出を行う
11回目	Excel 基礎（1）	Excel の基本操作（表計算の基本用語と概念、画面構成、データ入力の基礎、オートフィル）	効率の良い範囲選択や自動入力など、テキストを見直して例題を解く
12回目	Excel 基礎（2）	計算式（加減乗除）、関数（合計・平均・本日の日付）	計算式の作成と関数の使用（オート SUM）の練習問題を行う
13回目	Excel 基礎（3）	セルの書式設定（フォント・配置・罫線・表示形式）、行列の操作	指示された書式を自由に設定できるよう、テキストを見直して練習問題を行う

14 回目	Excel 基礎（4）	さまざまな様式の作成（業務報告書）	指示された様式を自由に設定できるよう、テキストを見直して練習問題を行う
15 回目	PowerPoint 演習	課題作成（見本を基にスライドを作成し、印刷する）	より伝わりやすくするために、自分の作品にアニメーションを追加する
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：コンピュータ演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q・2Q	1年	1単位	選択	
担当教員				
久田 裕己				

授業概要	①パソコンの基本操作を身につけタッチタイピングを習得する。 ②インターネットを活用した情報収集や、セキュリティ対策を身につける。 ③Wordを使い、正確かつスピーディーな文書作成が行えるよう、基本操作を学習する。 ④Excelを使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成を学習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本操作を身につけタッチタイピングができる ・Wordを使い、正確かつスピーディーな文書作成ができる ・Excelを使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間測定 ・課題作成、提出 ・課題作成、提出 	10% 40% 40%
コミュニケーション能力			
課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使った情報を参考資料とし、自分の言葉でまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出 	10%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<p>本授業では、タイピング測定 10%、Word 課題提出 40%、Excel 課題提出 40%、インターネットによる情報収集課題レポート 10%の割合で評価する。</p> <p>レポートや課題提出は、指定の場所へファイルでの提出および、印刷物の提出とする。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	学籍番号でのログイン ネットワークドライブへのアクセス フォルダ作成 Google アカウントの作成 ファイルの移動とコピー（課題提出の方法）	復習：ネットワークドライブへのアクセス方法の手順まとめ
2 回目	パソコン基礎	Google ドライブの活用 G-Mail の活用 正しいメール文章の作成、送信	復習：Google ドライブおよび G-Mail の日常活用
3 回目	Word 基礎 (1)	タッチタイピング 文字入力（五十音・拗音・促音）	復習：正しい指の位置の練習、キーボードを見ないで入力する練習、母音の克服
4 回目	Word 基礎 (2)	文字入力（カタカナ・アルファベット・漢字変換） 入力テクニック（変換の訂正・入力ミスの訂正・文節長さの変更）	復習：テキストを見ながら入力テクニックの理解
5 回目	Word 基礎 (3)	10 分入力測定 ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定）	復習：テキストを見ながら基本操作の理解
6 回目	Word 基礎 (4)	10 分入力測定 表枠作成（表の挿入、列の分割・結合）	復習：テキストを見ながら表操作の理解
7 回目	Word 基礎 (5)	10 分入力測定 表枠作成（表のデザインとレイアウト）	復習：テキストを見ながら表操作の理解
8 回目	Word 基礎 (6)	10 分入力測定 課題作成（ビジネス文書作成）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
9 回目	インターネット活用	インターネットを活用した情報収集 データのダウンロード 情報セキュリティ	復習：インターネットの正しい検索やデータダウンロードの日常活用
10 回目	Excel 基礎 (1)	Excel の基本操作（ワークシートの操作・データ入力の基礎・オートフィル）	復習：テキストを見ながら基本操作の理解
11 回目	Excel 基礎 (2)	Excel の基本操作（セルの書式設定） 計算式の組み立て（加減乗除）	復習：テキストを見ながら基本操作の理解
12 回目	Excel 基礎 (3)	基本関数（合計、平均、カウント、最大、最小）	復習：テキストを見ながら、基本関数を理解

		印刷設定（ページ設定）	
13 回目	Excel 基礎（4）	課題作成（表計算）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
14 回目	Excel 基礎（5）	グラフ作成（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）	復習：テキストを見ながらグラフの理解
15 回目	Excel 基礎（6）	課題作成（グラフ）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習 I（テキスト代：1,000 円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるため、休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：コンピュータ演習 I（留学生）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q・2Q	1年	1単位	選択	
担当教員				
久田 裕己				

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①パソコンの基本操作を身につけ正確な文字入力を習得する ②インターネットを活用したホームページ閲覧やセキュリティ対策などを身につける ③Word を使い、文書作成や文字装飾が行えるよう、基本操作を学習する ④Excel を使い、表の装飾、計算式や関数の組み立てが行えるよう、基本操作を学習する
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本操作を身につけ、正確な文字入力ができる ・Word を使い、正確な文書作成や文字装飾など、基本操作ができる ・Excel を使い、計算式や関数の組み立てなど、表の装飾ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・20 分間測定 ・課題作成、提出 ・課題作成、提出 	<ul style="list-style-type: none"> 30% 30% 30%
コミュニケーション能力			
課題解決力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ社会におけるパソコン技能習得の重要性を踏まえ、積極的な授業への参加および学習ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加、態度 	10%
合計			100%

補足事項
<p>本授業では、日本語での文章入力 30%、Word 課題提出 30%、Excel 課題提出 30%、授業への参加と態度 10%の割合で評価する。</p> <p>レポートや課題提出は、指定の場所へファイルでの提出および、印刷物の提出とする。</p>

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	学籍番号でのログイン ネットワークドライブへのアクセス フォルダ作成、 Google アカウントの作成 ファイルの移動とコピー（課題提出の方法）	復習：ネットワークドライブへのアクセス方法の手順まとめ
2 回目	Word 基礎 (1)	タッチタイピング 文字入力（五十音）	
3 回目	Word 基礎 (1)	タッチタイピング 文字入力（拗音・促音）	復習：文字入力の練習
4 回目	Word 基礎 (2)	文字入力（漢字変換・カタカナ変換）	復習：文字入力の練習
5 回目	Word 基礎 (3)	文字入力（アルファベット・数字・記号・読めない文字の入力）	復習：文字入力の練習
6 回目	Word 基礎 (4)	文書の作成（文字の装飾）	復習：文字の装飾の理解
7 回目	Word 基礎 (5)	文書の作成（文字の拡張書式） 文書の印刷設定、ページ設定	復習：文字の装飾の理解
8 回目	Word 基礎 (6)	20 分入力測定 課題作成（ビジネス文書作成）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
9 回目	インターネット活用	インターネットを活用した情報収集 データのダウンロード 情報セキュリティ	復習：インターネットの正しい検索やデータダウンロードの日常活用
10 回目	Excel 基礎 (1)	Excel の基本操作（ワークシートの操作・データ入力の基礎）	復習：基本操作の理解
11 回目	Excel 基礎 (2)	Excel の基本操作（オートフィル、セルの書式設定）	復習：基本操作の理解
12 回目	Excel 基礎 (3)	セルの書式設定（フォント、配置、表示形式、罫線）	復習：基本操作の理解
13 回目	Excel 基礎 (4)	計算式の組み立て（足し算・引き算・掛け算・割り算）	復習：計算式の理解
14 回目	Excel 基礎 (5)	基本関数（合計、平均）	復習：基本関数の理解
15 回目	Excel 基礎 (6)	課題作成（表計算）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：なし、必要に応じてプリント配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるため、休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：コンピュータ演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	1	選択	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	<p>前期のコンピュータ演習Ⅰで習得した基本操作テクニックを基に、より実践的な課題に取り組むことで成果物のクオリティを上げつつ短時間での完成を目指します。また、栄養計算ソフトで献立作成演習を行い、最終課題として PowerPoint で発表会を行います。</p> <p>①Word を使ったポスターの作成を学習する</p> <p>②Excel 関数を使った表の作成やグラフの作成を学習する</p> <p>③栄養計算ソフトを使った栄養計算表や栄養成分グラフ、月間献立表の作成を学習する</p> <p>④アンケートの集計、報告方法を学習する</p> <p>⑤PowerPoint で報告する方法を学習する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	Word の一般的な操作、Excel でのデータ集計、栄養 Pro を用いた栄養価計算、PowerPoint の基本的な使い方を学ぶ。	・課題提出	60%
コミュニケーション能力	限られた時間で相手に伝わるようにプレゼンテーションを展開する。	・発表会	0%
課題解決能力	掲示物やプレゼンテーションを構築する。	・課題提出	30%
主体的に学ぶ力	授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける。	・課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

本授業では毎回 10 分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション、Word の操作	コンピュータ室利用のきまりの説明、Word の基本的な操作方法の演習やタイピング練習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
2 回目	Excel の基礎演習 1	サンプルデータを基に Excel の計算、表、グラフの書式などを学びます。	Excel の印刷や表示方法について予習しておく。
3 回目	Excel の基礎演習 2	引き続き、サンプルデータを基に Excel の計算、表、グラフの書式などを学びます。	グラフの作り方や種類について予習しておく。
4 回目	Word の応用演習	サンプルデータを基に、Word の様々な機能を使ってポスターを作成します。	Word の図や図形について予習しておく。
5 回目	Excel の応用演習 1	集計サンプルから countif などの関数を用いてデータを加工します。	基本的な関数を復習しておく。
6 回目	Excel の応用演習 2	集計サンプルからフィルター機能などを体験し、別シートでのグラフ作成を行います。	様々なグラフを復習し、countif 関数を予習しておく。
7 回目	Excel の応用演習 3	集計サンプルからピボットテーブルやグラフを作成し word と連携します。	ピボットテーブルの使い方について予習しておく。
8 回目	Excel の応用演習 4	集計サンプルからピボットテーブルの使い方を復習します。	ピボットテーブルの使い方について復習しておく。
9 回目	Word の応用演習 2	集計したデータの結果から考察を導き、レポートを作成します。	ピボットテーブルからグラフ作成までの手順を復習しておく。
10 回目	栄養計算 Pro の活用 1	栄養計算 Pro を用い、献立の入力を行います。	PFC 比率について予習しておく。
11 回目	栄養計算 Pro の活用 2	栄養計算 Pro を用い、栄養価計算を行います。	栄養価計算について予習しておく。
12 回目	PowerPoint の基本操作 1	サンプルデータを基に PowerPoint の復習を行います。	アニメーションの使い方について予習しておく。
13 回目	最終課題 1	最終課題に着手するための調査を行います。	最終課題について調査しておく。
14 回目	最終課題 2	最終課題作成。	最終課題を進めておく。
15 回目	最終課題 3	最終課題提出。	最終課題を進めておく。

		発表会	
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：毎回、プリントを配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の提出課題が評価に繋がるため、休んだ場合も提出すること。

講義科目名称：コンピュータ演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1			演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	Word の一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。製菓コースの特性から、図や表を使用した文書作成に重点を置き、最終課題として実習の授業と連動したオリジナルレシピの作成を目標にします。また、毎回授業の最初にタイピング練習を 10 分間行い、印刷してもらいます。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・文字入力の手速と正確さを習得する ・Word、Excel、PowerPoint の印刷までの基本的な操作ができる ・社内外の実務文書の作成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 	40%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルレシピをパソコンで表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 	50%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出(毎回の 10 分間タイピング含む) 	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では毎回 10 分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式(データもしくは印刷物)での提出とする。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	コンピュータ室利用のきまりの説明。	タイピングの基本ポジション

	ン	Wordの基本的な操作方法の演習。タイピング練習。	ンを予習しておく。
2回目	Wordの文字装飾演習	見本のプリントを参考に文字の装飾を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
3回目	Wordの表の作成と装飾	見本のプリントを参考に表の作成と装飾を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
4回目	Wordの地図の作成	見本のプリントを参考に地図の作成を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
5回目	Wordの実践演習	Wordを使って、商品紹介チラシを作成します。4回目までの内容に加え、写真の挿入やバリエーション豊かな装飾など、手数が多くなります。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
6回目	Excelの文字と罫線のテクニック	Excelの文字入力と枠線（罫線）の仕組みと線種を学び、活用できるようにテクニックを習得します。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
7回目	Excelの表とグラフ1	サンプルデータを基に表とグラフの作成および装飾を行います。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
8回目	Excelの表とグラフ2	前回は引き続き、様々なグラフの演習を行います。（徐々に関数も習得してもらいます。）	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
9回目	Excelの表とグラフ3	サンプルデータを基に関数を使った計算式の演習とグラフ演習を行います。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
10回目	Excelの関数1	サンプルデータを基に関数を使った計算式の作成とデータの装飾を学びます。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
11回目	Excelの関数2	前回の応用として、さまざまなサンプルデータを基に関数を使った計算式の作成とデータの装飾を学び、ひとりでも活用できるように習得します。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
12回目	レシピ作成 準備と調査	実習授業の課題の一つであるオリジナルレシピはこの授業の評価に用いる最終課題となります。習得したテクニックをフル活用しパソコンで形よく仕上	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。オリジナルレシピを試作し完成写真

		げてください。この時間はレシピについて、インターネットを用いて調査する準備時間とします。	(必須)を撮っておくこと。
13回目	最終課題① レシピ作成 制作	実習授業の課題の一つであるオリジナルレシピについて、パソコンを使って完成写真入りのレシピを形よく仕上げます。評価に用いる最終課題となります。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
14回目	最終課題② レシピ作成 制作	実習授業の課題の一つであるオリジナルレシピについて、パソコンを使って完成写真入りのレシピを形よく仕上げます。評価に用いる最終課題となります。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
15回目	最終課題③ レシピ作成 提出	実習授業の課題の一つであるオリジナルレシピについて、パソコンを使って完成写真入りのレシピを形よく仕上げます。評価に用いる最終課題となります。習得したテクニックをフル活用し必ず期限内に提出すること。	基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。
16回目			

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：コンピュータ演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1	1	選択	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	<p>Word の一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。ビジネス文書作成、ポスターチラシなどの作成演習も行います。毎回必ず授業の冒頭にタイピング練習を行います。</p> <p>①文字入力の手速と正確さを習得する ②正確で美しい文書の作成ができるようになる ③社内外の実務文書の作成ができるようになる ④広告文書を作成できるようになる ⑤ワープロ検定試験、文書デザイン検定の2級レベル以上を目標とする</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	Word、Excel、PowerPoint の基本的な 使い方を身に付ける。	・課題提出	90%
異文化知識・対応 能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン 力	授業態度や完成まで取り組む姿勢を 身に付ける。	・課題提出	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では毎回 10 分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション、Wordの復習	コンピュータ室利用のきまりの説明。 Wordの基本的な操作方法の演習。タイピング練習。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
2回目	Excel1	関数を使った表計算。	よく使う関数を復習しておく。
3回目	Excel2	表とグラフの演習。	グラフの作り方を復習しておく。
4回目	Excel3	表とグラフの演習。	グラフの作り方を復習しておく。
5回目	Wordの基礎1	Wordを使った文書作成。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
6回目	Wordの応用1	Wordの様々な機能を使ったポスター作成。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
7回目	Wordの応用2	Wordの様々な機能を使ったポスター作成。デザインについて	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
8回目	Wordの応用3	図や図形、テキストボックスの効果的な使い方。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
9回目	Wordの応用4	地図の作り方。縦書きポスターの作成。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
10回目	Wordの応用5	smartartの使い方①	smartartの使い方を予習しておく。
11回目	Wordの応用6	smartartの使い方②	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
12回目	PowerPointの基礎	プレゼン資料の作成演習①	PowerPointの様々な印刷方法を予習しておく。
13回目	PowerPointの基礎	プレゼン資料の作成演習②	資料作成について復習しておく。
14回目	総合演習1	Officeソフトの連携演習①	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
15回目	総合演習2	Officeソフトの連携演習②	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
16回目			

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：毎回、プリントを配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の提出課題が評価に繋がるため休んだ場合も提出すること。 評価には含めないが、就職活動に向けて年4回の検定試験にも積極的に挑戦する事。

講義科目名称：コンピュータ演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1	1	選択	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	前期コンピュータ演習Ⅰに引き続き、Wordの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。また、タイピングを通じて日本語能力も養います。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本語文字入力の手速と正確さを習得する Wordを使ってのポスターやパンフレットの作成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 	60%
異文化知識・対応 能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン 力	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出(毎回の10分間タイピング含む) 	40%
合計			100%

補足事項	
<p>本授業では毎回10分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式(データもしくは印刷物)での提出とする。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	MS Wordの復習1	Wordの使い方の復習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
2回目	MS Wordの復習2	Wordの使い方の復習を行います。前回	タイピングの基本ポジション

		よりも1ランク難易度が上がります。	ンを予習しておく。
3回目	日本語会話文のタイピング1	日本語会話を、タイピングを通じて学習します。なるべく多くのシチュエーションを覚えてください。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
4回目	日本語会話文のタイピング2	日本語会話を、タイピングを通じて学習します。なるべく多くのシチュエーションを覚えてください。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
5回目	MS Wordを使ったレポート作成1	Wordを使って、レポートを作成します。できる限り美しく仕上げてください。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
6回目	MS Wordを使ったレポート作成2	Wordを使って、レポートを作成します。できる限り美しく仕上げてください。評価に用いますので期限厳守で提出してください。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
7回目	ポスター作成演習1	見本を基に実践的なポスターの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
8回目	ポスター作成演習2	見本を基に実践的なポスターの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
9回目	ポスター作成演習3	見本を基に実践的なポスターの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
10回目	パンフレット作成演習1	見本を基に実践的なパンフレットの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
11回目	パンフレット作成演習2	見本を基に実践的なパンフレットの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
12回目	パンフレット作成演習3	見本を基に実践的なパンフレットの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
13回目	パンフレット作成演習4	見本を基に実践的なパンフレットの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
14回目	パンフレット作成演習5	見本を基に実践的なパンフレットの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
15回目	パンフレット作成演習6	見本を基に実践的なパンフレットの作成演習を行います。	タイピングの基本ポジションを予習しておく。
16回目			

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：Office 総合演習	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q・8Q	2年	1単位	選択	
担当教員				
久田 裕己				

授業概要	①タイピングを習得し、原稿を見ないで打つタッチタイピングを身につける(2級レベル) ②Wordの高度な機能を使い、複雑な表作成や段組みなどを使った文書作成を学習する ③Excelの高度な機能を使い、さまざまな関数、データベースや集計、上級グラフなどのデータ活用方法を学習する
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・正確でスピーディなタイピングを行うことができ、10分間で500文字程度の入力を行うことができる ・Wordの高度な機能を使い、複雑な表作成や段組み、図形描画応用などを使った文書作成ができる ・Excelの高度な機能を使い、さまざまな関数、データベースや集計、上級グラフの活用などの、データの活用ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間測定 ・課題作成、提出 ・課題作成、提出 	10% 30% 20% 20% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、タイピング課題提出10%、Word課題提出30%、Excel課題提出60%の割合で評価する。課題提出は、指定の場所へファイルでの提出および、印刷物の提出とする。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション Word 復習	ファイルの移動とコピー（課題提出の方法） タイピング、スピードアップ練習 Word の基本操作復習	復習：Word で文書作成をするための基本操作を習得しておく
2回目	Word 上級（1）	タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成1（セルの分割と結合）	復習：複雑な表作成方法の理解と練習
3回目	Word 上級（2）	タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成2（複合表）	復習：複雑な書式設定方法の理解と練習
4回目	Word 上級（3）	タイピング、スピードアップ練習 図形の基本操作（移動・サイズ変更） ワードアート・クリップアート	復習：図形挿入やイラスト挿入の理解と練習
5回目	Word 上級（4）	タイピング、スピードアップ練習 図形の挿入と編集（テキストボックス） 図形を使った地図の作成	復習：地図作成の手順の復習
6回目	Word 上級（5）	課題作成（地図を含む案内文）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
7回目	Excel データ活用（1）	関数1（IF・AND・OR）	復習：関数の練習問題で復習
8回目	Excel データ活用（2）	関数1（IF・AND・OR）	復習：関数の練習問題で復習
9回目	Excel データ活用（3）	関数2（VLOOKUP・HLOOKUP・LEFT・RIGHT・MID）	復習：関数の練習問題で復習
10回目	Excel データ活用（4）	関数3（SUMIF・COUNTIF）	復習：関数の練習問題で復習
11回目	Excel データ活用（5）	課題作成（関数）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
12回目	Excel データ活用（6）	データの集計（データのグループ化・関数を使わない小計・平均）	復習：データ集計の練習
13回目	Excel データ活用（7）	課題作成（データ集計表）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
14回目	Excel データ活用（8）	上級グラフ作成（折れ線と縦棒の複合グラフ）	復習：複数のグラフ作成パターンの練習
15回目	Excel データ活用（9）	課題作成（グラフ作成）	課題未完成の場合は完成し、印刷と保存
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：MsOffice 演習Ⅱ（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるため、休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：英語コミュニケーション I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位		講義
担当教員				
内山智子				

授業概要	<p>英語で日本や海外の「食」に関する記事を幅広く学習し理解することを目標とする。基本的に配布するハンドアウトに従って授業を行う。食材や食文化についてのエッセイを中心とし、また接客に関する英語表現、食に関するそれぞれの文化にまつわる教材なども積極的に取り入れる。英文読解を軸としつつ、文法知識の習得・復習や、スピーキング・リスニングの練習、簡単なライティングなどの練習も授業中に行う。毎回記事を映像や音声を通して学習し、総合的な英語力を高める。定着を図るために毎回小テストを行います。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会や時代の流れに問題意識を持ち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	外国語で書かれた具体的・もしくは抽象的な話題についてのある程度複雑な文章を読み、内容を理解することができる。	筆記試験 小テスト	50% 30%
コミュニケーション能力	自己の文化的ルールや偏見について自分で認識しており、明確に自分の意見を述べることができる。		
課題解決能力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけ課題の解決方法を検討し複数のプロセスを明確にし、計画することができる。	課題提出 プレゼンテーション	15%
主体的に学ぶ力	自己について深く理解し、課題や興味関心に基づき積極的な学習ができる。		
合計			100%
補足事項			

本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出・プレゼンテーション 15%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション 食材や食文化（1）	授業内容の概要説明 予習・復習方法の説明 記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理
2回目	食材や食文化（2）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
3回目	食材や食文化（3）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
4回目	食材や食文化（4）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
5回目	食材や食文化（5）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
6回目	接客に関する英語表現（リスニング・スピーキング）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
7回目	食材や食文化（6）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく

8回目	食材や食文化（7）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
9回目	食材や食文化（8）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
10回目	食材や食文化（9）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
11回目	食材や食文化（10）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
12回目	食材や食文化（11）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
13回目	食材や食文化（12）	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
14回目	授業前半の内容についての確認・小テスト	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
15回目	授業後半の内容についての確認・小テスト	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業の中で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業中の携帯電話は辞書使用時のみ許可する。
オフィスアワー	水曜 1 限
備考・メッセージ	本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出・プレゼンテーション 15%の割合で評価する。毎回必ず復習・予習をすること。

講義科目名称：日本語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1	選択	演習
担当教員				
福元 美和子				

授業概要	<p>本授業は、日本語の基礎（文法・語彙）を伸ばすと同時に、日本社会で必要とされる日本語運用力（ビジネス日本語など）を習得し、実生活へ活用できるようになることを主眼としている。こうした力を付けることは、製菓コースの専門分野の授業やその先の未来にも役立つものとする。</p> <p>受講者には、主体的な学習態度での参加を望みます。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	本授業を通して、日本語力を磨き、より日本社会に適応する力をつける。	・授業内や課題、連絡等に対する姿勢（ルーブリック評価）	10%
確かな専門的知識や技能	本授業を通して日本語の基礎を学び、専門知識理解へのツールを修得する。	・定期試験	50%
コミュニケーション能力	本授業を通して、日本語を社会的に適切で円滑なコミュニケーション力を身に付け、専門授業や周囲や社会とのつながりに活かす。	・ミニテスト※1 ・授業内（ルーブリック評価）	20% 10%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	本授業が日本語力向上のために必要であることを理解し、積極的な学習ができる。	・授業内（ルーブリック評価）	10%
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験 50%のほか、上記に挙げた項目をルーブリック式で評価を行う。ルーブリック評価の内容は、初回の授業で開示、説明を行う。

授業を欠席等の場合には、授業のフォローや次回までの課題等を伝えるため、メールまたは Melly で

連絡すること。

※1 ミニテストを実施する際は、事前に授業内で告知する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、心構え、評価の方法について説明する。授業の進め方に関しては、実際にテキストを用いながら流れと、毎回出す宿題箇所を確認する。また、学力を確認するため、簡単な会話のテストを行う。	予習：事前にシラバスを読んでおく。 復習：授業で告知した課題
2回目	①文法1 ②ビジネス日本語1	①動詞の活用- (1) ・動詞の3分類 ・「ます形」「た形」「て形」 ②自己紹介- (1) ・就職やアルバイトの面接を意識した自己分析に必要な日本語導入	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
3回目	①文法2 ②ビジネス日本語2	①動詞の活用- (2) ・「辞書形」「ない形」ほか ②自己紹介- (2) ・自己分析シート作成 (前半)	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
4回目	①文法3 ②ビジネス日本語3	①形容詞の活用- (1) ・イ形容詞とナ形容詞 ②自己紹介- (3) ・自己分析シート作成 (後半)	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
5回目	①文法4 ②ビジネス日本語4	①形容詞の活用- (2) ・イ形容詞とナ形容詞 ②業界・業種・職種について ・語彙の導入	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
6回目	①文法5 ②ビジネス日本語5	①敬語- (1) ②業界・業種・職種について ・自分が就きたい業界・業種・職種を資料から調べ、自己分析シートに記入する。	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
7回目	①文法6 ②ビジネス日本語6	①敬語- (2) ②業界・業種・職種について ・勤務形態などの語彙導入	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題

8回目	①文法7 ②ビジネス日本語7	①動詞-「て形」の応用 (継続性・瞬間性) ②業界・業種・職種について ・自分が就きたい業種・業種・職種を実際の求人広告から調べ、自己分析シートに記入する。	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
9回目	①文法8 ②ビジネス日本語8	①動詞-「他動詞と自動詞」 ②メール作成ができる (教員やアルバイト先宛) ・授業を休む、遅刻するなど ・お願いやアポイント依頼 ・謝罪など	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
10回目	①文法9 ②ビジネス日本語9	①動詞-「可能表現」 ②履歴書の書き方の基礎知識	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
11回目	①文法10 ②ビジネス日本語10	① 動詞-「授受」 ②アルバイトで使う日本語 ・電話で面接のアポイントをとる。	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
12回目	①文法11 ②ビジネス日本語11	①動詞-「使役」 ②予期せぬ事件や事故等に遭遇した際に、迅速な対応や説明ができる。	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
13回目	①文法12 ②ビジネス日本語12	①動詞-「受身・使役受身」 ②体調についての日本語(1) ・体調不要を説明する ・病院の日本語	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
14回目	文法13 ②ビジネス日本語13	①文法-「～と、～ば、～たら」 ②体調についての日本語(2)	予習：本授業で学習することばを確認する。 復習：授業で告知した課題
15回目	総まとめ	これまでの総まとめ	予習：これまでの授業内容の確認 復習：試験準備
16回目	定期試験	筆記試験	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	「短期集中 初級日本語文法総まとめポイント 20」スリーエーネットワーク 「できる日本語 初中級」アルク 「伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力」図書刊行会 そのほか、適宜資料配布
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提として授業を進めるので、事前にしっかり準備してくるここと。
オフィスアワー	授業の前後で対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	自分の日本語力を客観的に見て、日本語力を磨く姿勢で授業に臨んで欲しい。受け身の姿勢では語学力は伸びにくいことを自覚し、丁寧に確実に、そして楽しく学びましょう。 ※本授業のに関する連絡（休講など）は、学科の掲示板で行います。

講義科目名称：日本語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
福元美和子				

授業概要	日本語能力試験 N2~N1 対応の文法を扱う。テキストに基づいて進めるが、取り扱う文法の徹底的な理解を目指すため、単に問題を解いて正解を目指すだけでなく、応用力をつけ、テキストを離れても日常的に使うことができることを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	本授業で扱う文法、語彙を確実に身に付け、授業外でも運用できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・ミニテスト 	50% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	本授業では、文法・語彙にフォーカスをあて、たくさんの問題にあたる。その過程で、わからないことがあったとき、単に質問するだけでなく、自分なりの解決策を見出しながら考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の課題や宿題 (ルーブリック評価) 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>本授業では、定期試験 50%のほか、上記に挙げた項目をルーブリック式で評価を行う。ルーブリック評価の内容は、初回の授業で開示、説明を行う。</p> <p>授業を欠席等の場合には、授業のフォローや次回までの課題等を伝えるため、メールまたは Melly で必ず連絡すること。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション 授業 文法1	授業の進め方、心構え、評価の方法について説明する。 授業の進め方に関しては、実際にテキストを用いながら流れと、毎回出す宿題箇所を確認する。 4Qまでの進捗を確認。 文法ノート pp119⑤-121⑥	予習：事前にシラバスを読んでおく。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
2回目(以降2コマで1セット)	文法2（以降、2コマで1セット）	文法ノート pp121-⑦-123 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。その他、授業内で告知する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
3回目	文法3	文法ノート p124 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
4回目	文法4	文法ノート pp126-128 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
5回目	文法5	文法ノート pp129-131 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
6回目	文法6	文法ノート pp132-133 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。その他、授業内で告知する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
7回目	文法7	文法ノート p134	予習：本授業で学習する課

		その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
8回目	文法 8	文法ノート pp136-138 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
9回目	文法 9	文法ノート pp139-142 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。その他、授業内で告知する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
10回目	文法 10	文法ノート pp143-144 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
11回目	文法 11	ことば・表現ワークブック pp2-6 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
12回目	文法 12	ことば・表現ワークブック pp7-10 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
13回目	文法 13	ことば・表現ワークブック pp12-14 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
14回目	文法 14	ことば・表現ワークブック pp15-17 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。

			復習：漢字たまご（授業内で該当箇所を告知する）
15 回目	まとめ	総復習及び、前回の確認ミニテスト	予習：本授業で学習する課の本冊でことばを確認する。 復習：授業で確認した点を重点的に総復習し、試験に備える。
16 回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「できる日本語 わたしの文法ノート」アルク 「できる日本語 ことば・表現ワークブック」アルク 予習などの副教材として 「できる日本語 初中級」アルク 「できる日本語 中級」アルク その他、適宜資料配布
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	予習ができていることを前提として授業を進めるので、事前にしっかり準備してくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	自分の日本語力を客観的に見て、日本語力を磨く姿勢で授業に臨んで欲しい。受け身の姿勢では、語学力は伸びにくいことを自覚し、丁寧に確実に、そして楽しく学んでいきましょう。 ※本授業に関する連絡（休講や補講など）は学科の掲示板で行います。

講義科目名称：スポーツ実習	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位		実習
担当教員				
野田 章子				

授業概要	<p>本実習は、スポーツの楽しさと大切さを学び、スポーツを取り入れた豊かなライフスタイルについて考えることをねらいとしている。</p> <p>本実習では、①体力テストなどから自分の現状が分かる、②さまざまなスポーツのルールが分かる、③自分にあうトレーニングのやり方が分かる、④スポーツを通じたコミュニケーションができる、⑤運動の大切さが分かることを目標にする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> 自身の健康に興味を持ち、スポーツに積極的に取りくむことができる 自身にふさわしいスポーツ活動を選び、豊かなスポーツライフを考えることができる。 	授業への参加・態度	50%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> スポーツのルールを理解して、試合に生かすことができる。 	確認テスト	10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> だれとでも、スポーツを通じて、交流することができる。 	試合などのチーム活動	10%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 実践を通して、自分の課題を見つけ、改善する方法を考えることができる。 	レポート	10%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体力やスポーツ技術を高めようと努力することができる。 	スポーツテスト(2回)	20%
合計			100%
補足事項			

ゲーム形式のチーム活動、スポーツテスト、ルール確認テスト、レポート、授業への参加・態度を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	体力テスト①	新体力テストの実施	予習：ストレッチなどを行い、けがの予防について調べる 復習：体力テストの結果から自分の生活を見直す
2回目	バドミントン①	ルールの理解と用具の扱い方	予習：ルール・用具について調べる 復習：ルール・用具について復習する
3回目	バドミントン②	サーブを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	予習：サーブについて調べる 復習：試合を観戦する
4回目	バドミントン③	スマッシュ・カットを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	予習：スマッシュ・カットについて調べる 復習：試合を観戦する
5回目	バレーボール①	ルールの理解と用具の扱い方	予習：ルール・用具について調べる 復習：ルール・用具について復習する
6回目	バレーボール②	パスを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	予習：パスについて調べる 復習：試合を観戦する
7回目	バレーボール③	アタック、レシーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	予習：アタック、レシーブについて調べる 復習：試合を観戦して感想を書く
8回目	卓球①	ルールの理解と用具の扱い方	予習：ルール・用具について調べる 復習：ルール・用具について復習する
9回目	卓球②	サーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	予習：サーブについて調べる 復習：試合を観戦して感想

			を書く
10 回目	卓球③	スマッシュ、カットを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	予習：スマッシュ、カットについて調べる 復習：試合を観戦した感想を書く
11 回目	バスケットボール ①	ルールの理解と用具の扱い方	予習：ルール・用具について調べる 復習：ルール・用具について復習する
12 回目	バスケットボール ②	パス、ドリブルを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	予習：パス、ドリブルについて調べる 復習：試合を観戦して感想を書く
13 回目	バスケットボール ③	シュートを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	予習：シュートについて調べる 復習：試合を観戦して感想を書く
14 回目	体力テスト②	トレーニングについて 各スポーツの基礎技術の確認	予習；トレーニングについて調べる 復習：トレーニングの実践を各自で行う。
15 回目	学習のまとめ	各競技のルールについて確認 自分のライフスタイルとスポーツについて考える	予習：各競技のルールを調べる 復習：自分にあったスポーツを実践する

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布 参考書：松野修二（監）『スポーツステップアップ DVD シリーズ バドミントンパーフェクトマスター』、新星出版社、2008 大林素子（監）『DVD で分かる！バレーボール基本・練習・実践テクニック』、西東社、2015

	宮崎善仁（監）『絶対うまくなる！卓球』、主婦の友社、2012 長谷川健志（監）『DVD 上達レッスン バスケットボール』、成美堂出版、2007
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	積極的に運動に取り組む姿勢で参加すること 運動できる服装、体育館シューズが必要

講義科目名称：スポーツ科学（栄養）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
講義	2	2	選択	講義
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本講義では、多様な視点から運動を学び、生涯スポーツの意義について考えることをねらいとしている。</p> <p>本講義では、①幼少期、児童期、思春期を経て成人するまでの発育と発達が分かる、②幼少期、児童期、思春期における運動のあり方とその影響について分かる、③成人以降の老化と体力について分かる、④成人以降の運動のあり方とその影響について分かる、⑤なぜ生涯スポーツが大切なのか説明できる、ことを目標にする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・スポーツを取り入れた豊かな生活を考えることができる。	・レポート	10%
確かな専門的知識や技能	・運動の大切さが分かる ・年齢に応じた運動の方法が分かる ・さまざまな人に適した運動があることが分かる。	・定期試験	60%
コミュニケーション能力	・自分の考えを発表することができる (レポートの発表)	・グループディスカッション	5%
課題解決能力	・自分の身体の問題に気づき、運動による解決方法を考えることができる	・確認テスト（2回）	20%
主体的に学ぶ力	・スポーツに興味・関心がもてる	・授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項	
<p>定期テスト、確認テスト、レポート、発表、授業への参加・態度を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義のねらいと進め方について	予習：スポーツに関する本を読む。 復習：配布プリントを復習する
2回目	幼少期の運動のあり方とその影響	幼少期の発育・発達 幼少期の動作スキル向上過程	予習：幼少期の身体の問題について調べる 復習：配布プリントを復習する
3回目	運動神経について	運動神経の仕組みと発達 幼少期に適した運動方法	予習：運動神経について調べる 復習：配布プリントを復習する
4回目	児童期の運動のあり方とその影響	児童期の発育・発達 児童期の動作スキル向上過程	予習：児童期の身体の問題について調べる 復習：配布プリントを復習する
5回目	骨と関節機能について	骨と関節のしくみ 児童期に適した運動方法	予習：骨と関節について調べる 復習：配布プリントを復習する
6回目	思春期と運動のあり方とその影響	思春期の発育・発達 思春期の動作スキル向上過程	予習：思春期の身体の問題について調べる 復習：配布プリントを復習する
7回目	心肺機能について	心肺機能の向上について 思春期に適した運動方法	予習：心肺機能について調べる 復習：配布プリントを復習する
8回目	成人以降の運動のあり方とその影響	老化の過程 老化に伴う体力・運動能力の変化	予習：老化について調べる 復習：配布プリントを復習する
9回目	筋機能について	筋肉のしくみ 老化を防ぐ運動方法	予習：筋肉について調べる 復習：配布プリントを復習する
10回目	女性とスポーツ	女性の身体的特徴とスポーツ 性差に応じた運動方法	予習：女性とスポーツについて調べる 復習：配布プリントを復習する

			する
11 回目	アダプテッド・スポーツとは	アダプテッド・スポーツ（その人にあったスポーツ）の役割	予習：障害者のスポーツについて調べる 復習：配布プリントを復習する
12 回目	自分の身体を知る ①	柔軟性（関節機能）を高める運動の実践と理解	予習：柔軟性を高める運動を調べる 復習：配布プリントを復習する
13 回目	自分の身体を知る ②	筋力(筋機能)を高める運動の実践と理解	予習：筋力を高める運動を調べる 復習：配布プリントを復習する
14 回目	自分の身体を知る ③	持久力（心肺機能）を高める運動の実践と理解	予習：持久力を高める運動を調べる 復習：配布プリントを復習する
15 回目	まとめ	生涯スポーツの意義について話し合う	予習：課題レポートを作成する 復習：テスト内容を復習する
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：石井直方（監）『スポーツ科学の教科書』、岩波書店、2011 九州大学健康・スポーツ科学研究会（編）『実習で学ぶ 健康・スポーツの科学』改訂版、大修館書店、2016
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	自分の身体と健康に興味・関心をもつようにすること

講義科目名称：英会話 I	授業コード：
英文科目名称：English Conversation I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course aims to build students' confidence and competence in holding conversations in English on everyday, familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話 I では日常的话题を英語で話せるように自信と知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常的话题で自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の意図を理解でき、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	30%
専門的知識や技能	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	発表・ディスカッション 課題	40% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、英語発表 40%、課題（プレゼン資料・教科書課題など） 30%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価する。定期試験は実施しません。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション ※合同授業	先生たちの紹介があります。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	予習:シラバスを読む

2回目	オリエンテーション ※合同授業	シラバス、コース内容の詳しい説明を聞く。 先生たちがする「Hometown」発表の例を見る。	予習: 教科書の Unit 1 を見る 復習: Unit1 を読む
3回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.6 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
4回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 1 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
5回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
6回目	Unit 1: Hometown	Unit 1 発表文を準備して、練習する。 Unit 1 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
7回目	Unit 1: Hometown	「Hometown」発表とディスカッション。	予習: 発表文を練習する
8回目	Unit 2: Music	Unit 2 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.14 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
9回目	Unit 2: Music	Unit 2 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 2 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
10回目	Unit 2: Music	Unit 2 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
11回目	Unit 2: Music	Unit 2 発表文を準備して、練習する。 Unit 2 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
12回目	Unit 2: Music	「Music」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する
13回目	Unit 3: Books	Unit 3 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.22 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
14回目	Unit 3: Books	Unit 3 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 3 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
15回目	Unit 3: Books	Unit 3 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
16回目	Unit 3: Books	Unit 3 発表文を準備して、練習する。 Unit 3 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
17回目	Unit 3: Books	「Books」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する
18回目	Unit 4: Family	Unit 4 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.30 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
19回目	Unit 4: Family	Unit 4 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 4 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
20回目	Unit 4: Family	Unit 4 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
21回目	Unit 4: Family	Unit 4 発表文を準備して、練習する。 Unit 4 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
22回目	Unit 4: Family	「Family」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する

23 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 の内容を紹介する。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.40 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
24 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 5 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
25 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
26 回目	Unit 5: Travel	Unit 5 発表文を準備して、練習する。 Unit 5 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
27 回目	Unit 5: Travel	「Travel」発表とグループディスカッション	予習: 発表文を練習する
28 回目	復習	これまでの英語をまとめて英会話をする。	予習: Unit 1-3 を復習する
29 回目	復習	これまでの英語をまとめて英会話をする。	予習: Unit 4-5 を復習する
30 回目	復習 ※合同授業	グループワークで様々な英語での交流活動をする。	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: Scraps (4 th Edition)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の 3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の 1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：English Conversation II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4	1年	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course builds on <i>English Conversation I</i> and aims to expand students' ability to hold conversations in English on familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Ⅰで学んだ内容を基礎として、身近な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常の事柄について自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の話の内容を正確につかみ、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	30%
専門的知識や技能	英語で日常の事柄について積極的な情報を伝えることができる、関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。日常生活の場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	発表・ディスカッション	40%
		課題	30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、英語発表 40%、課題（プレゼン資料・教科書課題など） 30%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価する。定期試験は実施しません。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション ※合同授業	先生たちの紹介があります。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	予習: シラバスを読む 復習: 発表で使う写真を集める
2回目	Unit 1: Gap Report	Unit 1 の内容を紹介します。日常的な英会話を練習する。	予習: 発表で使う写真を集める 復習: 発表文と資料を作成する
3回目	Unit 1: Gap Report	Unit 1 発表文を準備して、練習する。 Unit 1 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
4回目	Unit 1: Gap Report	「Gap Report」発表とグループディスカッション。	予習: 発表文を練習する
5回目	Unit 2: Food	Unit 2 の内容を紹介します。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.56 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
6回目	Unit 2: Food	Unit 2 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 2 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
7回目	Unit 2: Food	Unit 2 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
8回目	Unit 2: Food	Unit 2 発表文を準備して、練習する。 Unit 2 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
9回目	Unit 2: Food	「Food」発表とグループディスカッション。	予習: 発表文を練習する
10回目	Unit 3: School	Unit 3 の内容を紹介します。日常的な英会話を練習する。	予習: 教科書 p.48 の写真を見る 復習: 発表で使う写真を集める
11回目	Unit 3: School	Unit 3 基本的な単語、表現や文法を勉強する。	予習: Unit 3 の単語を勉強する 復習: 発表で使う写真を集める
12回目	Unit 3: School	Unit 3 基本的な表現、単語の使い方をペアワーク・グループワークで身に着ける。	予習: 基本的な英語を復習する 復習: 発表文と資料を作成する
13回目	Unit 3: School	Unit 3 発表文を準備して、練習する。 Unit 3 発表で使う資料を作成する。	予習: 発表を練習する 復習: 発表文と資料を修正する
14回目	Unit 3: School	「School」発表とグループディスカッション。	予習: 発表文を練習する
15回目	復習 ※合同授業	グループワークで様々な英語での交流活動をする。	予習: Unit 1-3 を復習する

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：Scraps (4 th Edition) ※「英会話Ⅰ」の演習で購入したものを利用する

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の3～5現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の1～2現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話 III	授業コード：
英文科目名称：English Conversation III	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6	2年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course builds on <i>English Conversation II</i> and aims to expand students' ability to hold conversations in English on beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話 II で学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	英語発表・グループディスカッション 面接	40% 50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験の面接 50%、英語発表・グループディスカッション 40%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション ※合同授業	シラバス、授業の進み方の説明。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	復習：英語ノートを準備する
2回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: Daily life 1 日常的な英会話を練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
3回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: Daily life 2 日常的な英会話を練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表①の準備
4回目	Unit 1: Show & Tell	発表①：Show & Tell（2分）	予習：発表①の練習 復習：基本表現を復習する
5回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 1 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
6回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 2 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
7回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 3 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
8回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 1 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
9回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 2 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
10回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 3 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
11回目	Unit 2: Movie Project	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成・修正する。	予習：発表②の英文を作成する 復習：発表②の英文を修正する
12回目	Unit 2: Movie Project	発表②：Personal Opinions（4分）	予習：発表②を練習する
13回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 1 好き・嫌いについて英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表③の準備
14回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 2 各自の趣味の魅力について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表③の準備
15回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 3 好きな・嫌いな映画・ドラマを紹介する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表③の準備
16回目	Unit 3: Media-battle	Conversation practice: Likes & Dislikes 4 好きなウェブメディアを紹介する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
17回目	Unit 3: Media-battle	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習：発表③の英文を作成する 復習：発表③の英文を修正する
18回目	Unit 3: Media-battle	発表③：Mine's the best（4分）	予習：発表③を練習する
19回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Past Experiences 1 過去の出来事について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備

20 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Past Experiences 2 過去にある出来事について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備
21 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Future Plans 1 将来について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備
22 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: Future Plans 2 将来について英会話する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表④の準備
23 回目	Unit 4: Presentation	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習：発表④の英文を作成する 復習：発表④の英文を修正する
24 回目	Unit 4: Presentation	発表④：Dreams for the future (5分)	予習：発表④を練習する
25 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: First Impressions 1 初めて出会う人と会話する練習	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
26 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: First Impressions 2 初めて出会う人と会話する練習	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
27 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 1 会話を続ける方法を練習する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
28 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 2 会話を続ける方法を練習する。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
29 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備：基本的な表現を復習す る、インタビューで使う質問を準備する。	予習：相手に聞く質問の準備 復習：質問を修正する
30 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備：ペアワークで質問と 答えを練習する。	予習：質問、答えの練習 復習：面接のためノートの準備
31 回目	定期試験	英語面接 (10分)	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	教科書：なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話Ⅳ	授業コード：
英文科目名称：English ConversationⅣ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course builds on <i>English Conversation III</i> and aims to expand students' ability to hold conversations in English to wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Ⅲで学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	英語で幅広い話題について情報を伝えること、抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容を理解することができる。 相手や目的に応じて自らの意思を適切に伝え、相手の意思を的確に理解することができる。	英語発表・グループディスカッション	40%
		面接	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験の面接 50%、英語発表・グループディスカッション 40%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション ※合同授業	シラバス、授業の進み方の説明。グループワークで様々な英語での交流を体験する。	復習：英語ノートを準備する
2 回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: My Interests 1 趣味やお気にいりもの説明を英語で練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
3 回目	Unit 1: Show & Tell	Conversation practice: My Interests 2 趣味やお気にいりもの説明を英語で練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表①の準備
4 回目	Unit 1: Show & Tell	発表①：Show & Tell (3分)	予習：発表①の練習 復習：基本表現を復習する
5 回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 1 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
6 回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 2 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
7 回目	Unit 2: Movie Project	Movie: Act 3 英語の映画を見て、課題をする。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
8 回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 1 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
9 回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 2 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
10 回目	Unit 2: Movie Project	Conversation practice: Movie review 3 英語で意見を述べることを練習する	予習：英語ノートに単語記入 復習：発表②の準備
11 回目	Unit 2: Movie Project	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習：発表②の英文作成する 復習：発表②の英文修正する
12 回目	Unit 2: Movie Project	発表②：Personal Opinions (5分)	予習：発表②を練習する
13 回目	Unit 3: Kamishibai	Conversation practice: Telling Stories 1 昔ばなしを英語で伝えてみる。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
14 回目	Unit 3: Kamishibai	Conversation practice: Telling Stories 2 昔ばなしを英語で伝えてみる。	予習：英語ノートに単語記入 復習：基本表現を復習する
15 回目	Unit 3: Kamishibai	発表準備：基本的な文法、表現を復習する、 海外の昔ばなしを選ぶ。	予習：海外昔ばなしを調べる 復習：昔ばなしの国を調べる
16 回目	Unit 3: Kamishibai	発表準備：発表の英文を作成する。	予習：発表③の英文の下書き 復習：発表③の英文修正する
17 回目	Unit 3: Kamishibai	発表準備：発表の英文を練習する、紙芝居を作成する。	予習：紙芝居の絵の計画 復習：紙芝居の作成

18 回目	Unit 3: Kamishibai	発表③ : Kamishibai Stories (5分)	予習 : 発表文を練習する
19 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: 'That time I...' 1 「ある日」について英会話する	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
20 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: 'That time I...' 2 「ある日」について英会話する	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
21 回目	Unit 4: Presentation	Conversation practice: 'That time I...' 3 話をより面白く伝える練習をする	予習 : 発表テーマを決める 復習 : 基本表現を復習する
22 回目	Unit 4: Presentation	発表準備 : 基本的な文法、表現を復習する、 発表の英文を作成する。	予習 : 発表④の英文の準備 復習 : プレゼン資料の準備
23 回目	Unit 4: Presentation	発表準備 : 発表の英文を修正する、プレゼン資料 を作成する。	予習 : 発表④の英文の準備 復習 : プレゼン資料の準備
24 回目	Unit 4: Presentation	発表④ : That Day (5分) ※プレゼン資料も必要です。	予習 : 発表④を練習する
25 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 1 会話を続ける方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
26 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 2 会話を続ける方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
27 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 3 会話を続ける方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
28 回目	Unit 5: Interview	Conversation practice: Keep Talking 4 会話を進ませる方法を練習する。	予習 : 英語ノートに単語記入 復習 : 基本表現を復習する
29 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備 : 基本的な表現を復習する、 インタビューで使う質問を準備する。	予習 : 相手に聞く質問の準備 復習 : 質問を修正する
30 回目	Unit 5: Interview	インタビュー準備 : ペアワークで質問と答え を練習する。	予習 : 質問、答えの練習 復習 : 面接メモの準備
31 回目	定期試験	英語面接 (15分)	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書 : なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語検定 I	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として (G1) 英検 2 級以上レベル、(G2) 2 級レベル、(G3) 準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3 人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点</p> <p>特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・小課題 25% ・授業への参加・態度 5% 	

異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
			合計
			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	In Your Free Time	オリエンテーション いろいろな数値① 基本 5 文型	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
2 回目	Communication Skills	いろいろな数値② 文の種類	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
3 回目	World Languages and Cultures	発音しづらい語句 基本文型	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
4 回目	Healthy Body, Healthy Mind	固有名詞（人名・地名など） 進行形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
5 回目	Careers Nowadays	簡単な挨拶文 完了形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

6 回目	Fashion Trend	提案文、勧誘文 助動詞① (can/may/must/should)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
7 回目	Planning a Trip Abroad	依頼文 助動詞② (could/might/would)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
8 回目	Are you into Sports?	Yes/No 疑問文 受動態	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
9 回目	Parties Are a Lot of Fun!	wh 疑問文 不定詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
10 回目	Art in Our Life	否定・付加疑問文 動名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
11 回目	What Shall We Eat?	カジュアルな表現 分詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
12 回目	What Makes a Good Company?	フォーマルな表現 比較	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
13 回目	Advances in Science	意味のかたまり (チャンク) 関係代名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教

			材の分からない単語等を調べておくこと。
14 回目	Life with Technology	主張や理由を導くキーワード 話法	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
15 回目	Eco-Friendly Life	名詞から話題をイメージする 特殊構文（強調・倒置・同格）	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に） 授業中に指示します。 参考） Target! – pre-intermediate, intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q1	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
内山智子				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）英検2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは、Vocabulary, Idioms, Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員でレベル別に授業を行う</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断して行動することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	英語で書かれた幅広い話題についての話題について、比較的高度な語彙を活用して読み書きができ内容を理解することができる。	筆記試験 小テスト	50% 30%
コミュニケーション能力	自己の文化的ルールや偏見について自己が抱える文化的気付きがあり対応する方法がわかる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら問題を見つけ解決に向けた複数のプロセスを明確にし表現することができる。	課題提出	15%
主体的に学ぶ力	自己の興味関心はもちろん幅広い事柄に対して自主的に取り組み理解を深めることができる。		
合計			100%
補足事項			

本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出 15%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	実用英語技能検定の概要説明 導入問題・サンプル問題演習	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
2 回目	問題演習	一問一答形式（1）語彙	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
3 回目	問題演習	一問一答形式（2）語彙・イディオム	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
4 回目	問題演習	一問一答形式（3）&会話文（1） 筆記・リスニング	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
5 回目	問題演習	問題演習 会話文（2） 筆記・リスニング	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
6 回目	問題演習	問題演習 空所補充（1）	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
7 回目	問題演習	問題演習 空所補充（2）	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
8 回目	問題演習	問題演習 長文読解（1）	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す

9回目	問題演習	問題演習 長文読解(2)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
10回目	問題演習	問題演習 長文読解(3)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
11回目	問題演習	ライティング(1)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
12回目	問題演習	ライティング(2)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
13回目	問題演習	ライティング(3)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
14回目	問題演習	リスニング問題演習(1)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
15回目	問題演習	リスニング問題演習(2)	復習: 学習した内容を理解し直す
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業の中で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業中の携帯電話は辞書使用時のみ許可する。
オフィスアワー	火曜4限・木曜2限

備考・メッセージ	本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出 15%の割合で評価する。 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと。
----------	---

講義科目名称：英語検定 II	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2ndQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として (G1) 英検 2 級以上レベル、(G2) 2 級レベル、(G3) 準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3 人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点</p> <p>特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度</p>	<p>70% 25% 5%</p>

	⑤ Listening: 正確に英語を聞き取れるようになる。		
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Small Talk	オリエンテーション いろいろな数値① 基本5文型	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
2回目	Human Relations	いろいろな数値② 文の種類	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
3回目	Culture and Globalization	発音しづらい語句 基本文型	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習: 教科書やプリント教材の分からな

			い単語等を調べておくこと。
4回目	Healthy Life	固有名詞（人名・地名など） 進行形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
5回目	Future Careers	簡単な挨拶文 完了形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
6回目	That Shirts Suits You!	提案文、勧誘文 助動詞① (can/may/must/should)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
7回目	Taking a Trip	依頼文 助動詞② (could/might/would)	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
8回目	Do you Like Sports?	Yes/No 疑問文 受動態	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べてお

			くこと。
9 回目	Let's Do Something Fun!	wh 疑問文 不定詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
10 回目	Art Appreciation	否定・付加疑問文 動名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
11 回目	Let's Eat Out!	カジュアルな表現 分詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
12 回目	A Career in International Business	フォーマルな表現 比較	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
13 回目	Science for the Future	意味のかたまり（チャンク） 関係代名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

14 回目	Technology and Modern Life	主張や理由を導くキーワード 話法	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
15 回目	Saving the Environment	名詞から話題をイメージする 特殊構文（強調・倒置・同格）	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に） 授業中に指示します。 参考） Target! – pre-intermediate, intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q2	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
内山智子				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）英検2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは、Vocabulary, Idioms, Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員でレベル別に授業を行う</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断して行動することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	英語で書かれた幅広い話題についての話題について、比較的高度な語彙を活用して読み書きができ内容を理解することができる。	筆記試験 小テスト	50% 30%
コミュニケーション能力	自己の文化的ルールや偏見について自己が抱える文化的気付きがあり対応する方法がわかる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら問題を見つけ解決に向けた複数のプロセスを明確にし表現することができる。	課題提出	15%
主体的に学ぶ力	自己の興味関心はもちろん幅広い事柄に対して自主的に取り組み理解を深めることができる。		
合計			100%
補足事項			

本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出 15%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	実用英語技能検定の概要説明 導入問題・サンプル問題演習	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
2 回目	問題演習	一問一答形式（1）語彙	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
3 回目	問題演習	一問一答形式（2）語彙・イディオム	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
4 回目	問題演習	一問一答形式（3）&会話文（1） 筆記・リスニング	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
5 回目	問題演習	問題演習 会話文（2） 筆記・リスニング	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
6 回目	問題演習	問題演習 空所補充（1）	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
7 回目	問題演習	問題演習 空所補充（2）	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す
8 回目	問題演習	問題演習 長文読解（1）	予習；次回の問題に目を通しておく 復習：学習した内容を理解し直す

9回目	問題演習	問題演習 長文読解(2)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
10回目	問題演習	問題演習 長文読解(3)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
11回目	問題演習	ライティング(1)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
12回目	問題演習	ライティング(2)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
13回目	問題演習	ライティング(3)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
14回目	問題演習	リスニング問題演習(1)	予習; 次回の問題に目を通しておく 復習: 学習した内容を理解し直す
15回目	問題演習	リスニング問題演習(2)	復習: 学習した内容を理解し直す
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業の中で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業中の携帯電話は辞書使用時のみ許可する。
オフィスアワー	火曜2限・金曜1限

備考・メッセージ	本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出 15%の割合で評価する。 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと。
----------	---

講義科目名称：英語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test Ⅲ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700点 G2：TOEIC(CASEC) 500点 G3：TOEIC(CASEC) 400点 特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・ 態度</p>	<p>70% 25% 5%</p>

	取れるようになる。		
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Let's Clean Up!	オリエンテーション 音の変化現象 文の種類	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
2回目	Human Society	いろいろな数値 動詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
3回目	Express yourself with Emoji!	発音しづらい音を含む、語句の聞き取り 動詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

			語等を調べておくこと。
4回目	Good Sleep, Good Health	挨拶文の聞き取り 助動詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
5回目	Job Interview Success	提案文、勧誘文の聞き取り 名詞・冠詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
6回目	Dress Your Own Way	依頼文の聞き取り 代名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
7回目	New Ways to Travel	絵や写真を頼りに聞き取る 形容詞・副詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
8回目	Sports Anytime, Anywhere	疑問文の聞き取り 受動態	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこ

			と。
9 回目	How Do You Enjoy Music?	意見や主張を聞き取る 完了形	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
10 回目	Choose What Color to Paint	カジュアルな言い回しや表現 不定詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
11 回目	The Future of Food	フォーマルな言い回し表現 分詞・動名詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
12 回目	To Gain Experience in Business	チャンクを意識する 比較	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。
13 回目	Science We Should Know	場面を把握する 関係詞	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。

14 回目	Apps That Change Your Life	話題を把握する 時制の一致	復習：学習した内容を ノートに整理しておく こと。 予習：教科書やプリン ト教材の分からない単 語等を調べておくこ と。
15 回目	If We Did Nothing for the Environment	要点を確実に聞き取る 仮定法	復習：学習した内容を ノートに整理しておく こと。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に） 授業中に指示します。 参考） Target! – pre-intermediate, intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究 室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個 人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：多読演習Ⅰ（英語）	授業コード：
英文科目名称：Extensive ReadingⅠ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course is based around an extensive reading program designed to develop students' reading fluency and expand their vocabulary knowledge through consistent study of English texts. Class time is devoted to reading books chosen by the students from a library of graded readers, and group discussion.</p> <p>多読演習のリーディングプログラムでは、英語の本を継続的に読むことで習慣化し、読解力を高め、語彙の知識を広げる。本演習では、①学生が各自のレベルにあった英語の本を週1時間+αで読むこと、②英語の本と語彙学習専用アプリで理解できる語彙を増やすこと、③英語の本の内容を理解し、レポートにまとめたりグループディスカッションで説明できるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	グループディスカッション	20%
専門的知識や技能	英語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	多読課題 小テスト レポート	40% 20% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、多読課題 40%、小テスト 20%、レポート 20%、グループディスカッション 20%の割合で評価する。定期試験は実施しません。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション①	シラバス、授業の進み方の説明 Xreading, WordEngine, Moodle の登録	復習：リーディング課題
2回目	オリエンテーション②	Xreading, WordEngine の使い方 リーディンググループ設定	予習：リーディング課題 復習：語彙復習
3回目	Unit 1	Vocab Focus: Prepositions 1 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
4回目	Unit 1	Vocab Focus: Prepositions 2 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
5回目	Unit 1	小テスト①（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
6回目	Unit 2	Vocab Focus: Phrasal Verbs 1 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
7回目	Unit 2	Vocab Focus: Phrasal Verbs 2 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
8回目	Unit 2	小テスト②（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
9回目	Unit 3	Vocab Focus: Adjectives リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
10回目	Unit 3	Vocab Focus: Adverbs リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
11回目	Unit 3	小テスト③（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
12回目	Unit 4	Vocab Focus: Frequent Words 1 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
13回目	Unit 4	Vocab Focus: Frequent Words 2 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
14回目	Unit 4	小テスト④（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
15回目	復習	リーディンググループでお気に入りの本を紹介しあい、話し合いする。	予習：お勧めの本を選ぶ

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	教科書 : XReading.com, WordEngine アプリ (インターネット上の教材を使います)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の 3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の 1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称:多読演習 I	授業コード:52151
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
岩崎 千恵				

授業概要	<p>受講者が自分の学習レベルに応じた日本語の多読教材や新聞、書籍を読むことによって、言語運用能力の中でも「読む」「書く」の能力を伸ばす。また、読んだ内容を学習者同士で説明し合うピア学習を重ねることで「話す」「聞く」能力を高める。</p> <p>1Q~2Q においては日本語の長文のまとまりになじむように短編から読み始め、4コママンガなどの単純な文章の塊をイラストと共に読み取り、情報を分析し、説明することができるようになることも目標とする。加えて、多様な読書活動のアクティビティを体験しながら、主体的に学ぶ力を育成する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多読用書籍や文具など、共有財産をルールに基づいて使用することができる	・貸し借り記録ノート	5%
確かな専門的知識 や技能	日本語で書かれた多読教材や、自身に直接・間接的に関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	・多読記録ノート	30%
異文化知識・対応 能力	多読活動で得た日本語表現を、ピア学習を通して、相手に配慮しながら伝えることができる 多様な読書活動を通して、自己表現力を高めることができる。	・授業への参加態度 ・作成物	15% 30%
課題解決能力	N4~N3 長文読解を通して、未習の漢字や文法の想定力を付けることができる	・ミニ試験	20%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、貸し借り記録ノート 5%、多読記録ノート 30%、授業への参加態度 15%、ミニ試験 20%、作成物 30%の割合で評価する
- ・質疑応答は、Melly 上で実施することもできる。Melly が使用できない場合は各担当の指示に従い、適当な連絡ツールを用いて質疑応答を行うものとする。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	「多読演習」とは何か。多読演習に取り組む前に Kindle の使い方	・この授業全体のガイダンスをした後、それぞれの読書に関するこれまでの経験をアンケート上で集計し、皆でシェアする。 文庫の使い方、図書館の使い方、本の借り方、本の扱い方など、文化の違いから生じる可能性のあるギャップを確認し、実行できるようになる	④・シラバスを読んでおく ⑤・文庫の本を一冊借りる ・学んだことを実践する ⑥・漢字テストの復習
2 回目	多読演習① マンガの読み方 「漫符」「コマ割り」に慣れよう	・漢字テスト ・20 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・マンガを読む際は、漫画特有の「漫符」と呼ばれる記号がある。「漫符」の意味をイラストと文章、会話から読み取り、理解し、読書の一形態としてマンガも読むことができるようになる ・今日勉強したことを学習者同士で話す	④・教室内にあるマンガでもよいので、何かマンガに目を通しておく ⑤・携帯電話の絵文字にも応用されているので、学んだことを復習しながらまとめる ⑥・漢字テストの復習
3 回目	多読演習② 「フォント」から考える感情表現を学ぶ	・漢字テスト ・20 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・マンガや小説などを読む際は、文字表現特有の「フォント」がある。使用されているフォントの意味をイラストと文章、会話から読み取り、理解する。さらに、さまざまな感情に関する語彙も獲得する。 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	④・フォントの名前と種類を確認しておく ・4 月の記録ノートをまとめる ⑤・学んだ表現を覚える ⑥・漢字テストの復習 ⑦・ゴールデンウィーク中に読む本を決めて自宅で読む ⑧・これまで勉強した内容を含めて、GW で体験したことを A4 用紙に書いてくる
4 回目	多読演習③ 「残念な動物シリーズの表現を学び、自己紹介カードを作る」	・漢字テスト ・30 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・一つのイラストで表現される左記の書籍のいくつかを読み、漫符、フォントをヒントに情報を読み取り、ペアの友人へ説明す	④課題をまとめる ⑤⑥配布された教材を見ながら、3 回目の課題内容で、イラスト文を作成してくる ⑥・漢字テストの復習

		る。	
5回目	多読演習④ 「友だちの作品を読んでピアレビュー学習」	・漢字テスト ・30 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・GW 前の課題を皆でシェアして、20 分の間に読み込み、学習者同士でコメントカードを書いて渡す(ピアレビュー) ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 課題をまとめる ㊧ ピアレビューで書かれた改善するところに注目し、改善案を考える ㊨ ・漢字テストの復習
6回目	多読演習④ 「詩を読む —音読・黙読—」	・漢字テスト ・30 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・日本人に馴染み深い詩をいくつか読んで、情緒や詠嘆の表現などを理解し、使えるようになる ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 事前に渡された詩を読んで、意味を確認しておく ㊧ 詩を音読し、日本語のリズムに慣れる ㊨ 自分の心が弾んだ風景や食べ物、人物などの写真を撮ってくる
7回目	多読演習⑤ 「詩を書く」	・漢字テスト ・30 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・課題の写真に合わせて、詩を作成し、発表する。 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ kindle や文庫から本を借りて読んでおく ㊧ 多読シートのまとめ ㊨ 皆が作成した詩を読んで、感想メッセージを書く
8回目	多読演習⑥ 「読解能力を確認しよう①」	・40 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・長文読解テスト① ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 多読シートの準備 ㊧ 漢字の復習
9回目	多読演習⑦ 「コラムを読む①」	・漢字テスト ・40 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・コラムを読む① ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 事前配布のコラムのわからない単語を調べてくる ㊧ コラムの内容を理解し、漢字を復習する
10回目	多読演習⑧ 「コラムを読む②」	・漢字テスト ・40 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・コラムを読む② ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 事前配布のコラムのわからない単語を調べてくる ㊧ コラムの内容を理解し、漢字を復習する
11回目	多読演習⑨ 「コラムを読む③」	・漢字テスト ・40 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む	㊦ 事前配布のコラムのわからない単語を調べてくる ㊧ コラムの内容を理解し、漢

		<ul style="list-style-type: none"> ・コラムを読む③ ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	字を復習する
12回目	多読演習⑩ 「説明文を読む①」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・40 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・説明文を読む① レシピ ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 事前配布の説明文のわからない単語を調べてくる ㊧ 説明文の内容を理解し、漢字を復習する
13回目	多読演習⑦ 「読んだ説明文を実践する①」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・15 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・説明文の通りに作る ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ メモ等を準備しておく ㊧ 本日の活動内容を感想文にまとめる
14回目	多読演習⑦ 「説明文を読む②」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・40 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・説明文を読む② 折り紙の折り方 ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 事前配布の説明文のわからない単語を調べてくる ㊧ 説明文の内容を理解し、漢字を復習する
15回目	多読演習⑦ 「読んだ説明文を実践する②」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・15 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・説明文の通りに作る ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ メモ等を準備しておく ㊧ 本日の活動内容を感想文にまとめる
16回目	「読解能力を確認しよう②」	長文読解テスト②	試験

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	15 室文庫、Kindle、できる日本語本冊、徹底ドリル N3
履修条件	日本語読解に関心がある者
履修上の注意	できるだけ母語が同じ人が隣にいないように座ってください
オフィスアワー	火曜日 9:30~10:30 それ以外の時間はメールで問い合わせてください
備考・メッセージ	読書に興味がない学生でも、楽しく学べる活動が中心です。記録シートをなくさないようにしてください。課題はシラバスを参照してください

講義科目名称:多読演習 I	授業コード:300570
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
I Q2Q	I 年生	2単位	選択	演習
担当教員				
中里 亜希子				

授業概要	<p>本授業は、日本語の多読教材や、新聞、書籍に触れ、たくさん読むことで、日本語学習者の「読む」能力を伸ばすことを目的とする。また、読んだ内容を日本語学習者同士で話し、説明することによって「話す」力も伸ばすことも目的とする。</p> <p>I Q2Q で、たくさんの日本語の文章に慣れることで、少しずつ文章の内容理解を深めることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者へ親和的に関わる必要性を意識できる	発表	20%
専門的知識や技能	日本語で書かれた、日常的な話題について平易な文章を読み、内容を理解することができる。その内容を話すことができる。	活動シート	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自分の意見や感想、読書の内容を上手に伝え、人の話を上手に聞くことができる。	グループワーク ペアワーク	20%
キャリアデザイン力	読書を通じて、自らの興味関心について知る。	課題	20%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明、多読についての説明	
2回目	多読①	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
3回目	多読②	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
4回目	多読③	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
5回目	多読④	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
6回目	多読⑤	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
7回目	振り返り(1)	①～⑤で読んだ本の中で得られた新しい語彙をまとめる。その語彙の意味に似た言葉や、反対の意味の言葉を探し、語彙の数を増やす。	
8回目	多読⑥	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。クラスメイトに話した内容をまとめる。	活動シートを書く
9回目	多読⑦	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。クラスメイトに話した内容をまとめる。	活動シートを書く
10回目	多読⑧	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。クラスメイトに話した内容をまとめる。	活動シートを書く
11回目	多読⑨	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。クラスメイトに話した内容をまとめる。	活動シートを書く

12 回目	多読⑩	自分のレベルにあった本を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。クラスメイトに話した内容をまとめる。	活動シートを書く
13 回目	振り返り(2)	⑥～⑩で読んだ本の中で得られた新しい語彙をまとめる。その語彙の意味に似た言葉や反対の意味の言葉を探し、語彙の数を増やす。	
14 回目	本の紹介	発表準備:これまで読んだ本の中からクラスメイトに紹介したい本を一冊選び、その本の内容を文章に書いてみる	紹介シート作成
15 回目	本の紹介発表	14 回目で書いた内容を発表する	活動シート、紹介シート提出
16 回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	多読教材・新聞・書籍
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	

講義科目名称:多読演習Ⅱ	授業コード:300580
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
中里 亜希子				

授業概要	<p>本授業は、多読演習Ⅰから引き続き、学生の「読む力」を伸ばすための授業である。学生が各自のレベルにあった多読教材を選び、多くの日本語に触れる時間をもつ。学生は、読んだ内容をクラスメイトに伝えたり、発表したりすることで、入ってきた情報を整理する日本語能力を高めることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	身近な他者に対して親和的な態度で関わることができる。		20%
専門的知識や技能	日本語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。		40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる		20%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学について、具体的に考え、行動することができる。		20%
合計			100%

補足事項

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明、多読についての説明	
2回目	多読①	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
3回目	多読②	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
4回目	多読③	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
5回目	多読④	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
6回目	多読⑤	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
7回目	振り返り(1)	①～⑤で読んだ本の中で得られた新しい語彙をまとめる。その語彙の意味に似た言葉や、反対の意味の言葉を探し、語彙の数を増やす。	
8回目	多読⑥	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
9回目	多読⑦	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
10回目	多読⑧	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
11回目	多読⑨	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
12回目	多読⑩	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く

13 回目	振り返り(2)	⑥～⑩で読んだ本の中で得られた新しい語彙をまとめる。その語彙の意味に似た言葉や反対の意味の言葉を探し、語彙の数を増やす。	
14 回目	本の紹介	発表準備①これまで読んだ本の中からクラスメイトに紹介したい本を一冊選び、その本の内容を文章に書いてみる	紹介シート作成・完成
15 回目	本の紹介発表	14 回目で書いた内容を発表する	活動シート・紹介シート提出
16 回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	多読教材・新聞・書籍
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	

講義科目名称：多読演習 III（英語）	授業コード：
英文科目名称：Extensive Reading III	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course follows on from <i>Extensive Reading I</i>, continuing the extensive reading program. Students will further improve reading fluency and expand their vocabulary knowledge. Class time is devoted to reading books chosen by the students from a library of graded readers, and group discussion.</p> <p>本授業は、多読演習 I を引き継ぐリーディングプログラムである。多読演習 I で習慣化された英語の本の読書を継続することにより、読解力を高め、語彙の知識を広げる。本演習では①読める本のレベルを上げること、②英語の本と語彙学習専用アプリで理解できる語彙を増やすこと、③英語の本の内容を熟考し、レポートにまとめたり、グループディスカッションで自らの感想や意見を伝えることができることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	• グループディスカッション	20%
専門的知識や技能	英語で書かれた、比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。	• 多読課題 • 小テスト • レポート	40% 20% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、多読課題 40%、小テスト 20%、レポート 20%、 グループディスカッション 20%の割合で評価する。定期試験は実施しません。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	シラバス、授業の進み方の説明 Xreading, WordEngine, Moodle の登録	復習：リーディング課題
2回目	Unit 1	Vocab Focus: Prepositions 1 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
3回目	Unit 1	Vocab Focus: Prepositions 2 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
4回目	Unit 1	Vocab Focus: Articles リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
5回目	Unit 1	小テスト①（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
6回目	Unit 2	Vocab Focus: Suffixes リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
7回目	Unit 2	Vocab Focus: Prefixes リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
8回目	Unit 2	小テスト②（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
9回目	Unit 3	Vocab Focus: Word Families 1 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
10回目	Unit 3	Vocab Focus: Word Families 2 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
11回目	Unit 3	小テスト③（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
12回目	Unit 4	Vocab Focus: Frequent Words 1 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
13回目	Unit 4	Vocab Focus: Frequent Words 2 リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
14回目	Unit 4	小テスト④（個人的な語彙クイズ） リーディングプログラム・グループワーク	予習：語彙復習 復習：リーディング課題
15回目	復習	リーディンググループでお気に入りの本を紹介しあい、話し合いする。	予習：お勧めの本を選ぶ

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	教科書 : XReading.com, WordEngine アプリ (インターネット上の教材を使います)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の 3～5 現目 (研究室) (後期) 火・金曜日の 1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称:多読演習Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4thQ	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
岩崎 千恵				

授業概要	<p>受講者が自分の学習レベルに応じた日本語の多読教材や新聞、書籍を読むことによって、言語運用能力の中でも「読む」「書く」の能力を伸ばす。また、読んだ内容を学習者同士で説明し合うピア学習を重ねることで「話す」「聞く」能力を高める。</p> <p>4Q においては、古典から現代文まで日本で有名な文学の一文や章を読み、異文化理解も深めることも目標とする。ビブリオバトルを開催し、多読で得た知識や感動を学習者同士が共有し、これからの読書活動につながる動機付けを行う。加えて、多様な読書活動のアクティビティを体験しながら、主体的に学ぶ力を育成する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多読用書籍や文具など、共有財産をルールに基づいて使用することができる	・貸し借り記録ノート	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で書かれた多読教材や、自身に直接・間接的に関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	・多読記録ノート	30%
異文化知識・対応能力	多読活動で得た日本語表現を、ピア学習を通して、相手に配慮しながら伝えることができる	・授業への参加態度	15%
	多様な読書活動を通して、自己表現力を高めることができる。	・ビブリオバトル 授業参加態度	30%
課題解決能力	N2～N3 長文読解を通して、未習の漢字や文法の想定力を付けることができる	・試験	20%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

・本授業では、貸し借り記録ノート 5%、多読記録ノート 30%、ビブリオバトル・授業への参加態度 15%、ミニ試験 20%、

作成物 30%の割合で評価する

・質疑応答は、Melly 上で実施することもできる。Melly が使用できない場合は各担当の指示に従い、適当な連絡ツールを用いて質疑応答を行うものとする。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	「多読演習」とは何か。多読演習に取り組む前に Kindle の使い方 ビブリオバトルとは	・この授業全体のガイダンスをした後、それぞれの読書に関するこれまでの経験をアンケート上で集計し、皆でシェアする。 文庫の使い方、図書館の使い方、本の借り方、本の扱い方など、文化の違いから生じる可能性のあるギャップを確認し、実行できるようになる	㊦ シラバスを読んでおく ㊧ 多読の中で新出単語をまとめる
2 回目	多読演習① 「ミニ文学サロン①」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「枕草子」を読む① ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を読んでおく ㊧ 多読まとめシートの記入と復習
3 回目	多読演習② 「ミニ文学サロン①」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「枕草子」を読む② ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を読んでおく ㊧ 多読まとめシートの記入と復習
4 回目	多読演習③ 「ミニ文学サロン②」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「徒然草」を読む① ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を読んでおく ㊧ 多読まとめシートの記入と復習
5 回目	多読演習④ 「ミニ文学サロン②」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「徒然草」を読む② ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を読んでおく ㊧ 多読まとめシートの記入と復習
6 回目	多読演習⑤ 「ミニ文学サロン③」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「蜘蛛の糸」を読む①	㊦ 配布資料を読んでおく ㊧ 多読まとめシートの記入と復習

		・今日勉強したことを学習者同士で話す	
7回目	多読演習⑥ 「ミニ文学サロン ③」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「蜘蛛の糸」を読む② ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を読んでおく ㊧多読まとめシートの記入と復習
8回目	多読演習⑦ 「ミニ文学サロン ④」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「ホームレス中学生」を読む① ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を読んでおく ㊧多読まとめシートの記入と復習
9回目	多読演習⑧ 「ミニ文学サロン ④」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・「ホームレス中学生」を読む② ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を読んでおく ㊧多読まとめシートの記入と復習
10回目	多読演習⑨ 「ミニ文学サロン ⑤」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・おススメのことアクティビティ ・「沈黙」を読む ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を読んでおく ㊧多読まとめシートの記入と復習
11回目	多読演習⑩ 「ミニ文学サロン ⑤」	・漢字テスト ・50 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・おススメのことアクティビティ ・「沈黙」を読む ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を読んでおく ㊧多読まとめシートの記入と復習
12回目	多読演習⑪ 「ビブリオバトル」	・漢字テスト ・40 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・ビブリオバトル練習① ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦勧める本を決めておく ㊧多読まとめシートの記入と復習
13回目	多読演習⑫ 「ビブリオバトル」	・漢字テスト ・40 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・ビブリオバトル練習② ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦勧める本を決めておく ㊧多読まとめシートの記入と復習

14 回目	多読演習② 「ビブリオバトル」	・漢字テスト ・40 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・ビブリオバトル練習③ ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦勧める本を決めておく ㊧多読まとめシートの記入と復習
15 回目	多読演習② 「ビブリオバトル」	・漢字テスト ・40 分の間に、自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する ・ビブリオバトル練習④ ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦勧める本を決めておく ㊧多読まとめシートの記入と復習
16 回目	「ビブリオバトル」	ビブリオバトル本戦	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	15 室文庫、Kindle、できる日本語本冊、徹底ドリル N3、徹底ドリル N2
履修条件	日本語読解に関心がある者
履修上の注意	できるだけ母語が同じ人が隣にいないように座ってください
オフィスアワー	月曜日 13:30~14:30 それ以外の時間はメールで問い合わせてください
備考・メッセージ	読書に興味がない学生でも、楽しく学べる活動が中心です。記録シートをなくさないようにしてください。課題はシラバスを参照してください

講義科目名称:多読演習Ⅲ	授業コード:300590
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
中里 亜希子				

授業概要	<p>本授業は、多読演習Ⅱから引き続き、学生の「読む力」と「話す力」を伸ばすための授業である。学生が各自のレベルにあった多読教材を選び、多くの日本語に触れる時間をもつ。学生は、読んだ内容をクラスメイトに伝えたり、発表したりすることで、入ってきた情報を整理する日本語能力を高める。日本語での処理能力を高めることで、学生は進学先や就職先で必要とされる日本語能力を身につけることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	身近な他者に対して親和的な態度で関わることができる。	発表	20%
専門的知識や技能	日本語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。	活動シート	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる	グループワーク ペアワーク	20%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学について、具体的に考え、行動することができる。	課題	20%
合計			100%
補足事項			
本授業は、活動シート40%、グループワークとペアワーク20%、課題20%、発表20%で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明、多読についての説明	
2回目	多読①	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
3回目	多読②	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
4回目	多読③	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
5回目	多読④	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
6回目	多読⑤	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
7回目	振り返り(1)	①～⑤で読んだ本の中で得られた新しい語彙をまとめる。その語彙の意味に似た言葉や、反対の意味の言葉を探し、語彙の数を増やす。	
8回目	多読⑥	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
9回目	多読⑦	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
10回目	多読⑧	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
11回目	多読⑨	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く
12回目	多読⑩	自分のレベルにあった多読教材を選び、読む。クラスメイトに話してみる。新しい語彙をチェックし、メモを取る。	活動シートを書く

13 回目	振り返り(2)	⑥～⑩で読んだ本の中で得られた新しい語彙をまとめる。その語彙の意味に似た言葉や反対の意味の言葉を探し、語彙の数を増やす。	
14 回目	本の紹介	発表準備:これまで読んだ本の中からクラスメイトに紹介したい本を一冊選び、その本の内容を文章に書いてみる	紹介シート作成
15 回目	本の紹介発表	14 回目で書いた内容を発表する。	活動シート、紹介シート提出
16 回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	多読教材・新聞・書籍
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&グラマーI	授業コード：
英文科目名称：English Writing & Grammar I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>English Writing & Grammar I focuses on reviewing and reinforcing core English grammar structures and frequently used expressions so that students can learn to express their thoughts and opinions clearly and accurately in written English.</p> <p>英語ライティング&グラマーIでは、意思を英語の文章で伝達できるように、重要な英文法と表現を修得する。主にライティング力に焦点を当てた授業を行う。本講義では、①意図や意見を正確に明確な文章で書くことができる、②ネイティブ英語でよく使用される便利な表現を学ぶ、③様々な目的・場面に合わせて文章を書くことができるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験 ライティングタスク 	50% 30%
異文化知識・対応能力	英作文に関わり始め、その文化的な違いを認識し、書くものに取り入れることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ライティングタスク 	10%
課題解決能力	グループワークをするとき自分の役割を理解し、活躍すること、および目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案することができる。	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク 	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

本授業では、筆記試験 50%、英語ライティングタスク 40%、グループワーク 10%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Introduction ※合同授業	授業の進め方、評価方法の説明、Moodle の使い方。自己紹介を英語で書いてみよう。	
2 回目	Unit 1・Why?	Grammar Focus : Sentence Patterns ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
3 回目	Unit 1・Why?	Grammar Focus : 欲しいもの・したいこと ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
4 回目	Unit 1・Why?	Grammar Focus : 理由・目的を示す ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク①提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを 修正してオンラインで提出する
5 回目	Unit 2・School Life	Grammar Focus : 時間と前置詞① ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
6 回目	Unit 2・School Life	Grammar Focus : 時間と前置詞② ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
7 回目	Unit 2・School Life	Grammar Focus : 単語・文章の順番 ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク②提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを 修正してオンラインで提出する
8 回目	Unit 3・Hobbies & Habits	Grammar Focus : 現在・過去進行形 ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
9 回目	Unit 3・Hobbies & Habits	Grammar Focus : 現在の活動・過去の活動 ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
10 回目	Unit 3・Hobbies & Habits	Grammar Focus : はじめとまとめの文章 ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク③提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを 修正してオンラインで提出する
11 回目	Unit 4・What if...?	Grammar Focus : 「if」と将来形 ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
12 回目	Unit 4・What if...?	Grammar Focus : 結果を示す接続詞 ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
13 回目	Unit 4・What if...?	Grammar Focus : 感想・意見の表現 ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク④提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを 修正してオンラインで提出する
14 回目	復習	Grammar Focus : 英作文と接続詞① 試験準備・グループワーク	予習：今までのタスクを振り返る 復習：文法を復習する
15 回目	復習	Grammar Focus : 英作文と接続詞②	予習：今までのタスクを振り返る

		試験準備・グループワーク	る 復習：文法を復習する
16 回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考：プリント教材は授業中で指定する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	（前期）火・水曜日の3～5限目（研究室） （後期）火・金曜日の1～2限目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&グラマー I	授業コード：
英文科目名称：English Writing and Grammar I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語のグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声を聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う簡単な英語の文章を書くことができる。	・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度	70% 25% 5%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。
- ・小課題においては、ラインティングの課題が含まれます。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Introduction & 英語で自己紹介	授業の進め方、評価方法の説明 レベル別の 3 クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書く。	学習課題 復習：ラインティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備
2 回目	Unit 1: Going Overseas	Grammar Points: Sentence Patterns (5 文型) Writing Task	学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える
3 回目	Unit2: Going Shopping	Grammar Points: Nouns and Modifiers (名詞とその修飾句) Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
4 回目	Unit 3: Talking about Food and Health	Grammar Points: Adjectives and Adverbs (形容詞と副詞) Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
5 回目	Unit 4: Enjoying Sports and Entertainment	Grammar Points: Tricky Prepositions (間違いやすい前置詞) Writing Tas	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからな

			いところ明らかににする。
6 回目	Review Test	レビューテスト	学習課題 復習: Unit 1-4 を復習 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
7 回目	Unit 5: Preserving Nature	Grammar Points: Auxiliary Verbs (助動詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
8 回目	Unit 6: Giving Directions	Grammar Points: Causative Verbs and Verbs of Perception (使役動詞と知覚動詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
9 回目	Unit 7: Going Job Hunting	Grammar Points: Conjunctions (小さい接続詞と大きな接続 詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
10 回目	Unit 8: Working in the Office	Grammar Points: Relative Clauses (関係詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。

11 回目	Review Test 2	レビューテスト	学習課題 復習: Unit 5-8 を復習 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
12 回目	Unit 9: Paying the Bills	Grammar Points: Tense (時制) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
13 回目	Unit 10: Advertising a New Product	Grammar Points: Quantifiers and the Correct Verbs (数量詞と動詞の関係) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
14 回目	Unit 11: Renting an Apartment	Grammar Points: Conditional Sentences (条件文・仮定法) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習: 次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
15 回目	Unit 12: Renting an Apartment	Grammar Points: Verb+ing vs. Verb+to+Stem Verb (~ing につく動詞・to につく動詞) Writing Task	学習課題 復習: この Unit で学んだ文法項目の復習。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
------------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考) 「TOEIC Test : On Target book 1 - 南雲堂」、プリント教材、授業の中で指示する。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50 - 18:00) *その他、空きコマ (研究室ドアに掲示) も可
備考・メッセージ	英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

講義科目名称：英語ライティング&文法II	授業コード：
英文科目名称：English Writing & Grammar II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7	2年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>In English Writing & Grammar II awareness of important grammar structures and frequently used expressions is expanded on, and students study various different writing styles used in everyday life.</p> <p>英語ライティング&文法IIでは、様々な場面・目的に意思を英作文で伝達できるように、英文法と表現を修得して、英語の文体を勉強する。主にライティング力に焦点を当てた授業を行う。本講義では、①自らの意思を正確に英作文で伝達できる、②相手の意図や意見をついても、明確な文章で説明ができる、③英語で、メールやウェブでやり取りができる、④様々な目的・場面・人々に合わせて英作文ができるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して協調的な態度で理解を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	• ライティングタスク	10%
専門的知識や技能	英語で幅広い話題について適切な語彙を活用して、明確な文章を書くことができる。また、様々な場面に応じて適切な英語を用いることができる。	• 筆記試験 • ライティングタスク	50% 20%
異文化知識・対応能力	英作文にとって重要な要素と文化を理解して、書くものに取り入れることができる。	• ライティングタスク	10%
課題解決能力	グループ行動をするとき自分の役割を理解し、活躍することができ、目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案することができる。	• グループワーク	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

本授業では、筆記試験 50%、英語ライティングタスク 40%、グループワーク 10%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Introduction ※合同授業	授業の進め方、評価方法の説明、Moodleの使い方。自己紹介を英語で書いてみよう。	
2回目	Unit 1・Opinions	Grammar Focus：英作文と接続詞（復習） ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
3回目	Unit 1・Opinions	Grammar Focus：自分と他人の意見を示す ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
4回目	Unit 1・Opinions	Grammar Focus：説明の文章 ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク①提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを修正してオンラインで提出する
5回目	Unit 2・Email	Grammar Focus：メールの英語 ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
6回目	Unit 2・Email	Grammar Focus：メールやり取り文法① ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
7回目	Unit 2・Email	Grammar Focus：メールやり取り文法② ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク②提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを修正してオンラインで提出する
8回目	Unit 3・Blog	Grammar Focus：Conversational style ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
9回目	Unit 3・Blog	Grammar Focus：ブログの英作文 ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
10回目	Unit 3・Blog	Grammar Focus：コメントする ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク③提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを修正してオンラインで提出する
11回目	Unit 4・Web Article	Grammar Focus：Formal style ライティングタスク・グループワーク	予習：ブログにコメントする 復習：文法を復習する
12回目	Unit 4・Web Article	Grammar Focus：レビューの英作文① ライティングタスク・グループワーク	予習：前回のタスクを振り返る 復習：文法を復習する
13回目	Unit 4・Web Article	Grammar Focus：レビューの英作文② ライティングタスク・グループワーク ※ライティングタスク④提出日	予習：前回のタスクを振り返る 復習：締切時間までにタスクを修正してオンラインで提出する
14回目	復習	Grammar Focus：今までの文法の復習 試験準備・グループワーク	予習：レビューにコメントする 復習：文法を復習する

15 回目	復習	Grammar Focus : 今までの文法の復習 試験準備・グループワーク	予習 : 今までのタスクを振り返る 復習 : 文法を復習する
16 回目	定期試験	筆記試験	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考 : プリント教材は授業中で指定する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	(前期) 火・水曜日の 3 ~ 5 限目 (研究室) (後期) 火・金曜日の 1 ~ 2 限目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&グラマーⅡ	授業コード：
英文科目名称：English Writing and Grammar Ⅱ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語のグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声を聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う簡単な英語の文章を書くことができる。	・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度	70% 25% 5%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験 70%、小課題 15%、授業への参加・態度 5%の割合で総合評価する。
- ・小課題においては、ラインティングの課題が含まれます。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Introduction & 英語で自己紹介	授業の進め方、評価方法の説明 レベル別の 3 クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書いてみよう。内容の添削、発表練習	学習課題 復習：ラインティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備
2 回目	Unit 1: Airport Security	Grammar Points: Word Forms 語源に関する問題 Writing Task	学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える
3 回目	Unit2: Weekend Activities	Grammar Points: Tricky Prepositions and Phrasal Verbs (1) 前置詞 Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
4 回目	Unit 3: Ecology	Grammar Points: Essential Comparatives 大切な比較表現のいろいろ Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
5 回目	Unit 4: Housing and Property	Grammar Points: Action Verbs and State Verbs 行動の動詞と状態の動詞 Writing Task	学習課題 復習：この Unit で学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの

			語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
6 回目	Review Test	レビューテスト	学習課題 復習:Unit 1-4 を復習 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
7 回目	Unit 5: Health and Welfare	Grammar Points: Articles and Quantifiers 冠詞と数量詞 Writing Task	学習課題 復習:このUnit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
8 回目	Unit 6: Communications	Grammar Points: Participles 分詞構文~ing と~ed Writing Task	学習課題 復習:このUnit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
9 回目	Unit 7: Careers and Employment	Grammar Points: Future Tense 未来形のさまざまな表現 Writing Task	学習課題 復習:このUnit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。
10 回目	Unit 8: Office Procedures and Protocol	Grammar Points: Subjet-Verb Agreement 主語と動詞の関係 Writing Task	学習課題 復習:このUnit で学んだ文法項目の復習。 予習:次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。

			する。
11 回目	Review Test 2	レビューテスト	学習課題 復習:Unit 5-8を復習 予習:次のユニットの 語彙を調べ、わからな いところ明らかにに する。
12 回目	Current Events and Public Affairs	Grammar Points: To + Verb versus Verb + ing toをとる動 詞と ingをとる動詞 Writing Task	学習課題 復習:この Unitで学んだ文法項 目の復習。 予習:次のユニットの 語彙を調べ、わからな いところ明らかにに する。
13 回目	Marketing and Sales Campaigns	Grammar Points: Past Modals with 'have + -ed' 助動詞をと もう過去完了形 Writing Task	学習課題 復習:この Unitで学んだ文法項 目の復習。 予習:次のユニットの 語彙を調べ、わからな いところ明らかにに する。
14 回目	Complaints and Troubleshooting	Grammar Points: Conditional Sentences 第2、第3条件文 Writing Task	学習課題 復習:この Unitで学んだ文法項 目の復習。 予習:次のユニットの 語彙を調べ、わからな いところ明らかにに する。
15 回目	Innovations and Technology	Grammar Points: Phrasal Verbs (2) 3語からなる熟語動詞 Writing Task Writing Task	学習課題 復習:この Unitで学んだ文法項 目の復習。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
------------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考) 「TOEIC Test : On Target book 2 - 南雲堂」、プリント教材、授業の中で指示する。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50 - 18:00) *その他、空きコマ (研究室ドアに掲示) も可
備考・メッセージ	資英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

講義科目名称：英語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q5・Q6	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
内山智子				

授業概要	英語で日本の文化や時事問題を学習し理解することを目標とする。 NHK Newsline のテレビ番組で取り上げられた記事を映像や音声を通して学習し、総合的な英語力を高める。定着を図るために毎回小テストを行います。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会や時代の流れに問題意識を持ち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	外国語で書かれた具体的・もしくは抽象的な話題についてのある程度複雑な文章を読み、内容を理解することができる。	筆記試験 小テスト	50% 30%
コミュニケーション能力	自己の文化的ルールや偏見について自分で認識しており、明確に自分の意見を述べるすることができる。		
課題解決能力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけ課題の解決方法を検討し複数のプロセスを明確にし計画することができる。	課題提出	15%
主体的に学ぶ力	自己について深く理解し、課題や興味関心に基づき積極的な学習ができる。		
合計			100%
補足事項			
本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出 15%の割合で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション Chapter 1	授業内容の概要説明 予習・復習方法の説明 記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理
2回目	Chapter 2	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
3回目	Chapter 3	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
4回目	Chapter 4	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
5回目	Chapter 5	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
6回目	Chapter 6	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
7回目	Chapter 7	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
8回目	Chapter 8	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解→本文ディクテーション→記事内容理解→ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく

9回目	Chapter 9	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
10回目	Chapter 10	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
11回目	Chapter 11	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
12回目	Chapter 12	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
13回目	Chapter 13	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
14回目	Chapter 14	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す、ノート整理 予習；次回の内容の単語や表現を調べておく
15回目	Chapter 15	復習小テスト→記事背景理解→語彙理解 →本文ディクテーション→記事内容理解 →ディスカッション	復習：学習した内容を理解し直す
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	NHKNewsline 授業の中で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業中の携帯電話は辞書使用時のみ許可する。

オフィスアワー	水曜 3 限
備考・メッセージ	本授業では定期試験 50%、授業への参加・態度 5%、小テスト 30%、課題提出 15%の割合で評価する。毎回の予習・復習は必ず行うこと。

講義科目名称：英語演習 II	授業コード：
英文科目名称：General English II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	英語演習 I で学習した内容をベースに、さらに上のレベルの英語学習を行う。自分の弱点を理解し、効果的に 4 技能を伸ばす。特に、語彙数を増やし、英語独特の言い回し、イディオムなども理解する。具体的には、アメリカ ABC 放送のテレビ番組で取り上げられた記事を映像を通し学習し、総合的な英語力を高める。定着をはかるために、毎回小テストを行います。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各レベルの英文を正しく理解できる（読解）。 ・各レベルの英語リスニングを正しく理解できる（リスニング）。 ・英語の文法を正しく理解できる（文法）。 ・日本語を英語に正しく翻訳できる。 ・学んだ英語を使い、特定の話題について英語で会話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業中の課題 ・授業参加度 	<p>70%</p> <p>20%</p> <p>10%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

最終の「筆記試験」(70%)と「授業中の課題と授業参加度」(30%)で総合的に評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Sister Jean: Basketball Team's Secret Weapon	記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
2回目	Blood Testing: Charged with Massive Fraud	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
3回目	Millionaire Millennial	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
4回目	Fighting Robocalls	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
5回目	The Blue World	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
6回目	Moment of Impact	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
7回目	Father's New Hand	復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション →	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ

		記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
8回目	Trump's Weapon Ban?	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
9回目	American Men's Bobsledding Team	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
10回目	Made in America: Recycling Discar ded Water Bottles	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
11回目	The Children of Syria	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
12回目	Honoring Martin Luther King Jr.	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
13回目	Inside the Drug Cartel	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。
14回目	Triggering a Trad e War?	復習小テスト →記事背景理解 →語 彙理解 →本文ディクテーション → 記事内容理解 →(応用)会話文ディク テーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノー トに整理しておくこと。 予習：教科書やプリ ント教材の分からない単語 等をしらべておくこと。

15 回目	Data Grab: Elections and Facebook	復習小テスト →記事背景理解 →語彙理解 →本文ディクテーション →記事内容理解 →(応用)会話文ディクテーション →ディスカッション	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
16 回目	定期試験	まとめの評価	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。 参考）ABC World News Tonight 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	英語学習は、根気よく、継続が必要です。毎回の予習・復習を必ずやるように習慣付けること。

講義科目名称：中国語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1stQ & 2ndQ)	1年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では中国語の基礎を学ぶ。まず、中国語の発音方法、および、ピンイン（中国語式ローマ字）を学習する。次に、中国語の基礎となる文法と基本語彙を学び、それらによって形成される中国語の文を正確に発音し、同時に、的確な日本語で解釈できるようにする。そして、以上の学習を通じて、中国語の検定試験 HSK(漢語水平考試)の1級に確実に合格できるようにする。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ピンインの基礎学習 1	1. 単母音について学ぶ。 2. 動語(動詞)と目的語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	ピンインの基礎学習 2	1. 声調について学ぶ。 2. やや複雑な動語(動詞)と目的語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	ピンインの基礎学習 3	1. 二重複合母音について学ぶ。 2. やや複雑な動語(動詞)と目的語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	ピンインの基礎学習 4	1. 鼻音について学ぶ。 2. 主語と述語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	ピンインの基礎学習 5	1. 子音について学ぶ。 2. 主語と述語の関係を学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	ピンインの基礎学習 6	1. 子音について学ぶ。 2. 主語と述語の関係について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	ピンインの基礎学習 7	1. 軽声について学ぶ。 2. 形容詞が述語となる構造について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	ピンインの基礎学習 8	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 動詞“是”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。

9 回目	ピンインの基礎学習 9	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 述詞(動詞(句))の連続形式について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。</p>
10 回目	ピンインの基礎学習 10	<ol style="list-style-type: none"> 1. 述語の中が主語+述語によって構成されている文(主述述語文)について学ぶ。 2. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。</p>
11 回目	ピンインの基礎学習 11	<ol style="list-style-type: none"> 1. 存現文について学ぶ。 2. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。</p>
12 回目	ピンインの基礎学習 12	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 偏正構造(連体修飾語)について学ぶ 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。</p>
13 回目	ピンインの基礎学習 13	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 状況語(連用修飾語)について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。</p>
14 回目	ピンインの基礎学習 14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 連合構造について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。</p> <p>復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。</p>
15 回目	ピンインの基礎学習 15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 結果補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	<p>復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。</p>
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
------------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(6stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の作文力を身に付ける。これにより、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的スムーズに交流できるようにする。授業では、主に HSK4 級の作文問題における問題についての的確に解答し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK4 級の作文問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK4級の作文1	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK4級の作文2	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK4級の作文3	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK4級の作文4	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK4級の作文5	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK4級の作文6	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK4級の作文7	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK4級の作文8	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK4級の作文9	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK4級の作文10	1. 作文の問題を解く	予習:第11課で学ぶ箇所の

		2. 発音練習 3. 小テスト	音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK4 級の作文 11	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK4 級の作文 12	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK4 級の作文 13	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK4 級の作文 14	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK4 級の作文 15	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	中国語Ⅰで学んだ内容を復習しつつ、教科書をもとに、さまざまなテーマを用いて、会話・グループディスカッションを中心に授業を進める。また、正しい発音ができるように、何度も繰り返し練習する。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	より多くの中国語を身につけ、グローバル社会に適応できるようになる。	授業参加	30%
確かな専門的知識 や技能	・ 正確な発音ができる。 ・ 学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。	授業態度	10%
コミュニケーション能力	様々な場面において相手と中国語で、コミュニケーションができる。	グループディスカッションへの参加	20%
課題解決能力	・ 短い作文を書くことができる。 ・ 課題に取り組むことができる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。	課題や宿題	20%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・ 予習、復習を必ずする。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、履修において、注意事項などを説明する。	予習：日常挨拶用語 復習：助動詞をまとめる。

2回目	第1課 自我介绍	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名、専攻などの自己紹介について学ぶ。 ・様態補語、助動詞①、副詞①などの文法を学ぶ。 	<p>予習：“不”の意味と使い方</p> <p>復習：“不”を使って5つ以上の文を書く練習する。</p>
3回目	第2課 兴趣, 爱好	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や興味について学ぶ。 ・呼応表現①、呼応表現②、結果補語などの文法を学ぶ。 	<p>予習：“没有”の使い方をまとめる。</p> <p>復習：呼応表現①②を使って、文を書く練習する。</p>
4回目	第3課 我的家	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族構成の言い方について学ぶ。 ・呼応表現③、副詞②、前置詞①を学ぶ。 	<p>予習：数の数え方をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
5回目	第4課 去学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ行くまでの行動や学校へ行く際の手段について学ぶ。 ・副詞の連用、選択疑問文、数量補語などの文法を学ぶ。 	<p>予習：時間の言い方をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
6回目	第5課 买东西	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の際、使う表現について学ぶ。 ・前置詞②、使役動詞①などの文法を学ぶ。 	<p>予習：物を数える際、使う量詞をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
7回目	第6課 点菜	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランで、料理の注文について学ぶ。 ・離合詞、使役動詞②などの文法を学ぶ。 	<p>予習：お皿、料理を数える際の量詞をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
8回目	第7課 问路	<ul style="list-style-type: none"> ・道を尋ねる際に使う挨拶や、方向の言い方を学ぶ。 ・助動詞②、比較表現などの文法を学ぶ。 	<p>予習：方向を表す単語をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
9回目	第8課 打电话	<ul style="list-style-type: none"> ・電話のかけ方や電話番号の言い方について学ぶ。 ・副詞③、④、依頼を表す動詞などの文法を学ぶ。 	<p>予習：今まで学んだ副詞をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
10回目	第9課 文化节	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の時期、文化祭の内容などについて学ぶ。 ・慣用表現、疑問詞などの文法を学ぶ。 	<p>予習：年、月、日の言い方をまとめる。</p> <p>復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。</p>
11回目	第10課 我的梦想	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や現在持っている資格、これから取得したい資格などを学ぶ。 	<p>予習：自分の夢について考えてみる。</p>

		・副詞の連用、呼応表現④、⑤などの文法を学ぶ。	復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。
12回目	第11課 春假早点 儿来	・休み、休暇について学ぶ。 ・呼応表現⑥、⑦などの文法を学ぶ。	予習：中国の休みについて調べる。 復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。
13回目	第12課 在北京	・相手にお礼の伝え方を学ぶ。 ・強調を表す語気助詞、副詞5などの文法を学ぶ。	予習：日本では、お礼を伝える際の言い方をまとめる。 復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。
14回目	第13課 语法总结	今まで学んだ文法を総まとめする。	予習：学習した文法をまとめる。 復習：学習した文法を使って、文を書く練習する。
15回目	第14課 会话总结	今まで学んだ会話を総まとめする。	予習：学習した単語をまとめる。 復習：テスト勉強する。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：・宮本 大輔 温琳（2013）『話そう！実践中国語』株式会社 朝日出版社 ・相原茂・蘇明著（2014）『日中いぶこみ 12景』朝日出版社
履修条件	中国語 I を履修したこと。
履修上の注意	
オフィスアワー	質問がある場合、問題用紙を教員ボックスに入れるか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業中、積極的に発話する。授業外、留学生と積極的にコミュニケーションをしてほしいです。

講義科目名称：中国語会話	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4stQ)	1年	1単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主に HSK3 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK3 級の聞き取り問題に合格(正答率 6 割)できる。 4. HSK3 級の作文問題に合格(正答率 6 割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10% ・ 20% ・ 10% ・ 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK3級の聞き取り 1	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK3級の聞き取り 2	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK3級の聞き取り 3	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK3級の聞き取り 4	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK3級の聞き取り 5	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK3級の聞き取り 6	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK3級の聞き取り 7	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK3級の聞き取り 8	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。

9回目	HSK3級の聞き取り 9	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK3級の聞き取り 10	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK3級の聞き取り 11	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK3級の聞き取り 12	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK3級の聞き取り 13	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK3級の聞き取り 14	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK3級の聞き取り 15	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。

オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語会話	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4stQ)	1年	1単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主に HSK3 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK3 級の聞き取り問題に合格(正答率 6 割)できる。 HSK3 級の作文問題に合格(正答率 6 割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK3級の聞き取り 1	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK3級の聞き取り 2	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK3級の聞き取り 3	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK3級の聞き取り 4	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK3級の聞き取り 5	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK3級の聞き取り 6	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK3級の聞き取り 7	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK3級の聞き取り 8	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。

9回目	HSK3級の聞き取り 9	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK3級の聞き取り 10	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK3級の聞き取り 11	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK3級の聞き取り 12	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK3級の聞き取り 13	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK3級の聞き取り 14	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK3級の聞き取り 15	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。

オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 1stQ	1 年	2 単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。授業では、第1回から第10回まではHSK1級の聞き取りを中心に行い、第10回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK1級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK1級の聞き取り 1	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK1級の聞き取り 2	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK1級の聞き取り 3	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK1級の聞き取り 4	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK1級の聞き取り 5	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK1級の聞き取り 6	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK1級の聞き取り 7	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK1級の聞き取り 8	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK1級の聞き取り 9	1. HSK1級の単語を学ぶ	予習:第10課で学ぶ箇所の

		2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK1級の聞き取り 10	1. HSK1級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK1級の読解 1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK1級の読解 2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK1級の読解 3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK1級の読解 4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK1級の読解 5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1 Q	1 年	2 単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本講義は中国語検定 1、2 級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返し練習し、説明を行う。今まで、検定の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応ができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを説明、練習を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定 1 級に合格ができる。	・授業参加 ・授業態度	30%
コミュニケーション能力	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。	グループディスカッション	20%
課題解決能力	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。	課題	30%
主体的に学ぶ力	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習したりすることができる。	定期テスト	20%
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	予習：中国語Ⅰで学習した基本的な挨拶用語。 復習：新しい挨拶用語を暗記する。
2回目	模擬問題 1	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認。
3回目	模擬問題 1 の解説	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認。
4回目	模擬問題 1 の解説	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
5回目	模擬問題 2 の解説	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い反復練習する。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
6回目	模擬問題 3	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
7回目	模擬問題 3 の解説	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再

			確認
8 回目	模擬テスト	検定テストと同様に記入シートを使い、時間通りにテストを行う。その後、答え合わせをする。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
9 回目	模擬テストの解説	テストを解説し、間違った問題を反復練習する。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
10 回目	模擬問題 4	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
11 回目	模擬問題 4 の解説	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
12 回目	模擬問題 5	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
13 回目	模擬問題 5 の解説	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認。
14 回目	模擬問題 6	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認。
15 回目	・模擬問題 6 の解説	模擬問題の解説を行い、総まとめをする	予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。

	・総まとめ		予習：単語帳にある 1、2 級の単語を音読、書く練習。 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：・『中国語検定 HSK 公式過去問題集 1 級』2018 出版社：スプリックス ・『中国語検定 HSK 公式過去問題集 2 級』2018 出版社：スプリックス ・郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙 1～4 級』 白帝社
履修条件	中国語 I を履修すること
履修上の注意	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(2stQ)	1年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語検定Ⅰの学習を踏まえ、更に中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、身近な日常生活の話題について簡単で直接的な交流ができるようにする。授業では、第1回から第6回まではHSK2級の聞き取りを中心に行い、第7回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK2級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK2級の聞き取り 1	1. HSK2級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK2級の聞き取り 2	1. HSK2級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK2級の聞き取り 3	1. HSK2級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK2級の聞き取り 4	1. HSK2級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK2級の聞き取り 5	1. HSK2級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK2級の聞き取り 6	1. HSK2級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK2級の読解 1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK2級の読解 2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。

9回目	HSK2級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK2級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第10課で学んだ箇所の音読。
11回目	HSK2級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第11課で学んだ箇所の音読。
12回目	HSK2級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第12課で学んだ箇所の音読。
13回目	HSK2級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第13課で学んだ箇所の音読。
14回目	HSK2級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第14課で学んだ箇所の音読。
15回目	HSK2級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習:第15課で学んだ箇所の音読。
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィ

	一チャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語検定 II	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	<p>本講義は HSK 3、4 級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返して練習し、解説を行う。また、学生のレベルに合わせ、3 級の復習をしながら、4 級の検定対策をする。今まで、検定の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応することができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを解説し、練習を重ねる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定 1 級に合格ができる。	授業参加	30%
コミュニケーション能力	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。	グループディスカッション	20%
課題解決能力	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。	・課題 ・小テスト	30%
主体的に学ぶ力	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習する。	定期テスト	20%
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて 復習：確実に合格するためのプランを立てる
2回目	模擬問題 1	・ 模擬問題を解く。 ・ 答え合わせする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
3回目	模擬問題 1 の解説	聴解の解説をする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
4回目	模擬問題 1 の解説	文法、新出単語を解説する。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
5回目	模擬問題 2	・ 模擬問題を解く。 ・ 答え合わせする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
6回目	模擬問題 2 の解説	聴解の解説をする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
7回目	模擬問題 2 の解説	文法、新出単語を解説する。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
8回目	模擬問題 3	・ 模擬問題を解く。 ・ 答え合わせする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。

9 回目	模擬問題 3 の解説	聴解の解説をする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
10 回目	模擬問題 3 の解説	文法、新出単語を解説する。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
11 回目	模擬問題 4	・ 模擬問題を解く。 ・ 答え合わせする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
12 回目	模擬問題 4 の解説	聴解の解説をする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
13 回目	模擬問題 4 の解説	文法、新出単語を解説する。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
14 回目	総まとめ 1	模擬問題 1～4 までの聴解を総まとめする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
15 回目	総まとめ 2	模擬問題 1～4 までの文法、新出単語や文法を総まとめする。	予習：単語帳にある 3、4 級の単語を音読、書く練習。 復習：新出単語や文法の再確認。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：・『中国語検定 HSK 公式過去問題集 3 級』2018 出版社：スプリックス ・『中国語検定 HSK 公式過去問題集 4 級』2018 出版社：スプリックス

	<p>ックス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『中国語検定 HSK 公認 テキスト 3 級』2018 出版社：スプリックス ・『中国語検定 HSK 公認 テキスト 4 級』2018 出版社：スプリックス <p>ックス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙 1～4 級』 白帝社
履修条件	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語の幅広い範囲にわたる話題の文章を理解できるようにする。授業では、主に HSK4 級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	HSK4級の読解1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK4級の読解2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK4級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK4級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK4級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK4級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK4級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK4級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK4級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK4級の読解10	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。

		3. 小テスト	復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK4 級の読解 11	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK4 級の読解 12	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK4 級の読解対 13	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK4 級の読解 14	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK4 級の読解 15	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5 Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	<p>本科目は中国語検定（HSK）5級を目指して、中国語上級レベルに相当する難易度の高い語彙や文法を学習する。</p> <p>今まで学習した単語を違う使い方になることがあり、何度も練習や復習し、克服し、中国語検定（HSK）5級の合格を目指します。また、問題を解く際、時間を計りながらする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	30%
確かな専門的知識や技能	上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	定期テスト	20%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	20%
課題解決能力	上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	レポート	20%
主体的に学ぶ力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、履修するにあたり、注意	予習：検定を受けるまでの

	ン	事項や心構えについて説明する。	スケジュールや心構えについて 復習：確実に合格するためのプランを立てる。
2回目	模擬問題 1	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
3回目	模擬問題 1 の解説	聴解の問題や新出単語の解説をする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
4回目	模擬問題 1 の解説	文法や作文を解説する。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
5回目	模擬問題 2	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
6回目	模擬問題 2 の解説	聴解の問題や新出単語の解説をする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
7回目	模擬問題 2 の解説	文法や作文を解説する。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
8回目	模擬問題 3	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
9回目	模擬問題 3 の解説	聴解の問題や新出単語の解説をする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
10回目	模擬問題 3 の解説	文法や作文を解説する。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
11回目	模擬問題 4	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
12回目	模擬問題 4 の解説	聴解の問題や新出単語の解説をする。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
13回目	模擬問題 4 の解説	文法や作文を解説する。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
14回目	総まとめ 1	今までした聴解の問題をまとめる。	予習：5級の単語。 復習：新出単語と文法。
15回目	総まとめ 2	今までした文法や作文の問題をまとめる。	復習：
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：・金級涛（2005）『決勝30天新汉语水平考试5级仿真试题集 北京语言大学出版社 ・中国語検定 HSK5 級長文テキスト 株式会社スプリックス 中国語事業部
履修条件	HSK4 級合格したこと。
履修上の注意	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語ライティング&文法 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4stQ)	1年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の発音の基礎を固め、同時に、初級程度の読解力を身に付ける。これにより、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、第1回から第11回まではピンインの復習を行う。第12回からはHSK3級の読解問題を解き、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ピンインの基礎学習 1	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 可能補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	ピンインの基礎学習 2	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 方向補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	ピンインの基礎学習 3	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 状態補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	ピンインの基礎学習 4	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 程度補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	ピンインの基礎学習 5	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	ピンインの基礎学習 6	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞“一下”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	ピンインの基礎学習 7	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞(重畳形)について学ぶ。	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所

		3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	の音読。
8 回目	ピンインの基礎学習 8	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 数詞+量詞について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。
9 回目	ピンインの基礎学習 9	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“了”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。
10 回目	ピンインの基礎学習 10	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“着”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	ピンインの基礎学習 11	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“过”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK3 級の読解 1	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK3 級の読解 2	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK3 級の読解 3	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK3 級の読解 4	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語ライティング&文法 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本講義では、使う頻度が多い文法や、語彙を用いて、会話と購読を中心に進める。今まで学んだ文法や語彙を復習しながら、新しい語彙、文法を学ぶ。 句を使ってグループディスカッションをする。その後、短文を書き、発表を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化に理解することができる。	・授業参加	20%
確かな専門的知識 や技能	文法や語彙を使って、柔軟に会話や作文を書き、発表することができる。	・授業態度 ・発表	10%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、コミュニケーションができる	・グループディスカッション	20%
課題解決能力	課題に取り組むことができる。	・小テスト	30%
主体的に学ぶ力	積極的に予習、復習をする習慣を身につくことができる。	・課題レポート	20%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする。 	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	・授業内容や進め方を説明する。	予習：シラバスの確認。 復習：ピンインを再確認す

			る。
2 回目	第 1 課 会話：你好 購読：自我介绍	自分や他人について紹介する内容を学ぶ。	予習：人称代名詞をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
3 回目	第 2 課 会話：这是什么？ 購読：大山的房间	指示名詞を学び、紹介したい場所について学ぶ。	予習：指示代名詞をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
4 回目	第 3 課 会話：你去哪儿？ 購読：便利店	さまざまな店の言い方や行きたい場所の言い方について学ぶ。	予習：動詞述語文を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
5 回目	第 4 課 会話：你要几个？ 購読：全家照	・買い物の際、いくつ、いくらなどについて学ぶ。 ・家族構成について学ぶ。	予習：数字や量詞言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
6 回目	第 5 課 会話：你星期几打工？ 購読：踢足球	・アルバイトをする曜日について学ぶ。 ・サッカーなどのスポーツの言い方、それらを使う助詞について学ぶ。	予習：曜日、時刻の言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
7 回目	会話：今天的课都完了吗？ 購読：唱卡拉 OK	・今日のスケジュールの言い方について学ぶ。	予習：完了形を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
8 回目	第 7 課 会話：你吃饭了吗？ 購読：去海边儿	どこへ行ったのか、何をしたのかの言い方について学ぶ。	予習：連動文を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
9 回目	第 8 課 会話：你爬过富士山吗？ 購読：喜欢北京	好きな場所について、どのように相手に伝うかを学ぶ。	予習：位置を表す語を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
10 回目	第 9 課 会話：你在干什么呢？ 購読：学开车	今何をしているのかの伝え方を学ぶ。	予習：主述述語文を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
11 回目	第 10 課 会話：你有什么爱	趣味や興味について学ぶ。	予習：様態補語を確認する。 復習：新出単語や文を朗読

	好？ 購読：联谊会		する。
12 回目	第 11 課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫	「この靴はどうですか」の文のように、自分のものを他人に意見を求める際の言い方について学ぶ。	予習：相手に自分のものを、何を紹介するかを考える。 復習：新出単語や文を朗読する。
13 回目	第 12 課 会話：生日快乐！ 購読：买衣服	誕生日の方に、お祝いの言葉をどのように伝えるかを学ぶ。	予習：年、月、日の言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
14 回目	会話の総まとめ	今まで学んだ会話文を総まとめする。	予習：会話のプリントを確認する。
15 回目	購読の総まとめ	今まで学んだ購読文を総まとめする。	予習：朗読のプリントを確認する。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：・竹島 毅 趙昕（2007）『さあ、中国語を学ぼう！』—会話・購読— 株式会社 白水社 ・林 松濤（2020）『大人なら使いたい中国語表現』 三修社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問がある場合は、教員ボックスに質問用紙を入れるか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。

講義科目名称：中国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国の新聞や雑誌の内容が大体理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	HSK5級の読解1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK5級の読解2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK5級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK5級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK5級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK5級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK5級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK5級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK5級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK5級の読解10	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。

		3. 小テスト	復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK5 級の読解 11	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK5 級の読解 12	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK5 級の読解 13	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK5 級の読解 14	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK5 級の読解 15	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年生	2単位	選択	講義
担当教員 井上麗奈				

授業概要	この講義では、中国語検定 HSK 4 級以上、中上級に必要とする難易度の高い語彙、文法、発音を総合的に学習する。中国の文化について、さまざまなテーマを用いて、講義を行う。また、自分が興味のあることをはじめ、他の学生の前で発表する。更に、他人の発表を聞いたあと、質問をする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	30%
確かな専門的知識や技能	中上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	定期テスト	20%
コミュニケーション能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	20%
課題解決能力	中上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	レポート	20%
主体的に学ぶ力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	10%
合計			100%

補足事項	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、履修するにあたり、注意	予習：検定を受けるまでの

	ン	事項や心構えについて説明する。	スケジュールや心構えについて
2回目	第1課 大学生的 周末	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“是”“了”“不” の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
3回目	第2課 北京的交通	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“吗”、“也”、“什 么”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
4回目	第3課 中国人的主 食----北方和南方	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“吧”、“在”、 “想”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
5回目	第4課 对数字的喜 好	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“有”、“过”、“从 ~到”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
6回目	第5課 大学生的 “打工”现状	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“可以”、“能”、 “会”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
7回目	中間テスト	第1課から第5課までの内容をテスト、 答え合わせ、解説を行う。	予習：文法“给”、“去”、 “来”の使い方をまとめる。 復習：間違った問題を再確 認する。
8回目	第6課 集体生活的 好处	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“地”、“得”、 “着”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
9回目	第7課 在北京购物	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“怎么”、“怎么 样”、“呢”の使い方をまと める。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
10回目	第8課 送礼的讲究	・本文を朗読、翻訳 ・文法	予習：文法“几”、“多少”、 “多”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再

			確認する。
11 回目	第 9 課 “中国式”的 结婚	・ 本文を朗読、翻訳 ・ 文法	予習：文法“从”、“到”、 “离”、“往”の使い方をまと める。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
12 回目	第 10 課 双职工家 庭	・ 本文を朗読、翻訳 ・ 文法	予習：文法“反復疑問文”、 “連動文”、“疑問詞”の使い 方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
13 回目	第 11 課 中国人的 称呼-----辈分和面 子	・ 本文を朗読、翻訳 ・ 文法	予習：文法“量詞”、“方位 詞”、“指示詞”の使い方を まとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
14 回目	第 12 課 大学生心 目中的理想职业	・ 本文を朗読、翻訳 ・ 文法	予習：文法“都”、“的の省 略”の使い方をまとめる。 復習：新出単語と文法を再 確認する。
15 回目	総まとめ	・ すべての内容をまとめる	予習：プリントやノートを 整理、確認する。 復習：テスト勉強する。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	参考書：・吉田泰謙・相原里美・葛婧著（2013）『知っておきたい中国語事情』 白水社 ・張乃方（2006）『中国語実習コース』 白水社
履修条件	中国語 I、II を履修したこと。
履修上の注意	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習

する。

講義科目名称：中国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 (5stQ&6stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK4級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK4級の聞き取り 1	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK4級の聞き取り 2	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK4級の聞き取り 3	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK4級の聞き取り 4	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK4級の聞き取り 5	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK4級の聞き取り 6	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK4級の聞き取り 7	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK4級の聞き取り 8	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK4級の聞き取り 9	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK4級の聞き取り 10	1. HSK4級の単語を学ぶ	予習:第 11 課で学ぶ箇所の

		2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK4 級の聞き取り 11	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK4 級の聞き取り 12	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK4 級の聞き取り 13	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK4 級の聞き取り 14	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK4 級の聞き取り 15	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q、6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	<p>中国語の基本である発声（ピンイン）を習得した上で、講義では文法と会話を交互に学習し、中国語の日常会話に必要な単語や基本文法を学ぶ。</p> <p>本講義終了時、中国語で、自己紹介や日常会話ができる。また、中国語検定1級に合格することができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国語を学ぶと同時に、中国の文化を理解することができる。	授業参加	20%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 中国語の発音を正確にできる。 文法を使って簡単な文が書ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 	50%
コミュニケーション能力	簡単な日常会話ができる。	積極的に中国語で発話する	10%
課題解決能力	簡単な自己紹介を書いたり、発表したりすることができる。	グループディスカッション	10%
主体的に学ぶ力	中国の方と交流ができることを理解し、積極的に学習することができる	出席率及び授業態度	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 毎回予習、復習を必ずする。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	オリエンテーション	・授業の進め方、中国語についての簡単な説明	予習：シラバスを確認する。 復習：日常生活の中で、知っている中国語をまとめる。
2回目	発音Ⅰ	声調と単母音を学習する	予習：中国語の発音のイメージについて考えてみる。 復習：声調と単母音の発音を練習する。
3回目	発音Ⅱ	複母音と子音について学習する	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：複母音と子音の発音を練習する。
4回目	発音Ⅲ	そり舌音と鼻音を伴う母音を学習する	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：そり舌音と鼻音を伴う母音の発音を練習する。
5回目	発音Ⅳ	軽声、R化、声調変化、数字を学習する	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：・軽声、R化、声調変化を理解する。 ・数字について発音を練習する。
6回目	第一課 文法 「私は学生です」	1) 人称代名詞 2) 名詞述語文 3) 動詞述語文 4) “吗”の疑問文 5) 副詞“也”“都” 6) 名詞の修飾語①	予習：人称代名詞や品詞についてまとめる。 復習：・人称名詞を暗記する。 ・学習した文法を使って簡単な文を書く練習する。
7回目	第二課 会話 「どうぞよろしく！」	簡単な単語を使い、挨拶する文を学習する	予習：・第一課で学んだ単語を暗記する。 ・挨拶で何を伝えたいのかを考える。 復習：授業中に指定した文を暗唱する。
8回目	第三課 文法 「私は忙しいです」	1) 形容詞述語文 2) 指示詞“这”“那” 3) 疑問詞“谁”“什么”“哪个” 4) “吧”の用法	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を

		5) “的”の省略	使って、文を書く。
9回目	第四課 会話 「中国はむずかしい」	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に指定した文を暗唱する。
10回目	第五課 文法 「辞書を持っています」	1) 所有を表す“有” 2) 反復疑問文 3) 量詞 4) 年月日・曜日・時刻の表し方	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く。
11回目	第五課 会話 「芝居は好きですか？」	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に指定した文を暗唱する。
12回目	第六課 文法 「どこへ行きますか？」	1) 場所指示名詞“这儿”“那儿”“哪儿” 2) 方位詞 3) 存在を表す“有”“在” 4) 疑問詞“怎么” 5) 連動文	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く。
13回目	第七課 会話 「郵便局はどこですか？」	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に指定した文を暗唱する。
14回目	第八課 文法 「どれくらいの学生がいますか？」	1) 疑問詞“几”“多少” 2) 程度を訪ねる“多” 3) 時間の表し方 4) 前置詞“在” 5) 前置詞“从”“到”“离”“往” 6) “呢”の疑問詞	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語5つ以上を使って、文を書く。
15回目	総まとめ	今まで学んだ文法や会話を総まとめする	予習：事前に配布したプリントを確認する。 復習：今まで学んだことを整理する。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考書：八木章好・鄭麗媚著（2014）『おぼえチャイナ 1』 朝日出版社
履修条件	中国語 I を履修したこと。
履修上の注意	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席する。授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。積極的に留学生と会話する。

講義科目名称：中国語演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ&8stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を観賞し、大体の内容が理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK5級の聞き取り 1	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK5級の聞き取り 2	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK5級の聞き取り 3	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK5級の聞き取り 4	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK5級の聞き取り 5	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK5級の聞き取り 6	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK5級の聞き取り 7	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK5級の聞き取り 8	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK5級の聞き取り 9	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK5級の聞き取り 10	1. HSK5級の単語を学ぶ	予習:第 11 課で学ぶ箇所の

		2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK5 級の聞き取り 11	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK5 級の聞き取り 12	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK5 級の聞き取り 13	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK5 級の聞き取り 14	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK5 級の聞き取り 15	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ&8stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を観賞し、大体の内容が理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	HSK5級の聞き取り 1	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 1 課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK5級の聞き取り 2	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 2 課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK5級の聞き取り 3	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 3 課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK5級の聞き取り 4	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 4 課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK5級の聞き取り 5	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 5 課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK5級の聞き取り 6	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 6 課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK5級の聞き取り 7	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 7 課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK5級の聞き取り 8	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 8 課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK5級の聞き取り 9	1. HSK5級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 9 課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK5級の聞き取り 10	1. HSK5級の単語を学ぶ	予習:第 11 課で学ぶ箇所の

		2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	音読練習。 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK5 級の聞き取り 11	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK5 級の聞き取り 12	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK5 級の聞き取り 13	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK5 級の聞き取り 14	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK5 級の聞き取り 15	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称： 韓国語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（1Q－2Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、正確かつ自然な韓国語の習得を目指し、簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
主体的に学ぶ力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	出席度	10%
専門的知識や技能	①ハングルを正確な発音で読むことができ、聴き取ることができる。 ②ハングルを正しく書くことができる。 ③本文（会話文）を読んで、内容を正確に理解することができる。 ④基本文法・文型を理解し、状況に応じて簡単な日常的表現で会話ができる。	定期試験 小テスト (単語と文法など)	60% 15%
課題解決能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	課題の提出	10%
心豊かな人間力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	グループワーク 授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			

・本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 15%、課題の提出 10%、グループワーク 5%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介、韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	※毎回復習の小テスト有り 復習 なし
2 回目	ハングルの基本母音字、基本子音字	韓国語の文字「ハングル」について説明 ハングルの基本母音字、基本子音字について学習する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。	復習：韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する。 予習：ハングルの複合母音とパッチムについて調べる。
3 回目	ハングルの複合母音とパッチム	ハングルの複合母音とパッチムについて学習する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。	復習：ハングルの基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する。 予習：ハングルの発音の変化について調べる
4 回目	発音の変化	ハングルの文字が連なる時の発音の規則を学ぶ。	復習：ハングルの複合母音、とパッチムについてもう一度確認する。 予習：ハングルで書いている単語や短い文の正しい読み方を調べる。
5 回目	ハングルまとめ	ハングルの組み合わせ（練習）	復習：ハングル文章を書く方法についてもう一度確認する 予習：韓国語基礎文法・会話 1 の単語について調べる
6 回目	韓国語基礎文法・実戦会話 1	助詞：는/은 名詞+입니다/입니까? 名詞+예요/이에요	復習：韓国語基礎文法・会話 1 の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話 2 の単語について調べる
7 回目	韓国語基礎文法・実戦会話 2	まとめ（単語・文法練習）	復習：韓国語基礎文法・会話 2 の単語について単語テストで確認する

			予習：韓国語基礎文法・会話3の単語について調べる
8回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話3	名詞+가/이 名詞+가/이 아니다 助詞：도	復習：韓国語基礎文法・会話3の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話4の単語について調べる
9回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話4	まとめ（単語・文法練習）	復習：韓国語基礎文法・会話4の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話5の単語について調べる
10回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話5	用言+습니다/습니다 助詞：에서, 를/을, 에, 로/으로	復習：韓国語基礎文法・会話5の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話6の単語について調べる
11回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話6	まとめ（単語・文法練習）	復習：韓国語基礎文法・会話6の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話7の単語について調べる
12回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話7	指示代名詞 이,그,저 漢数字일,이,삼 用言+아요/어요	復習：韓国語基礎文法・会話7の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話8の単語について調べる
13回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話8	まとめ（単語・文法練習）	復習：韓国語基礎文法・会話8の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話9の単語について調べる
14回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話9	用言+아요/어요 縮約形 固有数字 하나,둘,셋	復習：韓国語基礎文法・会話9の単語について単語テストで確認する 予習：韓国語基礎文法・会話10の単語について調べる

15 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 10 総まとめ	まとめ（単語・文法練習）	復習：韓国語基礎文法・会 話 10 の単語について単語 テストで確認する 予習：今まで勉強した内容 を整理し、テストを準備す る
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	教科書：「おはよう韓国語 1」 参考書：「グループで楽しく学ぼう！韓国語」
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト有り。 学生のレベルに合わせて学習を進む。学生は、率先して声を出してもらうなど、 積極的な参加を望む。学生自身が用意する準備物の徹底。 課題の提出期限厳守。

講義科目名称：韓国語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（1Q－2Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実践会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。 			
授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス	復習 なし

	ン	分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	予習 韓国語の文字、基本母音字、基本子音字について調べる
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字	韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。	復習 韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについて調べる
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のバッチム	韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。	復習 韓国語の基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する 予習 韓国語の発音の変化について調べる
4回目	韓国語の発音の変化	韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	復習 韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについてもう一度確認する 予習 韓国語で文章を書く方法について調べる
5回目	韓国語まとめ	ハングルの組み合わせ（練習）	復習 韓国語で文章を書く方法についてもう一度確認する 予習 韓国語基礎文法・会話1の単語について調べる
6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1	名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	復習 韓国語基礎文法・会話1の単語について単語テストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会話2の単語について調べる
7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2	まとめ（単語・文法練習）	復習 韓国語基礎文法・会話2の単語について単語テストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会話3の単語について調べる
8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3	名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	復習 韓国語基礎文法・会話3の単語について単語テストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会

			話 4 の単語について調べる
9 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 4	まとめ (単語・文法練習)	復習 韓国語基礎文法・会 話 4 の単語について単語テ ストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会 話 5 の単語について調べる
10 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 5	用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	復習 韓国語基礎文法・会 話 5 の単語について単語テ ストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会 話 6 の単語について調べる
11 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 6	まとめ (単語・文法練習)	復習 韓国語基礎文法・会 話 6 の単語について単語テ ストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会 話 7 の単語について調べる
12 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 7	이,그,저 일,이,삼 用言+아요/어요	復習 韓国語基礎文法・会 話 7 の単語について単語テ ストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会 話 8 の単語について調べる
13 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 8	まとめ (単語・文法練習)	復習 韓国語基礎文法・会 話 8 の単語について単語テ ストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会 話 9 の単語について調べる
14 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 9	用言+아요/어요の縮約形 하나,둘,셋	復習 韓国語基礎文法・会 話 9 の単語について単語テ ストで確認する 予習 韓国語基礎文法・会 話 10 の単語について調べ る
15 回目	韓国語基礎文法・ 実戦会話 10	まとめ (単語・文法練習)	復習 韓国語基礎文法・会 話 10 の単語について単語 テストで確認する 予習 今まで勉強した内容 を整理し、テストを準備す る

16回目	定期試験		
------	------	--	--

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「おはよう韓国語1」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称： 韓国語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（6	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	<p>大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。TOPIKⅡに合格するために、出題の種類およびその攻略法を把握するとともに、既出問題および予想問題を利用し、語彙と文法、文の理解と記述を中心とする内容をドリル式に学習していく。約1500-2000語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
主体的に学ぶ力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	・出席度	10%
専門的知識や技能	日常生活に必要な基礎的な言語(ハングル)を駆使でき、身近な話題の内容を理解、表現できる。公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。	・定期試験 ・小テスト (単語と文法など)	50% 20%
課題解決能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	・課題の提出	15%
心豊かな人間力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	・グループワーク ・授業への態度	5%
合計			100%
補足事項			

・本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 15%、課題の提出 10%、グループワーク 5%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進み方、クラス分け、 TOPIK の概要、問題の特徴 TOPIK の勉強方法について	毎回復習の小テスト有り 復習：なし 予習：なし
2 回目	TOPIKⅡ3 級問題分析 1	基本単語と文法の確認 1	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
3 回目		基本単語と文法の確認 2	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
4 回目		基本単語と文法の確認 3	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
5 回目	TOPIKⅡ3 級問題分析 2	基本単語と文法の確認 4	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
6 回目		基本単語と文法の確認 5	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
7 回目		基本単語と文法の確認 6	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
8 回目	中間まとめ	基本単語と文法の確認 1-6 まとめ	予習：なし 復習：語彙、文法、パターンを確かめる
9 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
10 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
11 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
12 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
13 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
14 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
15 回目	総まとめ	TOPIKⅡ パターン練習	予習：なし

		今まで学習した内容の整理	復習：今まで勉強した内容をもう一度確認する
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIK II 1冊でOK」日本語版 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I 初級 完全対策」
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テストがあります。 知らない語句に関しては前もって辞書で意味を調べておくことが重要です。 学生のレベルに合わせて学習を進めます。

講義科目名称：韓国語 I I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I I」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			

出席	受験要件
合計	100%
補足事項	
<p>・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。</p> <p>・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について	復習 なし 予習 TOPIKの問題類型と内容について調べる
2回目	TOPIK 4級問題分析1	TOPIK I Iの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
3回目	TOPIK 4級問題分析2	TOPIK I Iの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
4回目	TOPIK 4級問題分析3	TOPIK I Iの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
5回目	TOPIK 4級問題分析4	TOPIK I Iの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
6回目	TOPIK 4級問題	TOPIK I Iの4級問題の類型を分	復習 今回のTOPIKの

	題分析 5	析し、受験対策を行う	問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
7 回目	TOPIK 4 級問 題分析 6	TOPIK II の 4 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
8 回目	TOPIK 4 級問 題分析 7	TOPIK II の 4 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
9 回目	TOPIK 4 級問 題分析 8	TOPIK II の 4 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
10 回目	TOPIK 4 級問 題分析 9	TOPIK II の 4 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
11 回目	TOPIK 4 級問 題分析 10	TOPIK II の 4 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 TOPIK II リスニ ングの模擬テストを準備す る
12 回目	TOPIK II 模 擬テスト (リスニ ング)	TOPIK II の模擬テスト (リスニ ング) 実施、採点方法、採点後の整理方 法について	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する

			予習 TOPIKIIリスニングの模擬テストを準備する
13回目	TOPIKII模擬テスト(ライティング)	TOPIKIIの模擬テスト(ライティング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	復習 TOPIKIIリスニングの採点結果を分析する 予習 TOPIKIIライティングの模擬テストを準備する
14回目	TOPIKII模擬テスト(リーディング)	TOPIKIIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	復習 TOPIKIIライティングの採点結果を分析する 予習 今まで勉強した内容を整理する
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する 予習 なし
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII」1冊でOK日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目(研究室)
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称：韓国語会話	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（4Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	復習 なし 予習 次回の単語・表現を予習する。
2回目	こんにちは。お会いできてうれしいです。	-이에요/예요 -사람이에요? -도	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
3回目	弟/妹が二人います。	-이/가 있어요/없어요 -하고- -에 계세요/있어요 -은/는 없어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
4回目	寮はどこにありますか。	-이/가 어디예요? -은/는요? -은/는 -에 살아요 -이/가 어디에 있어요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
5回目	誕生日はいつですか。	-이/가 언제예요? -(에)시간 있어요? -이/가 무슨 요일이에요? -ㄹ/을까요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
6回目	趣味は何ですか。	-을/를 좋아해요 무슨 -을/를 좋아해요? -기예요 -마다 -을/를	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
7回目	スンドゥブとテンジャンチゲ下さい。	-(좀) 주세요 -하고 -주세요 -을/를 먹고 싶어요 -고 싶어요 -ㄴ/은 + 名詞	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
8回目	家で休みました。	-와/과 -에 갔어요 -에서 -(있/았/였)어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を

		-에 뭘 -았어요?	予習する。
9回目	デパート正面入口の前で3時に会いましょう。	-(으)세요? (같이) -르/을래요? 어디서 -르/을까요? -고	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
10回目	2号線から3号線に乗り換えなければいけません。	-(어/아/여)야 해요 -(어/아/여)서 -(으)면 돼요 -은/는 어떻게 가요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
11回目	少し大きいのを下さい。	이 -얼마예요? -어/아/여 보세요 -ㄴ/은/는 + 名詞 -(으)로 주세요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
12回目	ヨンヒさんいらっしゃいますか。	저, -계세요/있어요? -계세요/있어요? 저 -인데요 -때문에	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
13回目	濟州島に行ったことがありますか。	-어/아/여 봤어요? -(으)려고 해요 -(어/아/여)도 돼요? -르/을 거예요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 今までの内容をまとめた会話を準備する。
14回目	韓国語実戦会話	今まで勉強した文型を活用して、会話文作成と練習を行う。	復習 作った会話の内容をもう一度確認する。 予習 今まで勉強した内容を整理する。
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する。 予習 テストを準備する
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「楽しく学ぶ韓国語1」日本語版
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（1Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	復習 なし 予習 TOPIKの問題類型と内容について調べる
2回目	TOPIK1級問題分析1	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
3回目	TOPIK1級問題分析2	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
4回目	TOPIK1級問題分析3	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
5回目	TOPIK1級問題分析4	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
6回目	TOPIK1級問題分析5	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調

			べる
7回目	TOPIK 1級問題分析6	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
8回目	TOPIK 1級問題分析7	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
9回目	TOPIK 1級問題分析8	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
10回目	TOPIK 1級問題分析9	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
11回目	TOPIK 1級問題分析10	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
12回目	TOPIK 1級問題分析最後	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 TOPIKIリスニングの模擬テストを準備する
13回目	TOPIKI 模擬	TOPIKIの模擬テスト（リスニン	復習 TOPIKIリスニ

	テスト（リスニング）	グ）実施、採点方法、採点後の整理方法について	ングの採点結果を分析する 予習 TOPIKIリーディングの模擬テストを準備する
14回目	TOPIKI 模擬テスト（リーディング）	TOPIKIの模擬テスト（リーディング）実施、採点方法、採点後の整理方法について	復習 TOPIKIリーディングの採点結果を分析する 予習 今まで勉強した内容を整理する
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する 予習 なし
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKI 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称： 韓国語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 (2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	<p>大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。TOPIK Iに合格するために、出題の種類およびその攻略法を把握するとともに、既出問題および予想問題を利用し、語彙と文法、文の理解と記述を中心にする内容をドリル式に学習していく。約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
主体的に学ぶ力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	・出席度	10%
専門的知識や技能	日常生活に必要な基礎的な言語(ハングル)を駆使でき、身近な話題の内容を理解、表現できる。公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。	・定期試験 ・小テスト (単語と文法など)	60% 15%
課題解決能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	・課題の提出	10%
心豊かな人間力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	・グループワーク ・授業への態度	5%
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 15%、課題の提出 10%、グループワーク 5%の割合で評価する。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、クラス分け、 TOPIK I の概要、問題の特徴 TOPIK I の勉強方法について	毎回復習の小テスト有り 復習：なし 予習：なし
2回目	TOPIK1 級問題分析 4	基本単語と文法の確認 1	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
3回目		基本単語と文法の確認 2	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
4回目	TOPIK1 級 模擬試験	TOPIK I パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
5回目	TOPIK1 級 模擬試験	TOPIK I パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
6回目	TOPIK1 級問題分析 5	基本単語と文法の確認 3	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
7回目		基本単語と文法の確認 4	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
8回目	中間まとめ	基本単語と文法の確認 5 基本単語と文法の確認 1-5 まとめ	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
9回目	TOPIK1 級問題分析 6	基本単語と文法の確認 6	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
10回目		基本単語と文法の確認 7	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
11回目	TOPIK1 級 模擬試験	TOPIK I パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
12回目	TOPIK1 級 模擬試験	TOPIK I パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
13回目	TOPIK1 級 模擬試験	TOPIK I パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
14回目	TOPIK1 級 模擬試験	TOPIK I パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
15回目	総まとめ	TOPIK I パターン練習 今まで学習した内容の整理	予習：なし 復習：今まで勉強した内容をもう一度確認する
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIK I 1冊でOK」日本語版 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I 初級 完全対策」
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テストがあります。 知らない語句に関しては前もって辞書で意味を調べておくことが重要です。 学生のレベルに合わせて学習を進めます。

講義科目名称：韓国語検定 I I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（2Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	復習 なし 予習 TOPIKの問題類型と内容について調べる
2回目	TOPIK 2級問題分析1	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
3回目	TOPIK 2級問題分析2	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
4回目	TOPIK 2級問題分析3	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
5回目	TOPIK 2級問題分析4	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
6回目	TOPIK 2級問題分析5	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についても一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調

			べる
7回目	TOPIK 2級問題分析6	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
8回目	TOPIK 2級問題分析7	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
9回目	TOPIK 2級問題分析8	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
10回目	TOPIK 2級問題分析9	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
11回目	TOPIK 2級問題分析10	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
12回目	TOPIK 2級問題分析最後	TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 TOPIKIリスニングの模擬テストを準備する
13回目	TOPIKI 模擬	TOPIKIの模擬テスト（リスニン	復習 TOPIKIリスニ

	テスト（リスニング）	グ）実施、採点方法、採点後の整理方法について	ングの採点結果を分析する 予習 TOPIK1 級リーディングの模擬テストを準備する
14 回目	TOPIKI 模擬テスト（リーディング）	TOPIKI の模擬テスト（リーディング）実施、採点方法、採点後の整理方法について	復習 TOPIKI リーディングの採点結果を分析する 予習 今まで勉強した内容を整理する
15 回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する 予習 なし
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKI 1 冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の 1 コマ目、火曜日の 2 コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称： 韓国語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 (5Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
金キャロライン美熙				

授業概要	<p>大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）を通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。TOPIK IIに合格するために、出題の種類およびその攻略法を把握するとともに、既出問題および予想問題を利用し、語彙と文法、文の理解と記述を中心とする内容をドリル式に学習していく。約 1500-2000 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本授業は「TOPIK I & II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
主体的に学ぶ力	積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	・出席度	10%
専門的知識や技能	日常生活に必要な基礎的な言語(ハングル)を駆使でき、身近な話題の内容を理解、表現できる。公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。	・定期試験 ・小テスト (単語と文法など)	60% 15%
課題解決能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習が大事である。	・課題の提出	10%
心豊かな人間力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	・グループワーク ・授業への態度	5%
合計			100%
補足事項			

・本授業では、出席度 10%、定期試験 60%、小テスト 15%、課題の提出 10%、グループワーク 5%の割合で評価する。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進み方、クラス分け、 TOPIK の概要、問題の特徴 TOPIK の勉強方法について	毎回復習の小テスト有り 復習：なし 予習：なし
2 回目	TOPIKⅡ級問題分析 1	基本単語と文法の確認 1	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
3 回目		基本単語と文法の確認 2	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
4 回目		基本単語と文法の確認 3	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
5 回目	TOPIKⅡ級問題分析 2	基本単語と文法の確認 4	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
6 回目		基本単語と文法の確認 5	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
7 回目		基本単語と文法の確認 6	予習：今日の語彙・文法 復習：パターン・問題分析
8 回目	中間まとめ	基本単語と文法の確認 1-6 まとめ	予習：なし 復習：語彙、文法、パターンを確かめる
9 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
10 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
11 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
12 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
13 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
14 回目	TOPIKⅡ 模擬試験	TOPIKⅡ パターン練習	予習：課題 復習：誤答確認・理解する
15 回目	総まとめ	TOPIKⅡ パターン練習	予習：なし

		今まで学習した内容の整理	復習：今まで勉強した内容をもう一度確認する
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIK II 1冊でOK」日本語版 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I 初級 完全対策」
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テストがあります。 知らない語句に関しては前もって辞書で意味を調べておくことが重要です。 学生のレベルに合わせて学習を進めます。

講義科目名称：韓国語検定 I I I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I I」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加・態度 	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			

出席	受験要件
合計	100%
補足事項	
<p>・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。</p> <p>・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。</p>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について	復習 なし 予習 TOPIKの問題類型と内容について調べる
2回目	TOPIK 3級問題分析1	TOPIK I Iの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
3回目	TOPIK 3級問題分析2	TOPIK I Iの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
4回目	TOPIK 3級問題分析3	TOPIK I Iの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
5回目	TOPIK 3級問題分析4	TOPIK I Iの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	復習 今回のTOPIKの問題類型と内容についてもう一度確認する 予習 次回のTOPIKの問題類型と内容について調べる
6回目	TOPIK 3級問題	TOPIK I Iの3級問題の類型を分	復習 今回のTOPIKの

	題分析 5	析し、受験対策を行う	問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
7 回目	TOPIK 3 級問 題分析 6	TOPIK I I の 3 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
8 回目	TOPIK 3 級問 題分析 7	TOPIK I I の 3 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
9 回目	TOPIK 3 級問 題分析 8	TOPIK I I の 3 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
10 回目	TOPIK 3 級問 題分析 9	TOPIK I I の 3 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 次回の TOPIK の 問題類型と内容について調 べる
11 回目	TOPIK 3 級問 題分析 10	TOPIK I I の 3 級問題の類型を分 析し、受験対策を行う	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する 予習 TOPIK I リスニ ングの模擬テストを準備す る
12 回目	TOPIK I I 模 擬テスト (リスニ ング)	TOPIK I I の模擬テスト (リスニ ング) 実施、採点方法、採点後の整理方 法について	復習 今回の TOPIK の 問題類型と内容についても う一度確認する

			予習 TOPIKIIリスニングの模擬テストを準備する
13回目	TOPIKII模擬テスト(ライティング)	TOPIKIIの模擬テスト(ライティング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	復習 TOPIKIIリスニングの採点結果を分析する 予習 TOPIKIIライティングの模擬テストを準備する
14回目	TOPIKII模擬テスト(リーディング)	TOPIKIIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	復習 TOPIKIIライティングの採点結果を分析する 予習 今まで勉強した内容を整理する
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する 予習 なし
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目(研究室)
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称：韓国語ライティング&文法Ⅰ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（4Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、基本になる文型と単語を学習し、その文法を使った韓国語文章を正書法とともに繰り返して書く練習を行う。また、学習した文法を読解で応用し、文章を作る原理と活用方法を理解する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	復習 なし 予習 次回の単語・表現を予習する。
2回目	こんにちは。お会いできてうれしいです。	-이에요/예요 -사람이에요? -도	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
3回目	弟/妹が二人います。	-이/가 있어요/없어요 -하고- -에 계세요/있어요 -은/는 없어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
4回目	寮はどこにありますか。	-이/가 어디예요? -은/는요? -은/는 -에 살아요 -이/가 어디에 있어요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
5回目	誕生日はいつですか。	-이/가 언제예요? -(에)시간 있어요? -이/가 무슨 요일이에요? -ㄹ/을까요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
6回目	趣味は何ですか。	-을/를 좋아해요 무슨 -을/를 좋아해요? -기예요 -마다 -을/를	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
7回目	スンドゥブとテンジャンチゲ下さい。	-(좀) 주세요 -하고 -주세요 -을/를 먹고 싶어요 -고 싶어요 -ㄴ/은 + 名詞	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
8回目	家で休みました。	-와/과 -에 갔어요 -에서 -(있/았/였)어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を

		-에 뭘 -았어요?	予習する。
9回目	デパート正面入口の前で3時に会いましょう。	-(으)세요? (같이) -ㄴ/을래요? 어디서 -ㄴ/을까요? -고	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
10回目	2号線から3号線に乗り換えなければいけません。	-(어/아/여)야 해요 -(어/아/여)서 -(으)면 돼요 -은/는 어떻게 가요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
11回目	少し大きいのを下さい。	이 -얼마예요? -어/아/여 보세요 -ㄴ/은/는 + 名詞 -(으)로 주세요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
12回目	ヨンヒさんいらっしゃいますか。	저, -계세요/있어요? -계세요/있어요? 저 -인데요 -때문에	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
13回目	濟州島に行ったことがありますか。	-어/아/여 봤어요? -(으)려고 해요 -(어/아/여)도 돼요? -ㄴ/을 거예요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 今までの内容をまとめた作文を準備する。
14回目	韓国語実戦作文	今まで勉強した文型を活用して、作文練習を行う。	復習 作文の内容をもう一度確認する。 予習 今まで勉強した内容を整理する。
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する。 予習 テストを準備する
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「楽しく学ぶ韓国語1」日本語版
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語ライティング&文法II	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、主に文法を中心として学習し、学習した文法を使って文章を作る。同じ単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・社会や時代の流れに問題意識を持ち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・外国語で、幅広い話題についての明確で詳細な文章を、比較的高度な語彙を活用して書くことができる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める。	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査など	復習 なし 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
2回目	200字ー300字 作文1	説明文の展開方法について 「定義」「比較」「分析」「分類」	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
3回目	200字ー300字 作文2	文の構成について 「導入ー展開ーまとめ」	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
4回目	200字ー300字 作文3	客観的な作文と「書き言葉」について	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
5回目	200字ー300字 作文4	語彙と文法の中級表現と作文の注意事項について	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
6回目	200字ー300字 作文5	文の種類による表現について	復習 今回の作文を再検討 予習 今まで勉強した内容をもとに実戦作文を準備する
7回目	200字ー300 字作文テスト	TOPIK IIのライティング既出問題を通じて作文テスト	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
8回目	600字ー700 字作文1	テーマに合わせて論理的に書く1 テーマと課題の把握について	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
9回目	600字ー700 字作文2	テーマに合わせて論理的に書く2 「序論」「本論」「結論」構成について	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
10回目	600字ー700	語彙と文法の高級表現と作文の注意事	復習 今回の作文を再検討

	字作文3	項について	予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
11回目	600字ー700字作文4	重要文法と表現1	復習 今回の作文を再検討 予習 次回作文テーマを確認して、関連単語と表現学習
12回目	600字ー700字作文5	重要文法と表現2	復習 今回の作文を再検討 予習 今まで勉強した内容をもとに実戦作文を準備する
13回目	600字ー700字作文テスト	TOPIK IIのライティング既出問題を通じて作文テスト	復習 今回の作文を再検討 予習 作文の添削方法について調べておく
14回目	作文添削・討論	作文の採点基準と添削方法について	復習 作文の添削方法についてもう一度確認する 予習 今まで勉強した内容を整理する
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する 予習 なし

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各授業で提示する。 参考書：「TOPIK II」1冊でOK日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日4コマ目、5コマ目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称：韓国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q-6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
権容善				

授業概要	<p>本科目は、韓国人の言語生活の中で最も頻度が高い文型を使って会話能力を高め、様々な場面での日常会話を習得する。また、韓国の文化について理解することを授業の目標とする。さらに、多様な演習の機会を設けることで韓国語の正確性と流暢性を高めると共に短期間で韓国語の能力を向上させる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	20%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、仕事、学校、娯楽などたいていな事態に対処することができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上覚えることができる。	・定期試験 ・小テスト	50% 20%
コミュニケーション能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	10%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<p>・定期試験（50％）では、確かな専門的知識や技能を確認する。また、グループワーク（10％）では、コミュニケーション能力と多様性について理解しているかを確認する。小テスト（20％）は、2回の筆記式で評価を行う。授業態度（10％）は、授業の積極性および出席状況などで確認する。課題レポートは、韓国の文化について調べて、発表することで評価をするが、具体的な課題については、授業中</p>	

に説明を行う。課題レポートについては、必要に応じて、授業内でコメントを行う。

・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY を利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション 韓国に来て6か月になります。	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 전-(이)라고해요 -ㄴ/은지-됐어요 -어/아/여서요 -어/아/여서-어/아/여요	復習なし 予習次回の単語・表現を予習する。
2回目	お召し上がりですか	-(으)실거예요 -ㄴ/을거예요? -어/아/여드릴까요? -어/아/여주세요	復習予習した単語をテストで確認する。 予習次回の単語・表現を予習する。
3回目	交通カードはどこでチャージするんですか。	은/는어디서-어/아/여요? -(이)나 -ㄴ/을게요 -어치만-어/아/여주세요	復習予習した単語をテストで確認する。 予習次回の単語・表現を予習する。
4回目	このカバンを返品できますか。	-ㄴ/을수있어요? -ㅂ/습니까? -(으)니까 -(으)면 좋겠어요	復習予習した単語をテストで確認する。 予習次回の単語・表現を予習する。
5回目	小テストおよび韓国の文化1	小テストおよび韓国の文化を楽しもう！	
6回目	禁煙席と喫煙席、どちらになさいますか。	-(으)셨습니까? -(이)세요? 못-어/아/여요 -ㄴ/을까요?-ㄴ/을까요?	復習予習した単語をテストで確認する。 予習次回の単語・表現を予習する。
7回目	風邪をひいたみたいですね。	-인/ㄴ/은것같아요 -는게 좋겠어요 -ㄴ/을수있어요? -ㅂ/읍시다	復習予習した単語をテストで確認する。 予習次回の単語・表現を予習する。
8回目	十万ウォンから二十万ウォンぐらいならいいです。	-고싶은데요 -에서-사이면 좋겠어요 -(이)라(서) -나요?	復習予習した単語をテストで確認する。 予習次回の単語・表現を予習する。
9回目	デパートのセールが始まるんです	안- -는/ㄴ/은데-ㄴ/을까요?	復習予習した単語をテストで確認する。

	が、買い物に行き ましようか。	-(으)러-갈까요? -르/을+ 名詞	予習次回の単語・表現を予 習する。
10 回目	小テストおよび 韓国の文化 1	小テストおよび韓国の文化を楽しも う!	復習予習した単語をテスト で確認する。 予習次回の単語・表現を予 習する。
11 回目	あそこの横断歩道 で停めてくださ い。	-(으)로 -요 -인/ㄴ/은가요? -(으)니까-르/을 겁니다.	復習予習した単語をテスト で確認する。 予習次回の単語・表現を予 習する。
12 回目	3泊4日の旅行に行 きたいんですが。	-(으)려고하는데요 -은/는어떠세요? -에갔다왔어요 -지요?	復習予習した単語をテスト で確認する。 予習次回の単語・表現を予 習する。
13 回目	ここが清溪川とい うところですか。	-(이)라는 -어/아/여졌어요 -게되었어요 -인데	復習予習した単語をテスト で確認する。 予習次回の単語・表現を予 習する。
14 回目	席は窓側でお願い します。	-으로주시겠어요? -요(축약형) -밖에 -에다(가)	復習予習した単語をテスト で確認する。 予習次回の単語・表現を予 習する。
15 回目	まとめ	今までの内容を復習しながら、テスト の準備	復習予習した単語をテスト で確認する。 予習次回の単語・表現を予 習する。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	教科書: 「楽しく学ぶ韓国語 2」 日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト (単語) があります。

講義科目名称：韓国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q－6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、実際の韓国人の言語生活の中で最も頻度が高い文型を使って会話能力を高め、様々な場面での日常会話を習得する。また多様な演習の機会を設けることで韓国語の正確性と流暢性を高めると共に短期間で韓国語の能力を向上させる。。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、仕事、学校、娯楽などたいていな事態に対処することができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。</p> <p>・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	復習 なし 予習 次回の単語・表現を予習する。
2回目	韓国に来て6か月になります。	전 -(이)라고 해요 -ㄴ/은 지 -됐어요 -어/아/여서요 -어/아/여서 -어/아/여요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
3回目	お召し上がりですか	-(으)실 거예요 -ㄴ/을 거예요? -어/아/여 드릴까요? -어/아/여 주세요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
4回目	交通カードはどこでチャージするんですか。	-은/는 어디서 -어/아/여요? -(이)나 -ㄴ/을게요 -어치만 -어/아/여 주세요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
5回目	このカバンを返品できますか。	-ㄴ/을 수 있어요? -ㄴ/습니까? -(으)니까 -(으)면 좋겠어요	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
6回目	禁煙席と喫煙席、どちらになさいますか。	-(으)셨습니까? -(이)세요? 못 -어/아/여요 -ㄴ/을까요? -ㄴ/을까요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
7回目	風邪をひいたみたいですね。	-인/ㄴ/은 것 같아요 -는 게 좋겠어요 -ㄴ/을 수 있어요? -ㄴ/읍시다	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
8回目	十万ウォンから二十万ウォンぐらいならいいです。	-고 싶은데요 -에서 -사이면 좋겠어요 -(이)라(서) -나요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
9回目	デパートのセールが始まるんですが、買い物に行きましようか。	안 - -는/ㄴ/은데 -ㄴ/을까요? -(으)러 -갈까요? -ㄴ/을 + 名詞	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
10回目	あそこの横断歩道で停めてくださ	-(으)로 -요	復習 予習した単語をテストで確認する。

	い。	-인/ㄴ/은가요? -(으)니까 -르/을 겁니다	予習 次回の単語・表現を予習する。
11回目	3泊4日の旅行に行きたいんですが。	-(으)려고 하는데요 -은/는 어떠세요? -에 갔다 왔어요 -지요?	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
12回目	ここが清溪川というところですか。	-(이)라는 -어/아/여졌어요 -게 되었어요 -인데	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 次回の単語・表現を予習する。
13回目	席は窓側でお願いします。	-으로 주시겠어요? -요(축약형) -밖에 -에다(가)	復習 予習した単語をテストで確認する。 予習 今までの内容をまとめた作文を準備する。
14回目	韓国語実戦会話	今まで勉強した文型を活用して、会話文作成と作文練習を行う。	復習 作文の内容をもう一度確認する。 予習 今まで勉強した内容を整理する。
15回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	復習 今まで勉強した内容をもう一度確認する。 予習 テストを準備する
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「楽しく学ぶ韓国語2」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室）
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語演習ⅠⅠ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q－8Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、今まで学習してきた理論的な知識を韓国の文化・社会・スポーツ・経済・教育など様々な分野についての文章を読んで、その内容について話し合うことで、韓国語の表現力・会話力を高める。また様々な韓国の文化を体験することでより韓国に関する興味と知識を深める。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や時代の流れに問題意識をもち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加・態度 	5%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、具体的・もしくは抽象的な話題についてのある程度複雑な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、幅広い話題について明確で詳細に情報を伝えることができる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 	60%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLYを利用することもできる。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進み方、アンケート調査など	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
2回目	コーヒー共和国	「文化」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
3回目	B T S 効果と K - P O P 留学	「文化」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
4回目	渋野が笑った	「スポーツ」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
5回目	小学生から化粧？	「経済・社会」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
6回目	1歳のお祝いは家族水入らずで・・・	「社会・文化」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
7回目	韓国人が行きたい国？	「文化・観光」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
8回目	さすがツンデレ？	「韓国・日本」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
9回目	大卒者就職率が66%・・・	「経済・教育」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習とし

		く問題を解いて、内容について討論する。	て、次回扱う内容を前もって把握しておく。
10 回目	5 歳の子供が 9 5 億ウォンビル？	「経済」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
11 回目	入試には、お父さんの無関心？	「教育」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
12 回目	20 年間、兵役？	「社会」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
13 回目	アパートで老後対策？	「経済」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
14 回目	韓国文化体験	韓国伝統文化体験 トゥホ（投壺） ペンイ（伝統コマ） チャンギ(将棋) チェギ（蹴鞠） など	韓国の伝統文化、料理、映画、ドラマなど様々な韓国文化を体験して、それについて語り合う。
15 回目	総まとめ	今まで学習した内容の整理	今まで勉強した内容に新たな情報を追加する。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：今知りたい、韓国を読む（朝日出版社）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日 4 コマ目、5 コマ目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称:基礎日本語 I	授業コード:910820
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
I Q2Q	1年	2	選択	講義
担当教員				
中里 亜希子				

授業概要	本授業は、日本語学習を続けるうえで大切な文法の理解と運用能力向上を目標としている。学生は、テキストを中心に学び、グループワークなどを通して実際に使用することで、話す練習も実施する。繰り返しの練習と自学自習により、自信をもって日本語を話す姿勢を身に着ける。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者へ親和的に関わる必要性を意識できる。	グループワーク	10%
専門的知識や技能	日本語で、日常的表現と基本的な言い回しを理解でき、用いることができる。	定期試験 小テスト・まとめテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自分から学びたいという気持ちを持ち、目標に向かって自ら問題を見つけたり、解決方法を検討、計画、解決方法を考えたりすることができる。	グループワーク	10%
キャリアデザイン力	・自らの学習が、各自のキャリアデザイン上でどのように生かせるのかを理解することができる。	発表	10%
合計			100%
補足事項			
・本授業は、定期試験 50%、小テスト 20%、グループワーク 20%、発表 10%で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	自己紹介、目標の共有、授業の進め方、評価方法の説明、	1課予習
2回目	1課	文法・文型の理解	1課復習
3回目	1課	文法・文型の練習・漢字	1課復習・2課予習
4回目	2課	文法・文型の理解	2課復習
5回目	2課	文法・文型の練習・漢字	2課復習・3課予習

6回目	3課	文法・文型の理解	3課復習
7回目	3課	文法・文型の練習・漢字	3課復習・4課予習
8回目	まとめテスト		1～3課復習・4課予習
9回目	4課	文法・文型の理解	4課復習
10回目	4課	文法・文型の練習・漢字	4課復習・5課予習
11回目	5課	文法・文型の理解	5課復習
12回目	5課	文法・文型の練習・漢字	5課復習・6課予習
13回目	6課	文法・文型の理解	6課復習
14回目	6課	文法・文型の練習・漢字	6課復習
15回目	まとめテスト		4～6課復習
16回目	定期試験	1～6課:筆記試験	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『できる日本語(黄色)』文法ノート、漢字たまご
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	予習・復習をしっかりと実施し、毎回の小テストの準備をすること。

講義科目名称：基礎日本語 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期				
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	基本的な日本語の四技能を向上させ、より円滑な実践へと運用能力を高める。
------	-------------------------------------

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で、基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自分から主体的に物事に取り組んだり、他者と関わろうとすることができる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分の行動特徴について理解できる。	作文	5%
合計			100%

補足事項	
授業変更などの連絡については、メールを使用する。	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業に関するオリエンテーション	次回の語句の予習
2回目	第1課 1章 私の名前・国・仕事	自分の名前・国・仕事	語句の確認と次回の予習
3回目	第1課 2・3章 私の誕生日・趣味	誕生日と趣味	語句の確認と次回の予習
4回目	第2課 1・2章 どこ・いくらですか？	買いたいものの場所と値段を聞く	語句の確認と次回の予習
5回目	第2課 3章 レストラン	レストランでの注文	語句の確認と次回の予習
6回目	第3課 1・2章 何時までですか？	公共施設についての問い合わせ、学校や自分の予定	語句の確認と次回の予習
7回目	第3課 3章 どんな毎日	日常生活についてのやり取り	語句の確認と次回の予習
8回目	第4課 1・2章 どこ・どんなところ	自分の国の位置や日本までの時間	語句の確認と次回の予習
9回目	第4課 3章 季節・料理	自分の国の気候や料理	語句の確認と次回の予習
10回目	第5課 休みの日	休みの日したことやその感想	語句の確認と次回の予習
11回目	第6課 1・2章 一緒に行きませんか	友達を誘って相談する	語句の確認と次回の予習
12回目	第6課 3章 約束	会う場所や時間の約束	語句の確認と次回の予習
13回目	第7課 友達の家で	道を尋ねる、パーティーの準備	語句の確認と次回の予習
14回目	第8課 大切な人	家族や友達について	語句の確認と次回の予習
15回目	まとめ・復習	1～8課について、復習・まとめ	定期試験対策
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	文法ノート、漢字たまご、できる日本語（初級）
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	木曜日 2限目（教室）
備考・メッセージ	携帯電話使用は語句確認のみとする

講義科目名称：日本語会話 I 【Aクラス（上）】	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q & 2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
福元 美和子				

授業概要	「日本語能力試験 N2～N1」の合格力を目指して、「文字・語彙・読解・文法」等の総合的な日本語力を、短期間で集中して高めていくことを主眼とする。主体的な学習態度、活発な質疑大歓迎。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	本授業を通して、会話力を磨き、より日本社会に適応する力をつける。	・授業内や課題、連絡等に対する姿勢（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
確かな専門的知識や技能	授業のテーマに沿った課題を理解し、学習項目を確実に身に付け、自らアウトプットできる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 10%
異文化知識・対応能力	授業は、ほぼ会話のペアワーク、グループワークで行う。自分のペアやグループと協力し、確実にタスクを遂行する力。	・授業内（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
課題解決能力	学んだ文法等を、理解し、定着させ応用できる力。	・授業内の課題や、宿題（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
キャリアデザイン力	本授業が日本語力向上のために必要であることを理解し、積極的な学習ができる。	・授業への参加・態度（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
合計			100%
補足事項			

本授業では、定期試験 50%のほか、上記に挙げた項目をルーブリック式で評価を行う。ルーブリック評価の内容は、初回の授業で開示、説明を行う。

授業を欠席等の場合には、授業のフォローや次回までの課題等を伝えるため、メールまたは Melly で必ず連絡すること。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進め方、心構え、評価の方法について説明する。 授業の進め方に関しては、実際にテキストを用いながら流れと、毎回出す宿題箇所を確認する。 また、学力を確認するため、簡単な会話のテストを行う。	予習：事前にシラバスを読んでおく。 復習：授業で告知した課題
2 回目 (以降 2 コマで 1 セット)	①電話で印象良く問い合わせることができる。 ②初めて会った人に丁寧に自己紹介ができる。相手に質問できる。	①「できる日本語」初中級 pp16-21 ②「できる日本語」初中級 pp22-26	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
3 回目	お店の人と自然に話しながら買い物ができる。	「できる日本語」初中級 pp30-pp33 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
4 回目	お店やレストランで友達と商品やメニューについて話すことができる。	「できる日本語」初中級 pp34-40 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
5 回目	自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から聞いたりすることができる。 - (1)	「できる日本語」初中級 pp44-pp47 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
6 回目	自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から聞いたり	「できる日本語」初中級 pp48-52 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）

	<p>することができる。 - (2)</p>		
7回目	<p>日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教えあって、その情報をもとに行動することができる。-(1)</p>	<p>「できる日本語」初中級 pp56-59 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認</p>	<p>予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）</p>
8回目	<p>日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教えあって、その情報をもとに行動することができる。-(1)</p>	<p>「できる日本語」初中級 pp60-64 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認</p>	<p>予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）</p>
9回目	<p>突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して、対処することができる。</p>	<p>「できる日本語」初中級 pp68-pp76 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認</p>	<p>予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）</p>
10回目	<p>旅行などを計画する際に事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる- (1)</p>	<p>「できる日本語」初中級 pp80-83 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認</p>	<p>予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）</p>
11回目	<p>旅行などを計画する際に事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる- (2)</p>	<p>「できる日本語」初中級 pp84-88 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認</p>	<p>予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）</p>
12回目	<p>日本人の家へ行ったとき、場面と関係性を考えながら、その家の人との交流を楽しむことができる。</p>	<p>「できる日本語」初中級 pp92-101 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認</p>	<p>予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）</p>

13回目	これまでの経験の中でしてもらってうれしかったことについて、感謝の気持ちを適切な表現でできる。-(1)	「できる日本語」初中級 pp104-109 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
14回目	これまでの経験の中でしてもらってうれしかったことについて、感謝の気持ちを適切な表現でできる。-(2)	「できる日本語」初中級 pp110-116 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
15回目	まとめ	総復習及び、前回の確認ミニテスト	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：授業で確認した点を重点的に総復習し、試験に備える。
16回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『できる日本語』初中級 アルク 『できる日本語 わたしの文法ノート』初中級 アルク その他、適宜、資料配布
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提として授業を進めるので、事前にしっかり準備してくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	自分の日本語力を客観的に見て、日本語力を磨く姿勢で授業に臨んで欲しい。受け身の姿勢では、語学力は伸びにくいことを自覚し、丁寧に確実に、そして楽しく学んでいきましょう。 ※本授業に関する連絡（休講や補講など）は学科の掲示板で行います。

講義科目名称：日本語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q1-2	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	基本的な日本語での対話力に重きを置き、文字・語彙・文法能力を高めることを主眼とし、コミュニケーション能力を養う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で、基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自分から主体的に物事に取り組んだり、他者と関わろうとすることができる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分の行動特徴について理解できる。	作文	5%
合計			100%

補足事項	
授業変更などの連絡については、メールを使用する。	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	オリエンテーション	授業に関するオリエンテーション 初級段階の日本語の習得度を確認する	次回の語句の予習
2回目	第1課 1章 アルバイトを探す	アルバイトに関する問い合わせや面接	語句の確認と次回の予習
3回目	第1課 2章 新しい友達	初対面の人とのやり取り	語句の確認と次回の予習
4回目	第2課 1章 上手に買い物	買い物先でのやり取り	語句の確認と次回の予習
5回目	第2課 2章 一緒に食事	外食でのやり取り	語句の確認と次回の予習
6回目	第3課 1章 これからの計画	来日の目的や今度の目標	語句の確認と次回の予習
7回目	第3課 2章 夢に向かって	自分の将来について	語句の確認と次回の予習
8回目	第1～3課 復習まとめ	第1課～第3課の語句・文型の復習	語句の確認と次回の予習
9回目	第4課 1章 生活を楽しむ	居住地の施設や店について	語句の確認と次回の予習
10回目	第4課 2章 行き方を教える	道案内	語句の確認と次回の予習
11回目	第5課 1章 困ったな	困った状況での説明など	語句の確認と次回の予習
12回目	第5課 2章 駅で	駅や道で困った状況の説明など	語句の確認と次回の予習
13回目	第6課 1章 旅行の計画	行きたい場所や理由・提案など	語句の確認と次回の予習
14回目	第6課 2章 旅行の準備	旅行前の段取りなど	語句の確認と次回の予習
15回目	第4～6課 復習まとめ	第4課～第6課の語彙・文型の確認	定期試験対策
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	できる日本語（初中級）、文法ノート
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認のみとする

講義科目名称：日本語会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q3-4				
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	既習の基本的表現に加え、日常生活の様々な場面で必要となる対話力向上を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わることができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で自身の必要な感情を表すために、基礎的な語彙を用いて日常の事柄について情報を伝え、相手の情報についても理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようとする試みができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことが多少でき、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や、行動を適切に律し、ポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	5%
合計			100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、メールを使用する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業に関するオリエンテーション	次回の語句の予習
2回目	第7課 1章 初めての訪問	初対面の人と丁寧な日本語で話す	語句の確認と次回の予習
3回目	第7課 2章 一緒に作りましょう	知っている料理の作り方の説明	語句の確認と次回の予習
4回目	第8課 1章 嬉しい出来事	親切にされた経験を話す 手助けの申し出をする	語句の確認と次回の予習
5回目	第8課 2章 お世話になりました	お世話になったことやそれに対するお礼	語句の確認と次回の予習
6回目	第9課 1章 アルバイト先のルール	アルバイト先のルールに関するやり取り	語句の確認と次回の予習
7回目	第9課 2章 楽しいアルバイト	仕事中の声かけ	語句の確認と次回の予習
8回目	第10課 1章 ハプニング	旅行先での予期せぬ事態・状況の説明	語句の確認と次回の予習
9回目	第10課 2章 ガイドブックを片手に	現在の自分の状況の説明	語句の確認と次回の予習
10回目	第11課 1章 慣れてくると	自分の習慣の変化や困りごと	語句の確認と次回の予習
11回目	第11課 2章 スポーツチームに入って	人から聞いたことを伝えるなど	語句の確認と次回の予習
12回目	第12課 1章 体調不良	症状や原因・対処法	語句の確認と次回の予習
13回目	第12課 2章 毎日、元気に	健康維持のためにやっていること	語句の確認と次回の予習
14回目	第13課 1章 街で見かけた子ども達	子どもの頃の経験	語句の確認と次回の予習
15回目	第13課 2章 思い出すと	子どもの頃受けた教育の影響	定期試験対策
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	できる日本語（初中級）、文法ノート、言葉表現ワークブック
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	水・木曜日 1限目（教室）
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認のみとする

講義科目名称：日本語会話Ⅲ 【Aクラス（上）】	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q & 6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
福元 美和子				

授業概要	「日本語能力試験 N2～N1」の合格力を目指して、「文字・語彙・読解・文法」等の総合的な日本語力を、短期間で集中して高めていくことを主眼とする。主体的な学習態度、活発な質疑大歓迎。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	本授業を通して、会話力を磨き、より日本社会に適応する力をつける。	・授業内や課題、連絡等に対する姿勢（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
確かな専門的知識や技能	授業のテーマに沿った課題を理解し、学習項目を確実に身に付け、自らアウトプットできる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 10%
異文化知識・適応能力	授業は、ほぼ会話のペアワーク、グループワークで行う。その中で、異なる文化を持つ人を受け入れ、自分の持つ文化やルールや偏見に捉われず、自分と同じであることを求めず、新しい視点によってもたらされた複雑な視点を持つことができる。	・授業内（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
課題解決能力	学んだ文法等を、理解し、定着させ応用できる力。疑問やわからない点があった際に自分で解決方法を模索できる。	・授業内の課題や、宿題（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
キャリアデザイン力	本授業が日本語力向上のために必要であることを理解し、積極的な学習ができる。	・授業への参加・態度（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験 50%のほか、上記に挙げた項目をループリック式で評価を行う。ループリック評価の内容は、初回の授業で開示、説明を行う。

授業を欠席等の場合には、授業のフォローや次回までの課題等を伝えるため、メールまたは Melly で必ず連絡すること。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進め方、心構え、評価の方法について説明する。授業の進め方に関しては、実際にテキストを用いながら流れと、毎回出す宿題箇所を確認する。また、学力を確認するため、簡単な会話のテストを行う。	予習：事前にシラバスを読んでおく。 復習：授業の中で伝えた宿題箇所を確認する。
2 回目(以降、2コマで1セット)	テレビや街中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、それに関する自分の経験を離したりすることができる。	「できる日本語」 pp182-186 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
3 回目	周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる。 - (1)	「できる日本語」 pp190-193 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
4 回目	周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる。 - (2)	「できる日本語」 初中級 pp194-198 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内で該当箇所を告知する）
5 回目	日々の生活の中で気になるニュース	「できる日本語」 初中級 pp202-205 その他、前回の確認ミニテスト	予習：本授業で学習する課のことばを確認する。

	や事柄について、 自分なりに疑問を 持って調べ考えた ことを周りの人に 伝えて、やりとり をすることができる。 -(1)	前回の課題の確認	復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
6回目	日々の生活の中で 気になるニュース や事柄について、 自分なりに疑問を 持って調べ考えた ことを周りの人に 伝えて、やりとり をすることができる。 -(2)	「できる日本語」初中級 pp206-210 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
7回目	日々の生活の中で 気になるニュース や事柄について、 自分なりに疑問を 持って調べ考えた ことを周りの人に 伝えて、やりとり をすることができる。 -(3)	時事問題の生教材 前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
8回目	総まとめ	「できる日本語」初中級総復習 前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
9回目	中間テスト	「できる日本語」初中級まとめテスト	予習：テストの準備 復習：テストの復習
10回目	自己紹介をより洗 練された日本語表 現でできる。-(1)	「できる日本語」初中級 pp16-23 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
11回目	自己紹介をより洗 練された日本語表 現でできる。-(2)	「できる日本語」中級 pp16-23 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内

			で該当箇所を告知する)
12回目	日常のさまざまな 場面で、自分に必 要な情報を正しく 得ることができる。また、その情 報を活用して自分 の希望を伝えるこ とができる。- (1)	「できる日本語」中級 pp28-36 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
13回目	日常のさまざまな 場面で、自分に必 要な情報を正しく 得ることができる。また、その情 報を活用して自分 の希望を伝えるこ とができる。- (2)	「できる日本語」中級 pp28-36 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
14回目	日常のさまざまな 場面で、自分に必 要な情報を正しく 得ることができる。また、その情 報を活用して自分 の希望を伝えるこ とができる。- (3)	時事問題の生教材 その他、前回の確認ミニテスト 前回の課題の確認	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：文法ノート（授業内 で該当箇所を告知する）
15回目	まとめ	総復習及び、前回の確認ミニテスト	予習：本授業で学習する課 のことばを確認する。 復習：授業で確認した点を 重点的に総復習し、試験に 備える。
16回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	『できる日本語』初中級 アルク

	『できる日本語 わたしの文法ノート』初中級 アルク 『できる日本語』中級 アルク 『できる日本語 ことば・表現ワークブック』中級 アルク その他、適宜、資料配布
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提として授業を進めるので、事前にしっかり準備してくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	自分の日本語力を客観的に見て、日本語力を磨く姿勢で授業に臨んで欲しい。受け身の姿勢では、語学力は伸びにくいことを自覚し、丁寧に確実に、そして楽しく学んでいきましょう。 ※本授業に関する連絡（休講や補講など）は学科の掲示板で行います。

講義科目名称：日本語会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q5-6	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	既習の表現に加えて更に日常生活で必要となる場面での丁寧な表現、心情表現などの運用力の向上を目指す
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断し常に社会のルールや状況に適した行動ができ、他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的相違を認識し、行動に取り入れ、共通理解を得ようと努めることができる。その新しい視点に沿って複雑な視点を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって、自らやるべきことを見つけ積極的に取り込むことができ、周囲の人々に声をかけ動かすことができる程度できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することができる程度できる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件に付いて考え自分自身を十分プレゼンできる準備ができています。	作文	5%
合計			100%
補足事項			
授業変更などの連絡については、メールを使用する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業に関するオリエンテーション	次回の語句の予習
2回目	第9課 1章 アルバイト先のルール	アルバイト先のルールに関するやり取り	語句の確認と次回の予習
3回目	第9課 2章 楽しいアルバイト	仕事中の声掛け	語句の確認と次回の予習
4回目	第10課 1章 ハプニング	旅行先での予期せぬ事態・状況の説明	語句の確認と次回の予習
5回目	第10課 2章 ガイドブックを片手に	現在の自分の状況などの説明	語句の確認と次回の予習
6回目	第11課 1章 慣れてくると	自分の習慣の変化や困りごと	語句の確認と次回の予習
7回目	第11課 2章 スポーツチームに入って	人から聞いたことを伝えるなど	語句の確認と次回の予習
8回目	第12課 1章 体調不良	症状や原因・対処法	語句の確認と次回の予習
9回目	第12課 2章 毎日、元気に	健康維持のためにやっていること	語句の確認と次回の予習
10回目	第13課 1章 街で見かけた子ども達	子どもの頃の経験	語句の確認と次回の予習
11回目	第13課 2章 思い出すと	子どもの頃受けた教育の影響	語句の確認と次回の予習
12回目	第14課 1章 私の国の行事	国の行事に関することへの説明	語句の確認と次回の予習
13回目	第14課 2章 贈り物の習慣	贈り物の習慣やプレゼントの相談	語句の確認と次回の予習
14回目	第15課 1章 発表の準備	話し合いでのやり取り	語句の確認と次回の予習
15回目	第15課 2章 みんなの前で発表	調べた事柄について発表する	定期試験対策
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	できる日本語（初中級）、文法ノート、言葉表現ワークブック
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	月・木曜日 1～2限目（教室）
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認のみとする

講義科目名称：日本語検定 I（上）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ-2ndQ	1年	2単位	選択	
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	日本語能力の各領域（文字・語彙、聴解、文法、読解）を総合的に学び、模擬試験形式の実践問題を解いて、最終的には日本語能力試験（J L P T）N 3 相当の実力を身につけることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本語能力試験N 3 相当の「文字・語彙」の問題に対応できる。 日本語能力試験N 3 の相当の「文法」の問題に対応できる。 日本語能力試験N 3 相当の「読解」の問題に対応できる。 日本語能力試験N 3 の「聴解」問題に対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 	50% 30%
異文化知識・対応能力	日本語能力試験N 3 相当の実力を身につけ、それらを日常生活で活かすことができる。	レポート	20%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の内容と展開および評価方法について説明する。 プレースメントテスト	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
2 回目	日本語能力試験 N 3	「文字・語彙」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
3 回目	日本語能力試験 N 3	「聴解」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
4 回目	日本語能力試験 N 3	「文法」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
5 回目	日本語能力試験 N 3	「読解」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
6 回目	日本語能力試験 N 3	「文字・語彙」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
7 回目	日本語能力試験 N 3	「聴解」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
8 回目	日本語能力試験 N 3	「文法」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
9 回目	日本語能力試験 N 3	「読解」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。

10回目	日本語能力試験 N 3	「文字・語彙」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
11回目	日本語能力試験 N 3	「聴解」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
12回目	日本語能力試験 N 3	「文法」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
13回目	日本語能力試験 N 3	「読解」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の実践演習に備える
14回目	日本語能力試験 N 3	模擬試験形式の実践演習 1	復習：模擬試験問題の見直し。 予習：次回の実践演習に備える。
15回目	日本語能力試験 N 3	模擬試験形式の実践演習 2	復習：模擬試験問題の見直し。 予習：定期試験の準備
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：パターン別徹底ドリル日本語能力試験N 3 参考書：授業で適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	火曜日 4 限
備考・メッセージ	本授業に関する連絡は学科の掲示板で行う。

講義科目名称：日本語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1 Q, 2 Q	1 年	2 単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	より高いレベルの日本語検定試験合格の力を養う。 本講義では、検定試験合格を目標に、日本語能力の各分野①文字・語彙、②文法、③聴解、④読解の総合的な力を養うことを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	忘れ物をせず、いつも予習をしていくことができる。	授業への参加・態度	20%
確かな専門的知識や技能	日本語の基本的な文章を、聞き取り、読み、書くことができる。	小テスト 定期試験	20% 50%
異文化知識・対応能力	日本文化と、自国や学友の出身国の文化の違いに興味をもち、理解することができる。	グループディスカッション	5%
課題解決能力	自ら進んで過去問題に取り組み、工夫を凝らした勉強法を見出すことができる。	ノート レポート	5%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティを理解し、適切な進路について考えることができ、積極的に検定試験を受けることができる。	授業への参加・態度	*心豊かな人間力に含む
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> 心豊かな人間力とキャリアデザイン力の評価比率は、合わせて20%とする。 連絡は掲示板で行う。 	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	本コースの説明をする ・シラバスの説明 ・授業の約束について 毎回、①文字・語彙 ②文法 ③聴解 ④読解 の4つの分野をバランスよく学習していく。次回はどこまでかは、毎回進み具合によって指示をする。	予習：シラバスを読んでくる 復習：今日の学びを振り返る *小テストは、毎回「この漢字をマスターしよう」から10問を出題する
2回目	日本語能力試験1	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
3回目	日本語能力試験2	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
4回目	日本語能力試験3	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
5回目	日本語能力試験4	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
6回目	日本語能力試験5	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
7回目	日本語能力試験6	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を

			書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
8回目	日本語能力試験7	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
9回目	日本語能力試験8	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
10回目	日本語能力試験9	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
11回目	日本語能力試験10	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
12回目	日本語能力試験11	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
13回目	日本語能力試験12	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：前回学習した「この漢字をマスターしよう」を書いてくる 復習：今日の学びを振り返る
14回目	模擬試験1	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：試験勉強をしてくる
15回目	模擬試験2	文字・語彙、文法、聴解、読解	予習：試験勉強をしてくる
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	パターン別徹底ドリル日本語能力試験 N3、N4
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	<p>授業中は母国語で話さないこと</p> <p>携帯電話は調べる以外に使わないこと</p> <p>日本語能力検定試験 N3、N4 合格を目指して、過去問題を中心に授業を行いながら、日本語力を身に付けていきます。一緒に頑張ってください。</p>

講義科目名称：日本語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
Q1、Q2	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
内山智子				

授業概要	模擬試験形式を含めながら、N3/N4 レベル日本語能力の各分野（文字・語彙・文法・読解・聴解）の総合的な力を見つけていく。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え行動することを意識することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	外国語で書かれた日常の事柄についてのよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・小テスト	50% 40%
コミュニケーション能力	他者との関わりによって表面的な自己が用いる文化的ルールを認識することができる	・ディスカッション ・授業での発表	5%
課題解決能力	目標に向かって自ら問題を見つけたり、計画や解決方法を考えたりすることができる。		
主体的に学ぶ力	自己の行動特徴について具体的に理解する。		
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験 50%、小テスト 40%、授業への参加・態度 5%、ディスカッション 5%の割合で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	自己紹介・授業に関する内容	予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
2回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 1	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
3回目	日本語能力試験	聴解 1	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
4回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 2	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
5回目	日本語能力試験	読解 1	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
6回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 3	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
7回目	日本語能力試験	聴解 2	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
8回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 4	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
9回目	日本語能力試験	読解 2	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。

10 回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 5	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
11 回目	日本語能力試験	聴解 3	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
12 回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 6	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
13 回目	日本語能力試験	読解 3	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
14 回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 7	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
15 回目	日本語能力試験	模擬試験	復習：勉強した内容を理解し直す。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	JLPT N3・N4 パターン別徹底ドリル日本語能力試験（アルク）
履修条件	
履修上の注意	教科書を忘れないこと。
オフィスアワー	（Q1・Q2）火曜日の1限目
備考・メッセージ	授業中の携帯電話は辞書、単語アプリ使用に限り許可する。 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ（上）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ	2年	2単位	選択	
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	日本語能力の各領域（文字・語彙、聴解、文法、読解）を総合的に学び、模擬試験形式の実践問題を解いて、最終的には日本語能力試験（J L P T）N 2相当の実力を身につけることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験N 2相当の「文字・語彙」の問題に対応できる。 ・日本語能力試験N 2の相当の「文法」の問題に対応できる。 ・日本語能力試験N 2相当の「読解」の問題に対応できる。 ・日本語能力試験N 2の「聴解」問題に対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト 	50% 30%
異文化知識・対応能力	・日本語能力試験N 2相当の実力を身につけ、それらを日常生活で活かすことができる。	・レポート	20%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の内容と展開および評価方法について説明する。 プレースメントテスト	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
2 回目	日本語能力試験 N 2	「文字・語彙」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
3 回目	日本語能力試験 N 2	「聴解」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
4 回目	日本語能力試験 N 2	「文法」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
5 回目	日本語能力試験 N 2	「読解」 1	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
6 回目	日本語能力試験 N 2	「文字・語彙」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
7 回目	日本語能力試験 N 2	「聴解」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
8 回目	日本語能力試験 N 2	「文法」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
9 回目	日本語能力試験 N 2	「読解」 2	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。

10 回目	日本語能力試験 N 2	「文字・語彙」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
11 回目	日本語能力試験 N 2	「聴解」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
12 回目	日本語能力試験 N 2	「文法」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
13 回目	日本語能力試験 N 2	「読解」 3	復習：勉強した内容を理解しなおす。 予習：次回の実践演習に備える
14 回目	日本語能力試験 N 2	模擬試験形式の実践演習 1	復習：模擬試験問題の見直し。 予習：次回の実践演習に備える。
15 回目	日本語能力試験 N 2	模擬試験形式の実践演習 2	復習：模擬試験問題の見直し。 予習：定期試験の準備
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：パターン別徹底ドリル日本語能力試験N 2 参考書：授業で適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	火曜日 4 限
備考・メッセージ	本授業に関する連絡は学科の掲示板で行う。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5 th	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
内山智子				

授業概要	模擬試験形式を含めながら、N3レベル日本語能力の各分野（文字・語彙・文法・読解・聴解）の総合的な力を見つけていく。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え行動することを意識することができる。	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	外国語で書かれた日常の事柄についてのよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・小テスト	50% 40%
コミュニケーション能力	他者との関わりによって表面的な自己が用いる文化的ルールを認識することができる	・ディスカッション ・授業での発表	5%
課題解決能力	目標に向かって自ら問題を見つけたり、計画や解決方法を考えたりすることができる。		
主体的に学ぶ力	自己の行動特徴について具体的に理解する。		
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験 50%、小テスト 40%、授業への参加・態度 5%、ディスカッション 5%の割合で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	自己紹介・授業に関する内容	予習：次回の授業の問題に目を通しておく。
2回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 1	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
3回目	日本語能力試験	聴解 1	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
4回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 2	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
5回目	日本語能力試験	読解 1	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
6回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 3	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
7回目	日本語能力試験	聴解 2	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
8回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 4	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
9回目	日本語能力試験	読解 2	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。

10 回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 5	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
11 回目	日本語能力試験	聴解 3	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
12 回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 6	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
13 回目	日本語能力試験	読解 3	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
14 回目	日本語能力試験	文字・語彙・文法 7	予習：次回の授業の問題に目を通しておく 復習：勉強した内容を理解し直す。
15 回目	日本語能力試験	模擬試験	復習：勉強した内容を理解し直す。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	JLPT N3 パターン別徹底ドリル日本語能力試験（アルク）
履修条件	日本語初級レベルを履修していること
履修上の注意	教科書を忘れないこと。
オフィスアワー	（Q1・Q2）火曜日の2・3限目
備考・メッセージ	授業中の携帯電話は辞書、単語アプリ使用に限り許可する。 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと。

講義科目名称:日本語検定Ⅲ	授業コード:301820
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
中里 亜希子 園田 靖				

授業概要	本授業は、日本語検定Ⅰ、日本語検定Ⅱに引き続き、日本語能力向上を目指し、それぞれの進路に向けた準備のための日本語能力試験(JLPT)、JTEST 実用日本語検定受験・合格を目指す授業である。学生一人一人が各自の苦手分野を知り、自ら取り組む姿勢を身につけることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	・日本語で仕事、学校、娯楽などたいていな事態に対処することができる。	・定期試験 ・小テスト	50% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができ、目的に向かって周囲の人々に声をかけ、動かすことができる。	・グループワーク ・ピアトレーニング	10% 10%
キャリアデザイン力	・自らの学習が、各自のキャリアデザイン上でどのように生かせるのかを理解することができる。	・発表	10%
合計			100%
補足事項			
・本授業の評価は、授業への参加・態度 10%、定期試験 50%、小テスト 10%、グループワーク 10%、ピアトレーニング 10%、発表 10%である。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	自己紹介、目標の共有、授業の進め方の説明、小テスト	
2回目	テキスト学習	①漢字・作文	該当箇所の予習と復習
3回目	テキスト学習	①読解・聴解	該当箇所の予習と復習
4回目	テキスト学習	②漢字・作文	該当箇所の予習と復習
5回目	まとめテスト①	発表+筆記テスト	該当箇所の予習と復習
6回目	テキスト学習	②読解・聴解	該当箇所の予習と復習

7回目	テキスト学習	③漢字・作文	該当箇所の予習と復習
8回目	まとめテスト②	発表+筆記テスト	該当箇所の予習と復習
9回目	テキスト学習	③読解・聴解	該当箇所の予習と復習
10回目	テキスト学習	④漢字・作文	該当箇所の予習と復習
11回目	テキスト学習	④読解・聴解	該当箇所の予習と復習
12回目	まとめテスト③	発表+筆記テスト	該当箇所の予習と復習
13回目	テキスト学習	⑤漢字・作文	該当箇所の予習と復習
14回目	テキスト学習	⑤読解・聴解	該当箇所の予習と復習
15回目	テキスト学習	総復習	該当箇所の予習と復習
16回目	定期試験	筆記テスト	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が適宜準備。
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	

講義科目名称:日本語ライティング&グラマーI	授業コード:21152
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ	1年	2単位	選択	講義/演習
担当教員				
岩崎 千恵				

授業概要	<p>様々なテキストがデジタル情報化される現代において、日本で留学生生活を始めた留学生もデジタル機器を通して日本語を使いこなすことが求められている。一方、日本社会では特に履歴書提出などの場面において綺麗な手書き文字が支持される社会風潮もある。よって本講義では、週の前半は PC やスマートフォンでの日本語かな入力方法を学習し、作成した課題をメールに添付して提出する技能を育成する。また、週の後半は、『漢字たまご』や日本語検定試験 N2 までの基礎的な日本語文法を使いながら、UD デジタル教科書体で作成した文章テキストを視写することによって、文字の美しさの練習も行う。さらに、学習者自身や自国文化の発表、民話翻訳などの文章作成を通して、言語運用能力の中でも「書く」「聞く」の能力を高める。</p> <p>J.TEST の D 級に合格できるための「書く」能力の育成を目的とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力		・	
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本語で自身の必要な感情や要求を他者へ伝えるために、デジタル機器を使って発信することができる。 きれいな字体で、日本語の文章を正しく書くことができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ウェブ作成物 提出物 	20% 20%
異文化知識・対応 能力	自身を取り巻く文化を、日本文化を含む外国の文化と比較しながら、N2 程度の文法を使用して伝えることができる	・作成物(紙芝居)	20%
課題解決能力	目標に向かって自ら課題を見つけ、自分だけのやり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、チームで役割を理解し、活動することができる	<ul style="list-style-type: none"> 学修記録ノート 授業への参加態度 	30% 10%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、ウェブ作成物 30%、作成物(紙芝居) 30%、学修記録ノート 30%、授業への参加態度 10%、の割合で評価する
- ・質疑応答は、Melly 上で実施することもできる。Melly が使用できない場合は各担当の指示に従い、適当な連絡ツールを用いて質疑応答を行うものとする。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	日本語のデジタル入りに慣れる①	<ul style="list-style-type: none"> ・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・この授業全体のガイダンスをした後、日本語デジタル入力に関する経験をアンケート上で集計し、皆でシェアする。 パソコンの使い方、キーボードの打ち方、など、経験の違いを基準にグループ分けを行い、各グループの課題を実行できるようになる ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦・シラバスを読んでおく ㊧・学修記録シートに記入し、学んだことを復習する ㊨ローマ字入りに慣れておく
2 回目	日本語のデジタル入りに慣れる②	<ul style="list-style-type: none"> ・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・パソコンの使い方、キーボードの打ち方、など、経験の違いを基準にグループ分けを行い、各グループの課題を実行できるようになる ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ローマ字入りの練習 ㊧・学修記録に記入し、学んだことを復習する ㊨ローマ字入りに慣れておく
3 回目	日本語の文章がきれいに書けるようになる①	<ul style="list-style-type: none"> ・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・ローマ字入りの日本語入力試験 ・自身が書く「ひらがな」、「カタカナ」と UD 教科書体の例を見て視写する ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦50 音をひらがな、カタカナで記入してくる ㊧復習シートに記入してくる ・学修記録に記入し、学んだことを復習する
4 回目	SNS を使った日本語 W&G①	<ul style="list-style-type: none"> ・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・SNS 使用に関する注意事項を学ぶ ・インスタグラムを開設し、クラス全員とつながりを持ち、互いに批評し合う ・今日勉強したことを学習者同士で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ローマ字入りの練習 ㊧・学修記録に記入し、学んだことを復習する
5 回目	日本語の文章がき	<ul style="list-style-type: none"> ・10 分の間に、自分のレベルに合わせた 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦本冊の予習をしておく

	れいにかけるようになる②	多読教材を読む ・本冊(聞いて書く)ワーク 文法✓、新出語彙学修 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊸復習シートに記入してくる ・学修記録に記入し、学んだことを復習する
6回目	SNSを使った日本語W&G②	・10分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・5回目で書いた文章をワードで入力 ・Instagramでつけた/見つけたコメントの日本語をシェア ・絵文字など ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊸Instagramの管理 ㊹・学修記録に記入し、学んだことを復習する
7回目	紙芝居プロジェクト①	・10分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・紙芝居(聞いて書く)ワーク 文法✓、新出語彙学修 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊸youtubeで課題紙芝居の映像を見て予習しておく ㊹復習シートに記入してくる ・学修記録に記入し、学んだことを復習する
8回目	SNSを使った日本語W&G③	・10分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・7回目で書いた文章をワードで入力 ・Instagramでつけた/見つけたコメントの日本語をシェア ・絵文字など ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊸Instagramの管理 ㊹・学修記録に記入し、学んだことを復習する
9回目	紙芝居プロジェクト②	・10分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・紙芝居(聞いて書く)ワーク 文法✓、新出語彙学修 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊸youtubeで課題紙芝居の映像を見て予習しておく ㊹復習シートに記入してくる ・学修記録に記入し、学んだことを復習する
10回目	SNSを使った日本語W&G④	・10分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・9回目で書いた文章をワードで入力 ・Instagramでつけた/見つけたコメントの日本語をシェア ・絵文字など ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊸Instagramの管理 ㊹・学修記録に記入し、学んだことを復習する
11回目	紙芝居プロジェクト③	・10分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・自国の紙芝居(書く)ワーク	㊸自国の有名な昔話やおとぎ話を調べてプリントアウトしておく

		・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊟・学修記録に記入し、学んだことを復習する
12回目	SNS を使った日本語 W&G⑤	・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・11 回目で書いた文章をワードで入力 ・Instagram でつけた/見つけたコメントの日本語をシェア ・絵文字など ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊟Instagram の管理 ㊟・学修記録に記入し、学んだことを復習する
13回目	紙芝居プロジェクト ④	・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・自国の紙芝居(書く)ワーク ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊟自国の有名な昔話やおとぎ話を調べてプリントアウトしておく ㊟・学修記録に記入し、学んだことを復習する
14回目	SNS を使った日本語 W&G⑥	・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・13 回目で書いた文章をワードで入力 ・Instagram でつけた/見つけたコメントの日本語をシェア ・絵文字など ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊟Instagram の管理 ㊟・学修記録に記入し、学んだことを復習する
15回目	紙芝居プロジェクト ④音読	・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・自国の紙芝居朗読発表 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊟メモ等を準備しておく ㊟本日の活動内容を感想文にまとめる
16回目	紙芝居プロジェクト ⑤音読	・10 分の間に、自分のレベルに合わせた多読教材を読む ・自国の紙芝居朗読発表 各グループ毎の今年の紙芝居を選定 ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊟メモ等を準備しておく ㊟本日の活動内容を感想文にまとめる

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	できる日本語本冊

履修条件	向学意欲のある者
履修上の注意	著作権に関して高い意識を持ってください
オフィスアワー	火曜日 9:30~10:30 それ以外の時間はメールで問い合わせてください
備考・メッセージ	積極的な参加態度を望みます

講義科目名称:日本語ライティング&グラマー I	授業コード:300970
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
IQ	1年生	2単位	選択	講義
担当教員				
中里 亜希子				

授業概要	本授業は、正しい文法を使って日本語の文章を書くことを目標としている。文法を正しく理解し、それらを作文・会話に使い、コミュニケーション能力を身につける。文章を書く方法は、手書きとPC入力の二種類であるが、PC入力がより容易になるように練習を繰り返す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した振る舞いが必要となることが意識できる	ピアトレーニング 授業参加・態度	10% 10%
専門的知識や技能	日本語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。	定期テスト 小テスト	50% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自分からやりたいという気持ちがあり、目標に向かって自ら問題を見つけ、解決方法を検討し、計画をたてて解決することができる。	レポート作成	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業は、定期テスト 50%、小テスト 10%、レポート作成 20%、授業参加・態度及びピアトレーニング 20%で評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	自己紹介、目標の共有、授業の進め方、評価方法の説明	
2回目	基本操作①	キーボード操作・ホームポジション理解	短文練習したものをメールで送信
3回目	基本操作②	ホームポジションの練習	短文練習したものをメールで送信
4回目	基本操作③	ホームポジションの習得	短文練習したものをメールで送信
5回目	基本操作④	スマートフォン入力の練習	短文練習したものをメールで送信

6回目	基本操作⑤	スマートフォン入力の練習	短文練習したものをメールで送信
7回目	基本操作⑦	スマートフォン入力の習得	短文練習したものをメールで送信
8回目	小テスト	短文の入力テスト	
9回目	短文を書く①	日記を書く①	メールで送信
10回目	短文を書く②	日記を書く②	メールで送信
11回目	短文を書く③	日記を書く③	メールで送信
12回目	レポート作成①	一日のスケジュールを作成	メールで送信
13回目	レポート作成②	アルバイト紹介文作成	メールで送信
14回目	レポート作成③	友達紹介文を作成	メールで送信
15回目	まとめ		
16回目	定期試験	PC入力・筆記試験	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「できる日本語」本冊
履修条件	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・空き時間を利用して、PC操作に慣れること。 ・欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡すること。
オフィスアワー	授業時間の前後で対応する。
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	<p>中級レベルの日本語文法を使って、日常会話を正しく聞き取り、それを理解して書き留める力を養う。</p> <p>本授業では、『できる日本語初中級』の「もう一度聞こう」を①正しく聴き取ることができる②きれいな読みやすい字で書くことができる、③内容を完全に理解することができる、を目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断して、読みやすく美しい文字を意識して書くことができる。	・授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	・身近な話題について、的確に内容を理解することができる。 ・身近な話題について聴き取ったことを、ていねいな文字で書くことができる。	・定期試験 ・小テスト（漢字10問）	50% 20%
異文化知識・対応能力	・文化の違いを認識し、新しい視点を持つことができる。	・日々の発言	10%
課題解決能力	・失敗を恐れずに自ら問題に取り組むことができる。	・グループディスカッション	5%
キャリアデザイン力	・自分自身の考えを十分話すことができる。	・ミニスピーチ	5%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の漢字テストの準備をしっかりとしておくこと。 ・連絡は掲示板で行います。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション 第1課	日本語ライティング&グラマーのコース説明及び評価方法を説明する ・シラバスの確認 毎回の授業の流れを説明する 「もう一度聞こう」をCDで聞いて、指示された部分を書き取る ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：シラバスを読んでくる 復習：今日の授業の振り返り
2回目	第2課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
3回目	第3課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
4回目	第4課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
5回目	第5課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
6回目	第6課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
7回目	第7課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
8回目	第8課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
9回目	第9課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
10回目	第10課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
11回目	第11課	「もう一度聞こう」の聞き書き	予習：漢字テストの勉強

		・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	復習：今日の授業の振り返り
12回目	第12課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
13回目	第13課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
14回目	第14課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
15回目	第15課	「もう一度聞こう」の聞き書き ・『漢字たまご』漢字10問テスト ・コラムを読んで書き写す	予習：漢字テストの勉強 復習：今日の授業の振り返り
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『できる日本語 初中級』本冊、漢字たまご、毎日子ども新聞
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず連絡をしてください
オフィスアワー	授業の前後に質問を受け付けます
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと 携帯電話は調べる以外には使わないこと 毎時間同じパターンで授業を進めながら、日本語の文章を書く力、聞き取る力、文法の能力を高める授業です。根気強く取り組んでください。

講義科目名称：日本語ライティング&文法Ⅱ (上)	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	日本語能力試験N2～N3相当の文法を使って、日本社会で必要とされる実用的な文章を手書きで作成できるようになることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・教科書に出てくる文章の語彙や文法を確認しながら、それらを手書きで間違いなく書き写すことができる。	・授業中の提出物	20%
	・教科書に出てくる文章を参考にして、幅広いテーマで自分の意見を手書きで書くことができる。	・授業中の提出物	25%
異文化知識・対応能力	・教科書に出てくる文章を参考にして、日本社会の幅広い話題について手書きの作文を書くことができる。	・授業中の提出物	25%
課題解決能力			
キャリアデザイン力	・インターネットなどの情報を活用して、進学や就職に必要な書類を手書きで作成することができる。	・授業中の提出物	30%
合計			100%

補足事項

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の内容と展開および評価方法の説明 プレースメントテスト	復習：授業の内容と展開および評価方法の確認 予習：「p22 自己紹介」ことばの意味調べ
2回目	自己紹介1	「自己紹介で使える表現」「性格を表すことば」の語彙、文法を確認する。 P22「使ってみよう」を参考にして自己紹介文を手書きで書く。	復習：友だちと自己紹介の内容を話し合ってみる。 予習：「効率アップ！ 時間管理法」ことばの意味調べ
3回目	効率アップ！ 時間管理法1	「効率アップ！ 時間管理法」の語彙、文法を確認する。 「効率アップ！ 時間管理法」をきれいに手書きで書き写しながら、漢字を覚える。	復習：「効率アップ！ 時間管理法」の理解の確認 予習：自分の勉強や仕事の集中力アップの方法を考えてくる。
4回目	効率アップ！ 時間管理法2	自分の勉強や仕事の集中力アップの方法を作文し、発表し合う。	復習：作文について、友だちと内容を話し合ってみる。 予習：「防災公園を知っていますか」ことばの意味調べ
5回目	防災公園を知っていますか1	「防災公園を知っていますか」の語彙、文法を確認する。 「防災公園を知っていますか」をきれいに手書きで書き写しながら、漢字を覚える。	復習：「防災公園を知っていますか」の理解の確認 予習：自分の国の災害や防災について調べてくる。
6回目	防災公園を知っていますか2	自分の国の災害や防災について調べてきたことを作文し、発表し合う。	復習：作文について、友だちと内容を話し合ってみる。 予習：「包む」ことばの意味調べ
7回目	包む1	「包む」の語彙、文法を確認する。 「包む」をきれいに手書きで書き写しながら、漢字を覚える。	復習：「包む」の理解の確認 予習：自分の国のプレゼントの習慣（相手や物など）について調べてくる。
8回目	包む2	自分の国のプレゼントの習慣（相手や物など）について調べてきたことを作文し、発表し合う。	復習：作文について、友だちと内容を話し合ってみる。 予習：「手書きの壁新聞」こ

			とばの意味調べ
9回目	手書きの壁新聞1	「手書きの壁新聞」の語彙、文法を確認する。 「手書きの壁新聞」をきれいに手書きで書き写しながら、漢字を覚える。	復習:「手書きの壁新聞」の理解の確認 予習:自作の壁新聞のテーマを考える。
10回目	手書きの壁新聞2	身近なテーマから壁新聞を作って発表する。	復習:友だちの壁新聞の良いところを確認。 予習:「なぜ学び、なにを学ぶのか」ことばの意味調べ
11回目	なぜ学び、なにを学ぶのか1	「なぜ学び、なにを学ぶのか」の語彙、文法を確認する。 「なぜ学び、なにを学ぶのか」をきれいに手書きで書き写しながら、漢字を覚える。	復習:「なぜ学び、なにを学ぶのか」の理解の確認 予習:自分自身が「なぜ学び、なにを学ぶのか」を考えてくる。
12回目	なぜ学び、なにを学ぶのか2	自分自身が本学で「なぜ学び、なにを学ぶのか」を考え作文する。	復習:作文について、友だちと内容を話し合ってみる。 予習:「これから社会へ出る君へ」ことばの意味調べ
13回目	これから社会へ出る君へ1	「これから社会へ出る君へ」の語彙、文法を確認する。 「これから社会へ出る君へ」をきれいに手書きで書き写しながら、漢字を覚える。	復習:「これから社会へ出る君へ」の理解の確認 予習:自分の職業を選ぶとき、どんなことを大切にしたいと思うか、を考えてくる。
14回目	これから社会へ出る君へ2	自分の職業を選ぶとき、どんなことを大切にしたいと思うかを作文し、発表し合う。	復習:作文について、友だちと内容を話し合ってみる。 予習:進学先や就職先に出す履歴書の内容を考えてくる。
15回目	これから社会へ出る君へ3	実際に進学先や就職先に出す履歴書を書く。	復習:履歴書の内容を確認する。 予習:実際の履歴書の書式等を確認しておく。
16回目	定期試験	なし	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：できる日本語中級本冊（青） 副教材：漢字たまご
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	火曜日 4 限
備考・メッセージ	本授業に関する連絡は学科の掲示板で行う。

講義科目名称：日本語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q 6Q	2年			演習、講義
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本における様々な場所と場面において、適切な判断で日本語を駆使できる力を養う。本講義では、①中級以上の日本語文法を理解し、実用的な文章を正確に読み取り、聞き取ることができる。②手書き、パソコンどちらにおいても手早く文書作成ができる。③自国と日本文化の違いを認識し広い視野を持つことができる力を養うことを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・お互いの出身国について、興味をもって積極的に話を聞くことができる。	・授業への態度・態度と言動。	10%
確かな専門的知識や技能	・中級以上の日本語文法を身に付けている。 ・日本語で読む、書く、話す、聞く力を身に付け、自分の思いを表現することができる。	・小テスト ・定期試験	20% 50%
コミュニケーション能力	・グループ内での協力や、積極的に国の違うクラスメートに関わることができる。	・グループディスカッション	10%
課題解決能力	・失敗を恐れず、自ら進んで行動し、解決に向かう工夫をすることができる。	・グループ活動での行動	5%
キャリアデザイン力	・自分のライフスタイルを振り返り、何のために留学したのかを再認識し、卒業後に繋ごうとすることができる。	・課題スピーチ	5%
合計			100%

補足事項	
・各クォーター週に2時間あるので、テキスト本編の1課を2コマかけて学習する。	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	コース説明	コースおよびシラバスについて説明する ・ループリックの概要 ・自己紹介(出身国、なぜ日本に来たか)	予習：『できる日本語』中級に名前を書いて持ってくる 復習：学習内容を確認する
2回目	第1課 新しい一歩	アルバイトでよく使う用語を説明する ・役割を決めロールプレイ ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：第1課を読んでくる 復習：今日のトピックの感想を書く
3回目	第2課 ショッピングビルで	ショッピングでの想定されるやり取りを、考えさせる ・役割を決めてロールプレイ ・短い文章の聞き書き	予習：第2課を読んでくる 復習：聞き取りができなかったら、視写をする
4回目	第2課 ショッピングビルで	買い物の場所と品物について説明する ・新聞広告を使って、ロールプレイ ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：今、買いたい物を書いてくる 復習：今日のトピックの感想を書く
5回目	第3課 私の目標	卒業後の進路について説明する ・どのような進路先があるかを調べる	予習：第3課を読んでくる 復習：自分の目標について考える
6回目	第3課 私の目標	卒業後の進路について話をさせる ・自分の目標を話す ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：自分の目標を書いてくる 復習：進路についての作文を書く
7回目	第4課 住んでいる町で	佐世保について説明する ・自分の住む町について、簡単な地図を書き伝え合う	予習：第4課を読んでくる 復習：書いた地図に修正を加える
8回目	第4課 住んでいる町で	学生の出身国について、簡単に説明する ・それぞれの資料を使い、自国を紹介し合う	予習：自分の国の住んでいた町についての資料を準備する 復習：学友の出身国について知ったことを書く
9回目	第5課 大変な一日	生活の中でどんなトラブルがあるか説明する ・それぞれのトラブル体験を語り合う	予習：第5課を読んでくる 復習：今日知ったトラブルをまとめる

10 回目	第 5 課 大変な一日	トラブルの対処について説明する ・臨機応変な対処について、話し合う ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：トラブルの対処法を考える 復習：今日のトピックの感想を書く
11 回目	第 6 課 旅行の計画	日本での旅行について説明する ・日本地図を学ぶ ・行きたい場所を探す	予習：第 6 課を読んでくる 復習：行きたい場所を決める
12 回目	第 6 課 旅行の計画	旅程の立て方について説明する ・交通手段 ・宿泊施設 ・実際に計画を立ててみる(グループ又は個人)	予習：行きたい場所の資料を準備する 復習：計画書の見直しをする
13 回目	第 6 課 旅行の計画	旅行計画書発表会 ・わかりやすい発表 ・的確な質問や感想	予習：完成した計画書を準備する 復習：発表の感想を書く
14 回目	第 7 課 西川さんの家へ	知人宅の訪問の仕方について説明する ・料理に使う用語 ・会社で使う用語 ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：第 7 課を読んでくる 復習：今日のトピックの感想を書く
15 回目	第 8 課 ありがとう	気持ちを表す言葉について説明する ・うれしいとき、かなしいとき、はずかしいとき ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：第 8 課を読んでくる 復習：今日のトピックの感想を書く
16 回目	試験		
17 回目	第 9 課 アルバイト先で	アルバイト先で使うことばについて説明する ・アルバイトの体験の情報交換をする	予習：第 9 課を読んでくる 復習：アルバイト先の条件や決まりについてまとめる
18 回目	第 9 課 アルバイト先で	アルバイト先の条件やルールについて説明する ・各自のアルバイト先に付いて語り合い、その相違点、類似点を知る ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：アルバイト先に付いてのまとめを準備する 復習：今日のトピックの感想を書く
19 回目	第 10 課 旅行に行って	旅行に必要なことばを説明する ・乗り物、見学先、ホテル	予習：第 10 課を読んでくる 復習：旅行費必要な単語を

			まとめる
20 回目	第 10 課 旅行に行つて	旅行に持つて行く物について説明する ・これまでの旅行体験を振り返る ・旅行に最低限必要な物について考える ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：第 6 課で学んだ旅行計画書を準備する 復習：今日のトピックの感想を書く
21 回目	第 11 課 地域社会の中で	地域の人々との交流について説明する ・学校外で出会う人々について、その体験を語り合う ・今後どのような繋がりが持てるかについて語り合う	予習：第 11 課を読んでくる 復習：今日の学びを振り返る
22 回目	第 11 課 地域社会の中で	地域の人々とのかかわりについて、考えたことを発表させる ・質問をし、感想を話し合う ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：実際にどんな地域とのかかわりができるかをまとめ準備する 復習：今日のトピックの感想を書く
23 回目	第 12 課 私の健康法	健康に関する言葉を説明する ・体調不良の時に使うことば ・体調を表すオノマトペ	予習：第 12 課を読んでくる 復習：体調に関するオノマトペをまとめる
24 回目	第 12 課 私の健康法	体調に関するオノマトペを使った近況報告スピーチをさせる ・互いに評価し合う ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：体調に関するオノマトペを準備する 復習：今日のトピックの感想を書く
25 回目	第 13 課 親の気持ち、子の気持ち	日本の親について説明し、故国の両親について考えさせる ・日本で見かけた子どもたちに思うこと ・母国の子どもたちについて思うこと	予習：第 13 課を読んでくる 復習：授業中の語り合いを振り返る
26 回目	第 13 課 親の気持ち、子の気持ち	日本の教育制度を説明し、現在の問題点について考えさせる ・思ったことについてのディスカッション ・今日のトピック 読み、書き、話し合う	予習：日本の子どもたちについて思うことをまとめる 復習：今日のトピックの感想を書く

27 回目	第 14 課 イベント・行事	日本の行事について説明する ・自国との比較 ・似ている行事について話し合う	予習：第 14 課を読んでく る 復習：自国の行事との相違 点について考える
28 回目	第 14 課 イベント・行事	共通性のある行事について、各国の様 子を話し合わせる ・具体的な状況	予習：自国の行事について まとめる 復習：気になった行事につ い理解を深める
29 回目	第 15 課 気になるニュース	タイムリーな気になるニュースについ て、それぞれの興味関心をチェックす る ・なぜそのニュースが気になるのか ・気になるニュースを 5W1H でまとめ 意見交換をする	予習：第 15 課を読んでく る 復習：一番気になったニュ ースの概要と感想をまとめ る
30 回目	第 15 課 気になるニュース	異文化理解を兼ねた、情報の読み解き について説明する ・自国との比較 ・日本との比較 ・今日のトピック 読み、書き、話し合 う	予習：気になるニュースの まとめを準備する 復習：今日のトピックの感 想を書く
31 回目	もっと覚えたい人 のために	テキストの復習と、もっと覚えたい人 のためにを説明する ・問題に挑戦する ・今日のトピック 読み、書き、話し合 う	予習：テキストを読んでお く 復習：今日のトピックの感 想を書く
32 回目	試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	『ことばノート』中級、ひらがなタイムズ、雑誌・本、毎日子ども新聞
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず連絡をしてください
オフィスアワー	授業の前後に質問を受け付けます
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと 携帯電話は調べる以外には使わないこと

	<p>これからの日本での生活の中で、必要な日本語の表現力を高める授業です。 間違えることを恥ずかしがらずに、積極的に参加してください。</p>
--	---

講義科目名称：日本語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q & 6Q	2年	2	選択	演習
担当教員				
福元美和子				

授業概要	本授業は、さまざまな日本語媒体を使用し、たくさんの日本語に触れることで語彙力、日本語表現力を磨くことを主眼としている。また、ある程度まとまった文章を読んで大意を理解し、ディスカッションができるようになる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	本授業を通して、会話力を磨き、より日本社会に適応する力をつける。	・授業内や課題、連絡等に対する姿勢（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
確かな専門的知識や技能	授業のテーマに沿った課題を理解し、学習項目を確実に身に付け、自らアウトプットできる。	・ワークシート（レポート含む） ・ミニテスト	50% 10%
異文化知識・対応能力	授業は、ほぼ会話のペアワーク、グループワークで行う。その中で、異なる文化を持つ人を受け入れ、自分の持つ文化やルールや偏見に捉われず、自分と同じであることを求めず、新しい視点によってもたらされた複雑な視点を持つことができる。	・授業内（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
課題解決能力	学んだ文法等を、理解し、定着させ応用できる力。疑問やわからない点があった際に自分で解決方法を模索できる。	・授業内の課題や、宿題（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
キャリアデザイン力	本授業が日本語力向上のために必要であることを理解し、積極的な学習ができる。	・授業内の課題や、宿題（ルーブリック評価）	10% （ルーブリックに基づき数値化）
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験 50%のほか、上記に挙げた項目をルーブリック式で評価を行う。ルーブリック評価の内容は、初回の授業で開示、説明を行う。

授業を欠席等の場合には、授業のフォローや次回までの課題等を伝えるため、メールまたは Melly で必ず連絡すること。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進め方、心構え、評価の方法について説明する。授業の進め方に関しては、実際に教材を用いながら流れと、毎回出す宿題箇所を確認する。	予習：事前にシラバスを読んでおく。 復習：授業で告知した課題
2 回目	活動①(以降、2コマで1セット)	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
3 回目	活動②	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
4 回目	活動③	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
5 回目	活動④	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題

		15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	
6回目	活動⑤	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
7回目	活動⑥	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
8回目	活動⑦	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
9回目	活動⑧	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
10回目	活動⑨	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題に取り組む 復習：授業で告知した課題
11回目	活動⑩	10分 ウォーミングアップ	予習：前の授業で指示した

		20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	課題を取り組む 復習：授業で告知した課題
12回目	活動⑪	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題を取り組む 復習：授業で告知した課題
13回目	活動⑫	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題を取り組む 復習：授業で告知した課題
14回目	活動⑬	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題を取り組む 復習：授業で告知した課題
15回目	活動⑭	10分 ウォーミングアップ 20分 本時のトピックスを読む 30分 読解（語彙確認） シートにまとめる 解説 15分 ディスカッション 15分 シートを仕上げる	予習：前の授業で指示した課題を取り組む 復習：授業で告知した課題
16回目	定期試験	なし	

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ひらがなタイムズ」 「毎日小学生新聞」ほか雑誌等の書籍
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	自分の日本語力を客観的に見て、日本語力を磨く姿勢で授業に臨んで欲しい。受け身の姿勢では、語学力は伸びにくいことを自覚し、丁寧に確実にそして楽しく学んでいきましょう。

講義科目名称：応用日本語（上）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	日本の生活における基礎的なシチュエーションに対応できるように、初中級後半の文法を中心に据えながら、「書く・読む・話す・聞く」の総合的な日本語能力を伸ばし、日常的な場面でその場に応じた適切なコミュニケーションができることを目指す。具体的には、日本語能力試験N3に相当する実力を身につけることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的话题を扱った文章を読んで、必要な情報を読み取ることができる。 ・ 初中級レベルの基礎的な漢字の読み書きができる。 ・ 理解した文法を、日常的な表現に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 小テスト 	50% 30%
異文化知識・対応能力	・ 日常的な場面での自然に近いスピードの会話を楽しむことができる。	・ 授業中の発言・発表および態度	20%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の内容と展開および評価方法の説明 自己紹介	復習：オリエンテーションの内容の確認。 予習：「第9課」前半の語句の意味を調べてくる。
2回目	第9課	アルバイト先のルール ・条件形などの理解 漢字たまご	復習：「第9課」前半の確認 予習：「第9課」後半の語句の意味を調べてくる。
3回目	第9課	楽しいアルバイト ・おVください、ごNください などの理解 漢字たまご	復習：「第9課」後半の確認 予習：「第10課」前半の語句の意味を調べてくる。
4回目	第10課	ハプニング！ ・受身の理解1 漢字たまご	復習：「第10課」前半の確認 予習：「第10課」後半の語句の意味を調べてくる。
5回目	第10課	ガイドブックを片手に ・受身の理解2 漢字たまご	復習：「第10課」後半の確認 予習：「第11課」前半の語句の意味を調べてくる。
6回目	第11課	慣れてくると ・Vようになります などの理解 漢字たまご	復習：「第11課」前半の確認 予習：「第11課」後半の語句の意味を調べてくる。
7回目	第11課	スポーツチームに入って ・命令形の理解 漢字たまご	復習：「第11課」後半の確認 予習：「第12課」前半の語句の意味を調べてくる。
8回目	第12課	体調不良 ・Vたらどうですか などの理解 漢字たまご	復習：「第12課」前半の確認 予習：「第12課」後半の語句の意味を調べてくる。
9回目	第12課	毎日、元気に！ ・Vのに～ Nに～ などの理解 漢字たまご	復習：「第12課」後半の確認 予習：「第13課」前半の語句の意味を調べてくる。
10回目	第13課	町で見かけた子どもたち	復習：「第13課」前半の確認

		・使役動詞の理解 漢字たまご	認 予習：「第13課」後半の語句の意味を調べてくる。
11回目	第13課	思い出すと ・使役受身の理解 漢字たまご	復習：「第13課」後半の確認 予習：「第14課」前半の語句の意味を調べてくる。
12回目	第14課	私の国の行事 ・Nってなんですか などの理解 漢字たまご	復習：「第14課」前半の確認 予習：「第14課」後半の語句の意味を調べてくる。
13回目	第14課	贈り物の習慣 ・～かな Vようかな などの理解 漢字たまご	復習：「第14課」後半の確認 予習：「第15課」前半の語句の意味を調べてくる。
14回目	第15課	発表の準備 ・～んだって などの理解 漢字たまご	復習：「第15課」前半の確認 予習：「第15課」後半の語句の意味を調べてくる。
15回目	第15課	みんなの前で発表 ・Vできました などの理解 漢字たまご	復習：「第15課」後半の確認 予習：定期試験の準備
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：できる日本語 わたしの文法ノート初中級（黄） 副教材：できる日本語初中級本冊（黄）、漢字たまご初中級
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	火曜4限
備考・メッセージ	本授業に関する連絡は学科の掲示板で行う。

講義科目名称：比較文化研究	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q）	2年	2単位	選択	講義(オムニバス)
担当教員				
牟田、岩崎、中里、ローズ、園田、青木、李				

授業概要	<p>コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深る。</p> <p>1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる	・グループワーク	40%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面に関わり、その関わりを発展させることができる ・自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応す 	・課題	30%

	る方法がわかる。		
課題解決能力	・目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる	・課題	30%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答はMelly上で実施することもできる。Mellyが使用できない場合は各担当の指示に従い、適当な連絡ツールを用いて質疑応答を行うものとする。 			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に	この授業全体のガイダンスをした後、それぞれの考えに関する「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
2回目	「異文化」と「アイデンティティ」	「多様性」「多文化」「共生」それぞれの言葉が乱立する現代社会において、Nationality, Ethnicity, Cultural Identityのそれぞれの意味を理解すると共に、考えを深める。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
3回目	韓国へようこそ！1	韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、日本・日本文化との比較を行う。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
4回目	韓国へようこそ！2	韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
5回目	中国語の擬声語	中国語で鶏の鳴き声は？猫の鳴き声は？水の音は？日本語と比較しながら楽しく学ぶ。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。

			て把握しておく。
6 回目	中国茶と日本茶	中国の緑茶、黒茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶等を実際に試飲しながら、日本茶および日本の茶文化との比較を行う。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
7 回目	日本の着物の歴史	日本の伝統衣装としての着物の歴史を学ぶ。着物の歴史を知ること、外国の衣装にも興味をもって調べてみて共有する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
8 回目	着物の小物紹介と着付け体験	着物に実際に触れ、着用体験を試みる。また着付けを仕事とする人の話を聞いて、成人式などの式典についても学ぶ。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
9 回目	カナダ言語、文化紹介	カナダで使用されている言語や日本とは異なる文化について紹介し、大学システムについても比較をおこなう。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
10 回目	外国人からみた日本の若者文化について	現代日本の若者文化に対して世界の同世代の若者がどのように感じているかを NHK の「Cool Japan」を題材に、ものの見方や考え方の違いについて議論する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
11 回目	日本と世界の詩の私たち	日本での詩／韻文と、世界の国の詩／韻文の特徴を紹介し、どのように異なるか、リズムの違いなどを学ぶ。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
12 回目	シェイクスピア入門	イギリス文学の代表的劇作家であるシェイクスピアの生い立ちや作品、その文章の特徴などについて実際の舞台映像なども交えて学ぶ。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
13 回目	ニュージーランドの文化 1	現在のニュージーランドの紹介。日常生活、人気の趣味・スポーツなど、そして NZ ならではの言語を勉強する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。
14 回目	ニュージーランドの文化 2	ニュージーランド史の要約。昔から、そして今も多国から来たニュージーランドへ住む人々を紹介する。	今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う内容を前もって把握しておく。

15 回目	総まとめ	学習内容まとめ アンケート調査	今まで勉強した内容に新たな情報を追加する。
-------	------	--------------------	-----------------------

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

異文化理解演習	授業コード：
英文科目名称：Cross-cultural Understanding	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
牟田 美信 ・ 岩崎 千恵				

授業概要	<p>この授業の目的となるキーワードは、「協働」「異文化理解」「コミュニケーション」「自国文化理解」「創造性」「パソコン・スマホ活用」とする。</p> <p>これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化についての理解を深める。</p> <p>グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組む、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・プレゼン作成、発表を通して調査・まとめ・発表能力をつけることができる。	・プレゼン能力	30%
異文化知識・対応能力	・日本人と留学生の合同プロジェクトを通して、多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。 ・異文化間交流の中で自国の	・異文化、自国文化の理解	40%

	文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。		
課題解決能力	・グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。	・授業や活動への参加・態度	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・「5つのプロジェクトの成果」、「プレゼンテーション方法」、「授業や活動への参加・態度」に関して、ルーブリック評価を行います。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	Introduction プロジェクト① -1: グループメンバー動画作成	「仲間作り」: 多国籍で構成したグループ内で、協力して、個人紹介の動画を作成。留学生は、日本語で。日本人学生は、日本語と他の言語(2言語)で作成。	㊦自己紹介と呼ばれたニックネームを母語で考えてまとめて来る ㊧外国語の自己紹介文を練習してくる
2回目	プロジェクト① -2: グループメンバー動画作成	「仲間作り」: 多国籍で構成したグループ内で、協力して、個人紹介の動画を作成。留学生は、日本語で。日本人学生は、日本語と他の言語(2言語)で作成。	㊦留学生の出身国情報を調べて、興味のある点をまとめておく ㊧自己紹介を見なくても言えるように練習
3回目	プロジェクト② -1: 出身国紹介プレゼン	「学生の出身国を知る」: それぞれの国の情報をクイズ形式で提示するPPTを作成し、プレゼンテーションを行う。	㊦○×クイズ、穴埋めクイズ、質問クイズなどクイズ形式を予習 ㊧正しい情報なのか留学生に確認してもらう
4回目	プロジェクト②	「学生の出身国を知る」: それぞ	㊦プレゼンテーション

	－ 2：出身国紹介プレゼン	れの国の情報をクイズ形式で提示する PPT を作成し、プレゼンテーションを行う。 ・プレゼンテーション	の練習をしておく ⑩プレゼンテーションの振り返りをまとめる
5 回目	プロジェクト③ － 1：HTB 宿泊研修準備	・選択した顧客パターンに従って、理想的な HTB の過ごし方を考える。 ・宿泊時のパフォーマンスの準備	⑨旅行会社のパンフレットをいくつか集めておく ⑩パフォーマンスの企画を具体的にしておく
6 回目	プロジェクト③ － 2：HTB 宿泊研修準備	・選択した顧客パターンに従って、理想的な HTB の過ごし方を考える。 ・宿泊時のパフォーマンスの準備	⑨パフォーマンスの企画を具体的にしておく ⑩プレゼンテーションを仮定して必要な写真のシーンなどを具体的にリスト化しておく
7 回目	プロジェクト③ － 3：HTB 宿泊研修準備	・選択した顧客パターンに従って、理想的な HTB の過ごし方を考える。 ・宿泊時のパフォーマンスの準備	⑨パフォーマンスの練習・準備をしておく ⑩プレゼンテーションを作成して、必要な写真のシーンなどを具体的にリスト化しておく ⑪研修準備
8 回目	プロジェクト④ － 1：HTB 宿泊研修プレゼン	・HTB 宿泊研修時に実施した③のプロジェクトをまとめプレゼンテーションを作成する。	⑨皆で撮った写真や動画等を共有しておく ⑩振り返りをまとめる
9 回目	プロジェクト④ － 2：HTB 宿泊研修プレゼン	・HTB 宿泊研修時に実施した③のプロジェクトをまとめプレゼンテーションを作成する。 ・プレゼンテーション	⑨プレゼンテーションの練習 ⑩プロジェクト④の振り返りをまとめる
10 回目	プロジェクト⑤ － 1：多言語フレーズ集作成	・インターンシップ、留学、アルバイトで使える多言語フレーズ集を作成する。	⑨アルバイトで直面している「あったらいいな」という言葉をまとめておく ⑩他にないのか他の人とも話してまとめる
11 回目	プロジェクト⑤	・インターンシップ、留学、アル	⑨共有シートに追加・

	－ 2：他言語フレーズ集作成	バイトで使える多言語フレーズ集を作成する。	修正等を行っておく プレゼンテーションの練習 ㊸最終チェックを行う
12 回目	まとめ	最終プレゼンテーション	㊹練習をしっかりと行う ㊸全体の振り返り
13 回目	なし	* HTB 宿泊研修の読替	
14 回目	なし	* HTB 宿泊研修の読替	
15 回目	なし	* HTB 宿泊研修の読替	
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	牟田：木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可 岩崎：火曜日（9：30－10：30） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

国際・時事研究	授業コード：
英文科目名称：Research of Current Affairs	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を獲得し、自分の意見を持ち、発言できるようにする。</p> <p>具体的には、教員が提示説明する時事問題に関して議論する。また、受講者が気になった新聞やネット記事を読み、「要旨」と「自分の意見」を述べ、ディスカッションを行い時事問題について理解を深める。授業では、各自が取り上げた記事に対して「マインドマップ」を作成し、それを元に、発表をおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約できる。 ・ 取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ・ 情報を整理し、分かり易いマインドマップを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 毎回の授業でのタスク ・ 授業への参加・態度 	30% 30% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ・ 記事に関して、自分の意見を 		30%

	論理的に簡潔に述べることができる。		
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。マインドマップの作成の仕方を学ぶ。	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
2回目	国際情勢1	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
3回目	国際情勢2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
4回目	国際情勢3	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	復復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
5回目	国際情勢4	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 	復習：学習した内容を

		<p>説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>ノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
6回目	紛争と領土問題 1	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
7回目	紛争と領土問題 2	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
8回目	社会1	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
9回目	社会2	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
10回目	社会3	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
11回目	産業・資源1	<p>・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>

		<p>説と学生との意見交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>ノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
12回目	産業・資源2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
13回目	自然・地理	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
14回目	旅行・世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p> <p>予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p>
15回目	まとめ	<p>授業で取り扱った内容に関して、そう復讐をおこなう。</p>	<p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「なるほど地図帳世界2020」（昭和社）、各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	

履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	就職活動においても、時事問題に関心を持つことは大切である。 できるだけ毎日、新聞やネットニュース読み、テレビ・ラジオのニュースを視聴することを心がけること。

講義科目名称：国際・時事研究	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
福元美和子				

授業概要	<p>本授業は、国内外の時事問題を理解し、自分の意見や考えをまとめ、他者とのディスカッションによって見聞を広げることを主眼としている。</p> <p>具体的には、時事関連の映像（主に日本語）を見て、内容を理解し、グループで議論する。あるいは、自分が関心を持つ自国の時事問題、あるいは、自国で大きな話題になっている時事問題について、要約し発表する。</p> <p>各自、授業の中で「時事研究ノート」を作成する。</p> <p>ノートで扱う記事は、日本語・英語、その他の言語の記事とする。</p> <p>※授業内で行う講義及びディスカッションは日本語を使用する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	授業内では、ディスカッションを含めグループワーク主体となる。その中で他者に対して親和的、協力的態度で関わることができる。その場にふさわしい振る舞いができる。	・授業内や課題、連絡等に対する姿勢（ルーブリック評価）	10% (ルーブリックに基づき数値化)
確かな専門的知識や技能	日本語で書かれた資料を正確に読み、理解し、自分の考えを外に抽出（日本語で意見をまとめる。他者へ伝える。）できる。また、他者の意見を理解でき、自分の考えとの相違がわかる。以上の工程を記録に残すことができる。	・定期試験 ・課題	50% 10%
異文化知識・対応能力	自己の文化的ルールや常識ばかりにとらわれず、違う文化や考えを持つ他者の意見から得られる新しい視点を受け入れ、自らの視野を広げることができる。	・授業内（ルーブリック評価）	10%
課題解決能力	課題に積極的に取り組む。その際、指示を待つのではなく、自発的に方法を考える。また、チームでの活動の際は、	・授業への参加・態度（ルーブリック評価）	10%

	自分にできることを積極的に行い貢献するとともに、他者の意見などから視野を広げより良い活動ができる。		
キャリアデザイン力	時事について日本語である程度理解できるようになり、卒業後の進路の準備に役立てることができる。 ある一定レベルでプレゼンができる。	・授業への参加・態度	10% (ルーブリックに基づき数値化)
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験 50%のほか、上記に挙げた項目をルーブリック式で評価を行う。ルーブリック評価の内容は、初回の授業で開示、説明を行う。

授業を欠席等の場合には、授業のフォローや次回までの課題等を伝えるため、メールまたは Melly で必ず連絡すること。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション 活動1	授業の進め方、心構え、評価の方法について説明する。 授業の進め方に関しては、実際にテキストを用いながら流れと、毎回出す宿題箇所を確認する。 時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる	予習：事前にシラバスを読んでおく。 復習：授業で告知した課題
2回目	活動2、3	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
3回目	活動4、5	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解	予習・復習：授業内で告知する。

		15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	
4回目	活動6、7	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
5回目	活動8、9	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
6回目	活動10、11	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
7回目	活動12、13	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。

8回目	活動 14、15	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
9回目	活動 16、17	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
10回目	活動 18、19	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	
11回目	活動 20、21	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
12回目	活動 22、23	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる	予習・復習：授業内で告知する。

		※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	
13回目	活動 24、25	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
14回目	活動 26、27	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
15回目	活動 28、29	時事教材（新聞等の生教材）の配布 30分 教材の理解 15分 自分の意見をシートにまとめる 20分 ディスカッション 15分 「時事・研究ノート」にまとめる ※2 コマ続きの授業のため、1回の授業で2つの時事を扱う（予定）	予習・復習：授業内で告知する。
16回目	定期試験	グループ発表（予定）	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	時事問題を扱った生教材
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	予習ができていることを前提として授業を進めるので、事前にしっかり準備してくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。

備考・メッセージ

さまざまな時事問題を扱うので、一つ一つに興味を持ち、授業に臨んで欲しい。日本と自国、自国と世界を比べながらグローバルな見識を広げましょう。
※本授業に関する連絡（休講や補講など）は学科の掲示板で行います。

講義科目名称：キャリアガイダンス	授業コード：21151
英文科目名称：Career Guidance	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2	必修	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>・この授業はキャリアデザイン力を身につけることを目的としている。2年間の学修成果を活用したキャリアデザインに取り組むことができることを到達目標とする。</p> <p>・具体的には、①自己理解をし、自分について説明することができる、②社会理解を行い、2年後の進路選択をする上でどのような力が必要かを知る、③その後に体験するギャップイヤーに備え、長期学外学修で何を学ぶのかについて整理する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力	<p>・自己理解を通して、自分自身について説明できるようになる。</p> <p>・職業理解を通して、自分の生き方やパーソナリティと適職について説明できるようになる。</p>	<p>・授業への参加・態度</p> <p>・課題提出</p> <p>・プレゼンテーション</p>	<p>10%</p> <p>80%</p> <p>10%</p>
合計			100%
補足事項			
<p>・本講義では、1stQ終了時の課題の中間提出（40%）、2ndQ終了時の課題の最終提出（40%）、最終回授業でのプレゼンテーション（10%）、授業への参加・態度10%の割合で評価する。</p> <p>・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	ガイダンス この授業がめざすもの	・この授業が、キャリアをデザインする上でどのような役割を果たすのかについて理解す	予習：シラバスを読み、キャリアについて調べる。

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 	
2回目	客観的な自分のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：ありたい自分を再度確認する</p>
3回目	自分の行動特徴（エゴグラム）	<ul style="list-style-type: none"> ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を知る。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリ ウィンドウについて学ぶ。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：自我についてまとめておく</p>
4回目	自分のパーソナリティと適職の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな職業について説明する ・興味のある職業調べを行う。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：自分の知らなかった職業についてまとめておく</p>
5回目	自分の生き方と職業の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：自分の価値観についてまとめる</p>
6回目	キャリア選択のバリアの正体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方のクセに気づく。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：自分の一番のこだわりについて確認する。</p>
7回目	キャリア選択のバリアの克服法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い込みについて考え、その思い込みについて修正を試みる。 ・自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：思い込みの克服法についてまとめておく。</p>
8回目	今までのライフスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返り、ライフラインを書いてみる。 ・影響のあった出来事や人物について書き出し、どんな影響を受けたのかについてまとめる。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：一番大切だと思ったエピソードについてまとめる</p>
9回目	ライフスタイルと職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考える。 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p> <p>復習：勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。</p>
10回目	キャリアレインボーを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごと 	<p>予習：この1週間の就職に関連する記事調べる</p>

		にまとめ、行動目標を作る	復習：一番自分が生き生きしている年代をイメージし言葉にする。
11回目	仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定	・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。	予習：この1週間の就職に関連する記事調べる 復習：具体的な目標の実現のためにまず何に取り組むか決定する。
12回目	就職の意志決定	・企業情報を自分で調べてシートにまとめる。	予習：この1週間の就職に関連する記事調べる 復習：授業で調べられなかった企業についてまとめる。
13回目	自分情報	・自分情報シートについてまとめてみる。	予習：この1週間の就職に関連する記事調べる 復習：シートを完成させる。
14回目	5年後と10年後の自分	・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプランを自分で計画する	予習：この1週間の就職に関連する記事調べる 復習：就活のポイントについてまとめておく。
15回目	未来の自分をプレゼンする	・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる	予習：この1週間の就職に関連する記事調べる 復習：ギャップイヤーでどんな体験をしたいか、まとめる。
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 ・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。

備考・メッセージ

就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

講義科目名称:キャリアガイダンス	授業コード:302010
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
中里 亜希子・園田 靖				

授業概要	<p>本授業では、卒業後の進路を見据え、多様な進路を思い描くワークを通して、学生自ら進みたい進路を探し決定するための準備を行う。まず、短期大学へ入学する前までの自分を振り返る。次に、残りの短期大学生活を通して学べることや体験できることを、自分の将来(キャリア)にどのように生かすかを考える。最後に、各自が望む道を進む準備に取り組む。これらの活動を通して、学生は、一人でも自分のキャリアに対して真摯に取り組む姿勢を身につけることができるようになる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した振る舞いができる。	スピーチ	10%
専門的知識や技能	日常生活をはじめ、多様な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し対応することができる。	発表	20%
異文化知識・対応能力	自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。	振り返りシート	10%
課題解決能力	目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案し、課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、行動できる。	グループワーク ペアワーク	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解し、具体的に考え行動することができる。	活動シート	40%
合計			100%
補足事項			
<p>本授業では、活動シート 40%、発表、グループワーク及びペアワーク 20%、スピーチ、振り返りシート 10%で評価する。</p> <p>・振り返りシートや、活動シートは記入後提出する。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、授業の目標、授業におけるルールの説明	
2回目	自己理解①	客観的な自分のイメージ ・自己認識をする ・理想の自己のイメージについて考える	
3回目	自己理解②	自分を取り巻く環境を考える ・就職事情の今 ・進学は今	親世代との時代のギャップを考える
4回目	自己理解③	過去・現在を考える ・自分にとって大切なものは何かについて考える	ライフラインシート作成
5回目	自己理解④	現在・未来を考える ・毎日の生活から、自分の行動を振り返る。 ・自分のくせを知る	ライフラインシート作成・完成
6回目	自分を伝える①	準備 ・取り扱い説明書に書く項目を考える(質問を考える)	「取扱説明書」はPPTで作成
7回目	自分を伝える②	作成 ・書く項目ごとに、書き方や内容を考える	「取扱説明書」はPPTで作成
8回目	自分を伝える③	完成① ・自分の「取扱説明書」を完成させ、発表の準備をする	「取扱説明書」はPPTで作成
9回目	自分を伝える④	完成② ・取扱説明書を使って、グループ内で発表し、修正・訂正をいれ完成させる	「取扱説明書」はPPTで作成
10回目	自己を見つめる①	履歴書作成 ・進学や就職など各自の望む進路にあわせた履歴書を書いてみる	履歴書は各所定の用紙に手書きする
11回目	自己を見つめる②	履歴書作成 ・同じ進路を考えるクラスメイトとともに、履歴書の分析やアドバイスを行う。	履歴書は各所定の用紙に手書きする
12回目	自己を見つめる③	履歴書完成	履歴書は各所定の用紙に手書きする
13回目	未来をつくる①	残りの学校生活をどのように過ごすか・過ごしたいかを考える	未来マップ作り
14回目	未来をつくる②	就職活動・進学活動のアクションプランを考える	未来マップ作り

15 回目	未来をつくる③	見えてきた自分の未来像を言葉にして伝える原稿を書き、発表練習をする	未来マップ完成提出
16 回目	定期試験	一分間スピーチ+筆記試験	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	適宜プリントなどを配布する
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	自分の将来について待っているだけではおすすめしません。周りの人に聞いたり、自分で調べたり、積極的に行動してください。「できませんでした」は「しませんでした」と同じです。「できる・できない」を考える前に、何か一步踏み出し取り組みましょう。方法を見つけましょう。

講義科目名称：ビジネス文書	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	<p>サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表す方法を身につける。</p> <p>サービススタッフとして必要な専門的知識を養う。サービス接遇検定の合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	サービススタッフとして必要とされる資質を構築する	筆記試験	90%
確かな専門的知識や技能	サービススタッフが持つ専門的知識や技能を理解できる		
コミュニケーション能力	社会常識をもって公の場にふさわしい態度(言葉遣いや話し方)を身につけることができる		
課題解決能力	サービス接遇検定試験 2 級の合格を目指す		
主体的に学ぶ力	サービス接遇検定試験 2 級を取得し、さらび上級を目指す	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義のすすめ方・サービス接遇検定について	

2回目	おもてなしの心とは	「サービス」と「接遇」について理解する	予習:「サービス」と「接遇」について考えておく 復習:講義内容の確認
3回目	サービススタッフの資質	必要とされる要件を説明する	予習:前回の講義の確認 復習:配布プリントを解く
4回目	サービススタッフの資質	従業要件を理解する	予習:サービススタッフについて考えておく 復習:配布プリントを解く
5回目	専門・知識	サービス知識の説明	予習:前回の講義の確認 復習:配布プリントを解く
6回目	専門知識	商業用語・経済用語を理解する	予習:配布プリントを解く 復習:講義内容の確認
7回目	一般知識	社会常識を理解する	予習:社会常識について考えておく 復習:配布プリントを解く
8回目	対人技能	人間関係・対人心理を説明する	予習:配布プリントを解く 復習:講義内容の確認
9回目	対人技能	接遇知識を説明する	予習:配布プリントを遠く 復習:講義内容の確認
10回目	対人技能	接遇用語を理解する	予習:接遇用語を確認しておく 復習:配布問題を解く
11回目	実務技能	問題処理(苦情や問い合わせ)について説明する	予習:苦情について考えておく 復習:配布プリントを解く
12回目	実務技能	環境整備について説明する	予習:配布プリントを解く 復習:講義内容の確認
13回目	実務技能	社交儀礼について説明する	予習:マナーテキストブックを読み返す 復習:配布プリントを解く
14回目	総まとめ(講義の振り返り)	総合問題を解く(解答・解説)	予習、復習:総合問題プリントを解く
15回目	最終対策問題	総合問題を解く(解答・解説)	予習、復習:総合問題プリントを解く
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	サービス接遇検定2級に必要な事項・問題のプリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型を整えて出席すること
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：実践ビジネスマナー	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q、2Q	1年	1単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身につける。社会人として必要なビジネスマナー、日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・良識を持ち、相手に対する思いやりの心（気持）を素直に表現することができる	筆記試験 実技試験	75% 20%
確かな専門的知識や技能	・社交儀礼の業務について理解し活用できる ・接遇用語を理解し活用できる		
コミュニケーション能力	・さまざまな価値観の人と共に生きていく（仕事をする）上で必要とされるコミュニケーション力を身につけることができる ・人間関係の対処について理解できる		
課題解決能力	・顧客心理を理解し、能力を発揮できる		
主体的に学ぶ力	・ビジネスマナーを身につけることが、社会人として相手から信頼され、仕事を円滑に進められることを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義の進め方、心構えについて説明する	予習：マナーテキストブック全体に目を通す 復習：次回の学習ページ（P.25）を確認する
2回目	人間関係は挨拶から	挨拶の持つ意味、心地よい人間関係をつくる方法を理解する	予習：人間関係について考えてみる 復習：マナーテキストブック（P.25）を読み直す
3回目	美しい立ち居振る舞い	笑顔の演出、好感の持てる挨拶のしかたを説明する	予習：笑顔の必要性について考える 復習：講義内容を確認する
4回目	身だしなみについて	身だしなみで誠実度が見抜かれることを説明する	予習：身だしなみについて考えてみる 復習：自分自身の身だしなみチェックをする
5回目	来客応対	来客の先導・ドアの開閉・席次について説明する	予習：マナーテキストブック（P40.P41.P43）に目を通す 復習：講義内容を確認する
6回目	和室でのマナー	訪問とおもてなしのマナー・座布団のマナー・和室の席次について説明する	予習：マナーテキストブック（P1.P2.P3.P4）を読む 復習：講義内容を確認する
7回目	招待状の返事の書き方	招待状の出席・欠席の返事の書き方のマナーを説明する	予習：マナーテキストブック（P5.P6）を読む 復習：返信ハガキの書き方を練習してみる
8回目	冠婚葬祭のマナー	慶弔の服装・祝儀・不祝儀袋の書き方を説明する	予習：マナーテキストブック（P7.P8.P12.P13）を読む 復習：祝儀、不祝儀袋の書き方を練習してみる
9回目	冠婚葬祭のマナー	贈り物のマナー、お見舞いのマナー、賀寿祝いについて説明する	予習：マナーテキストブック（P16.P17.P21.P22）を読

			む 復習：講義内容を確認する
10 回目	言葉遣い	正しい敬語の遣い方を説明する	予習：マナーテキストブック (P52) を読む 復習：配布プリントを読み返す
11 回目	言葉遣い	ビジネスの言葉遣い・接遇用語の説明	予習：マナーテキストブック (P53) を読む 復習：配布プリントを読み返す
12 回目	電話応対	ビジネスでの電話応対の重要性について説明する	予習：マナーテキストブック (P46.P47.P48.P49) を読む 復習：講義内容の確認
13 回目	電話応対	(I) 基礎編 ロールプレイング	予習：マナーテキストブック (P50) を読む 復習：基礎編を練習する
14 回目	電話応対	(II) 応用編 ロールプレイング	予習：マナーテキストブック (P51) 復習：応用編の練習をする
15 回目	講義の振り返り (総まとめ)	これまでの講義内容を振り返る・丁寧な挨拶の実技	予習：マナーテキストブック全体を読み返す 復習：いつでも丁寧な挨拶が出来るように練習する
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスマナーに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）・髪型をきちんと整えて講義に出席すること（スリッパ不可）
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称:実践ビジネスマナー	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
中里 亜希子				

授業概要	日本のビジネスマナーの基礎を学ぶ。日本の『おもてなしの心』を学ぶことで、相手を尊重し、敬意をもって人と接するための「気配り」「心くばり」の自覚を促す。また、日本で直面した小さなトラブルや問題をクラスメイトとシェアし、対応策を考える。卒業して求められる社会人基礎力をもとに、学生個々人の力を伸ばすことを目的とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した振る舞いができる	実技テスト	20%
専門的知識や技能	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し行動できる。	感想文	10%
異文化知識・対応能力	自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようと試みることができる。	小テスト	20%
課題解決能力	自分のやり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、ふるまうことができる。	グループワーク	40%
キャリアデザイン力	授業内容が各自の進路に必要であることを理解し、具体的に考え行動できる。	振り返りシート	10%
合計			100%

補足事項

この授業の評価方法は、感想文・振り返りシート 10%、グループワーク 40%、小テスト・実技テスト 20%で評価する。

グループワークでは、積極的に自分の振る舞いを見直し改善することと、友達の振る舞いにも気を配りアドバイスができるように真摯に取り組む姿勢を見る。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法などを伝える。 「マナーってなに？」をクラスみんなで考えてみる。	【宿題】 日本で驚いたことを探してくる
2回目	グループワーク①	「日本で驚いたこと」について話し合い、発表する。自国の文化との違いをシェアする。	【宿題】 日本で困ったことを探してくる
3回目	グループワーク②	「困ったこと」を解決するための振る舞いについて考える。	【宿題】 知っているマナーをまとめる
4回目	ペアワーク①	「知っているマナー」について、ペアワークでやってみる。どんな気持ちで行動しているのかを考えてみる。	【宿題】 授業で学んだマナーを練習する。自国のマナーを考えてくる
5回目	あいさつ①	人間関係の基本「あいさつ」を考える あいさつの言葉、動作をシェアする。そのときの気持ちはどうかを考える。	【復習】プリント学習
6回目	あいさつ②	あいさつ①で学んだことを実践してみる。 各自の表情、ふるまい、行動の意図がきちんと伝えられているか、伝わっているかを確認する。	【復習】プリント学習
7回目	実技テスト	印象のよい挨拶とその後の会話	
8回目	言葉遣い①	友人や親しい間柄の人とのあいさつ	【復習】プリント学習
9回目	言葉遣い②	敬語：年上の方、初対面の方とのあいさつ	【復習】プリント学習
10回目	言葉遣い③	敬語：ビジネスシーン・接客用語など	【復習】プリント学習
11回目	筆記テスト	場面に合った言葉遣いができるかどうかについての筆記試験	
12回目	ペアワーク②	振り返り：筆記テスト・実技テストを振り返る。1回目と今との違いを感じる。	【復習】プリント学習
13回目	面接指導①	グループワーク：面接での立ち居振る舞い	【復習】プリント学習
14回目	面接指導②	グループワーク：ロールプレイング 受験者と面接官の役割を理解し、実際に体験する。	
15回目	総まとめ	グループワーク：発表・振り返り	
16回目	定期試験	実技テスト・筆記テスト	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	適宜プリント配布 【参考書】『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』図書刊行会
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は、授業前に知らせてください。
オフィスアワー	授業前後で対応する。
備考・メッセージ	アルバイト・就職活動・進学準備等に必要な学びです。積極的に行動し、クラスメイトに迷惑をかけず協力しながら学んで下さい。

講義科目名称：実践ビジネスマナー 留学生	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ・4thQ	1年（留学生）	1単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	日本のビジネスマナーの基礎を学ぶ。日本の『おもてなしの心』を学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための「気配り」「気働き」「心くばり」の自覚を促す。国際社会で、また日本社会でのグローバルな
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・良識を持ち、相手に対する素直に表現することができる	筆記 実技	70% 20%
確かな専門的知識や技能	・日本語で接客用語を学び活用できる ・日本語で電話対応の基礎を学ぶ ・来客対応を学んで活用できる		
コミュニケーション能力	・日本での面接（アルバイト・就職）時に日本語で自分自身を表現できる ・さまざまな価値観の人と共に生きて（仕事をする）うえで必要とされるコミュニケーションを身につける		
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	・自ら考えて、学ぶ目標を明確にすることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業のすすめ方について、内容について説明する	予習：日本語で自己紹介の準備をしておく 復習：配布プリントを読む

2回目	人間関係は挨拶から	好感もてる日本の挨拶のしかた	予習：配布プリントを見返す 復習：きちんとした日本の挨拶の練習をする
3回目	日本の「おもてなし」について	日本の「おもてなしの心」とは	予習：配布プリントを読んでおく 復習：講義内容を確認する
4回目	美しい立ち居振る舞い	好感もてる立ち居振る舞いと笑顔の演出のしかた	予習：笑顔で挨拶の練習 復習：講義内容を確認する
5回目	言葉遣い	正しい敬語の遣い方	予習：配布プリントを読んでおく 復習：配布問題プリントを解く
6回目	言葉遣い	接客用語（ロールプレイング）	予習：配布プリントを読んでおく 復習：講義内容の確認と練習
7回目	面接指導	面接での立ち居振る舞い	予習：配布プリントに目を通す 復習：立ち居振る舞いの練習をする
8回目	面接指導	面接での質疑応答について	予習：配布プリントに目を通す 復習：講義内容の確認
9回目	面接指導	面接での質疑応答（ロールプレイング）	予習：質問に答えられるよう練習する 復習：指摘された点を再確認する
10回目	電話応対	日本のビジネス電話応対についての説明	予習：配布プリントを読んでおく 復習：講義内容の確認
11回目	電話応対	（I）基礎編	予習：配布プリントを読んでおく 復習：電話応対の練習をする
12回目	来客応対	日本での来客応対について説明	予習：配布プリントを読んでおく 復習：講義内容の確認

13 回目	来客応対	案内のしかた・洋室での席次	予習：配布プリント α を読んでおく 復習：講義内容の確認
14 回目	来客応対	日本の名刺交換（ロールプレイング）	予習：配布プリント α を読んでおく 復習：名刺交換の練習をする
15 回目	実技	好感のもてる挨拶・立ち居振る舞い	予習：挨拶と立ち居振る舞いの練習をしておく
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	配布プリント(当日の使用プリントを前の講義後に配布する)
履修条件	日本語が理解できる
履修上の注意	ビジネスマナーを学ぶに相応しい身形
オフィスアワー	講義の前後
備考・メッセージ	

講義科目名称：ホテル業論	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
松井 英治				

授業概要	① 基本的なホテル業務内容および日本のホテル業の歴史を学ぶ ② 国内および外資系ホテルチェーンについて学ぶ ③ 今後のインターンシップ等に活かせることを学ぶ
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	・めざましい発展をするホテル産業 について学ぶことができる	・定期試験	60点
コミュニケーション 能力	・日本および海外のホテルチェーン について、グループ研究して確実な発 表を遂行できる	・グループディスカッ ション ・グループによるプレ ゼンテーション	15点
課題解決能力	・ホテルでの実務体験を通してレポ ートを作成できる	・レポート	20点
主体的に学ぶ力	・ホテルの構造を理解することで、ホ テルを身近に感じることができる	・授業への参加・態度	5点
出席			受験要件
合計			100点
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーショ ン	授業の構成と方法、成績評価方法など について説明する	(予) シラバスを読んでお く

2回目	ホテルの仕事とは	基本的なホテルの仕事と構造について学ぶ	(予) ホテルオークラJRハウステンボスのホームページを見ておく
3回目	ホテル実務体験	ホテルの館内を見学する	
4回目	ホテル実務体験	ベッドメイクを体験する	(復) レポート提出
5回目	ホテルの歴史	日本のホテルにおけるホテルの歴史について学ぶ	
6回目	ホテルブライダルとは	ホテルブライダルの組織や概要を理解する	(予) ホテルオークラJRハウステンボスのホームページを見ておく
7回目	ホテル実務体験	ブライダル関連の施設を見学する	
8回目	ホテル実務体験	模擬デモンストレーションを体験する	(復) レポート提出
9回目	ホテルの業態	ホテルの経営特性や、どのように運営・分類されているか学ぶ	
10回目	ホテル業界用語	ホテルでの業界用語や和製英語について学ぶ	
11回目	ホテルのチェーンとは	国内・外資系ホテルチェーンについて学ぶ	
12回目	グループディスカッション	グループ分けして、国内・外資系ホテルチェーンについて研究する	
13回目	グループディスカッション	パワーポイントにてプレゼンテーション資料を作成する	
14回目	プレゼンテーション	グループにて役割分担して、時間内にプレゼンする	
15回目	授業の振り返り	これまでの授業内容を振り返る	(復) 各プリントを持参する
16回目	定期試験	持ち込みなしの記述式筆記試験	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	当日プリント配布・参考書なし
履修条件	なし
履修上の注意	ホテル実務体験の際は制服着用
オフィスアワー	授業終了後に声かけください
備考・メッセージ	ホテルの専門用語が出るかもしれませんが、その都度、質問してください

講義科目名称：ホスピタリティビジネス	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ・8thQ	2年	2単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	一年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。授業内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	就職面接時に自分の気持ちを素直に表現できる	筆記試験 実技試験	60% 35%
確かな専門的知識 や技能	・就職面接時に向けての好感のもてる立ち居振る舞いを身につけることができる。 ・感じの良い電話応対を身につけることができる		
コミュニケーション能力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につけることができる		
課題解決能力			
主体的に学ぶ力		授業への参加、態度	5%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	言葉遣い	正しい敬語の遣い方（復習編）、就職面接時の言葉遣い	予習：一年生の時に使用したマナーテキストブックを読み返す 復習：正しい敬語の遣い方を確認する
2回目	面接指導	・就職面接での好感のもてる立ち居振る舞い ・就職面接に向けての身だしなみ	予習：マナーテキストブックを読み返す 復習：立ち居振る舞いの練習をする
3回目	面接指導	ロールプレイング（Ⅰ）	予習：言葉遣い・立ち居振る舞いの練習をする 復習：指摘された点を再確認する
4回目	面接指導	ロールプレイング（Ⅱ）	予習：質疑応答の練習をしておく 復習：指摘された点を再確認する
5回目	電話応対	復習編	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：講義内容を確認する
6回目	電話応対	応用編（Ⅰ）	予習：実習内容を確認しておく 復習：実習編（Ⅰ）の練習
7回目	電話応対	応用編（Ⅱ）	予習：実習内容を確認しておく 復習：実習編（Ⅱ）の練習
8回目	冠婚葬祭のマナー	復習編	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：講義内容を確認する
9回目	冠婚葬祭のマナー	お参りの仕方	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：ロールプレイングを試してみる
10回目	来客応対	復習編	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：講義内容を確認する
11回目	来客応対	席次について	予習：マナーテキストブック

			クを読み直す 復習：配布されたプリントを確認する
12 回目	来客応対	ロールプレイング（来客の先導）	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：配布されたプリントを確認する
13 回目	名刺交換	ロールプレイング（名刺交換）	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：ロールプレイングの確認をする
14 回目	お茶の淹れ方、出し方、いただき方	ロールプレイング（お茶の出し方・いただき方）	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：自分でお茶を淹れ、いただいてみる
15 回目	テーブルマナー	洋食のマナー（ホテルにて実食）	予習：マナーテキストブックを読み直す 復習：テーブルマナーの確認
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしく身だしなみを整える（髪型・くつ）
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

グローバルリーダーシップ	授業コード：
英文科目名称： Global Leadership	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>実践グローバルリーダーシッププログラムに参加する前に、渡航先に関する知識や情報を学び、また、現地学生、教員に対して行うプレゼンテーションを作成、準備する。</p> <p>又、日本国内においては、留学生が中心となり、小学校、中学校、高校を訪問し自国の言語、文化、産業、観光などをプレゼンを行い、質疑に答えたりする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・ 地域を訪問するにあたり、綿密な計画を立て、十分な情報を集める事ができる。	レポート評価	70%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・ 現地でのプレゼンテーションを準備できる。	プレゼンテーション	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生と交流を行うため、自分意見をしっかり述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可

備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むことができるもの。
----------	---

講義科目名称:グローバルリーダーシップ	授業コード:
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4rdQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
岩崎 千恵 園田 靖 中里 亜希子				

授業概要	<p>本授業は、生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じ、と同時に、学生主体で活動を行うことでグローバルな感覚を持ったリーダーシップの育成も行う。</p> <p>次の学年に進む前に、1年間を振り返り、どのような活動をしたのか、それが各自の学生生活をどのように作ってきているのかを考えまとめる。それを、次の学年に伝えるための準備を行う。この授業は、翌年5Q6Qには実際に1年生に伝え、リーダーシップを必要とする活動につながる。社会人基礎力における、「前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力」を育成することを目的とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	発表	30%
専門的知識や技能	自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し行動する。	グループワーク	40%
異文化知識・対応能力	自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようと試みることができる。	振り返りシート	10%
課題解決能力	目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案することができ、課題解決におけた行動ができる。それらの一連の行動を文章にして第三者がわかりやすいように伝えることができる。	レポート	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

本授業の評価は、グループワーク 40%、発表 30%、レポート 20%、振り返りシート 10%である。発表は、グループと個人とする二回ある。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法などの説明、授業の目的など共有する	【宿題】 1Q~3Q を振り返るシートを作成
2 回目	準備活動	1Q~3Q の間に学んだこと、身につけたことを振り返り、振り返りシートとして作成し、ペアワークで振り返る	【宿題】 振り返りシートを完成させる。
3 回目	チームビルディング ①	外部講師による『チームビルディング研修』を実施	【宿題】 研修についてレポート作成
4 回目	チームビルディング ②	①によってできたチームで分かれ、研修の振り返る	
5 回目	チーム活動 A①	企画 A:チームビルディング 『2 年生の卒業を祝う行事』作り	チーム別に作業・活動
6 回目	チーム活動 A②	チーム別に作業・活動	チーム別に作業・活動
7 回目	チーム活動 A③	『2 年生の卒業を祝う行事』 プレゼンテーションコンテスト 優勝チームが他のチームへの役割を指示	チーム別に作業・活動
8 回目	チーム活動 A④	2 年生の卒業を祝う行事を実施	チーム別に作業・活動
9 回目	チーム活動 A⑤	行事の振り返り・チーム活動の振り返り、発表	チーム別に作業・活動
10 回目	チーム活動 B①	企画 B:チームビルディング 『新入生オリエンテーション』実施	チーム別に作業・活動
11 回目	チーム活動 B②	チーム別に作業・活動	
12 回目	チーム活動 B③	まとめ、リハーサル	
13 回目	個人活動①	本授業でのまとめ資料を作成	
14 回目	個人活動②	本授業でのまとめ資料を作成	
15 回目	個人活動③	全体での振り返り、まとめ資料提出	
16 回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	他者を思いやる気持ちをもって参加してください。
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に必ず連絡してください。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	授業時間外での個人活動・チーム活動が多くあります。各自の時間コントロール、スケジュール調整にも注意してください。

実践グローバルリーダーシップ	授業コード：
英文科目名称： Practical Global Leadership	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じる。同時に、学生が主体的に交流活動を行うことで、グローバルな感覚を持ったリーダーの育成も行う。</p> <p><u>平成28年度</u>は、<u>韓国の3つの大学を訪問し現地大学生と相互にプレゼンや意見交換を行った。</u>また、<u>現地日系企業を訪れ、業務内容を紹介していただき、異文化でのビジネスの難しさや、現地生活の楽しさなども講義していただいた。</u><u>平成29年度</u>は、<u>日本国内でも北（北海道）と南（長崎）という、気候も生活の仕方も異なる地域で生活する学生同士が、互いに「地域の観光、食、文化の紹介、自分達の大学紹介、自分たちのキャリアプランなど」についてプレゼンし、質問し合い、互いに学び感じ、刺激を受け合う国内研修を実施した。</u><u>平成30年度</u>は、<u>ミャンマーを訪問し、現地の日本語学校で日本語の模擬授業、現地学生と観光やグループワークなどを実施した。</u></p> <p>留学生も日本の小学校、中学校、高校などへ赴き、自国の文化や言語、観光資源などを紹介することも実施する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を訪問するにあたり、綿密な計画を立て、十分な情報を集める事ができる。 ・ 現地で効果的なプレゼンテーションと意見交換ができる。 ・ 現地の様々な情報を収集することができる。 	レポート評価	30%

異文化知識・対応能力	・現地の人たちと積極的にコミュニケーションができるようになる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・地域を訪問後、実施したプログラムを検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			

14 回目			
15 回目			
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称：児童英語教授法	授業コード：
英文科目名称：Teaching English to Children (GC)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5 6 Q	2 年			
担当教員				
ロベージュ ルーク Luc Roberge				

授業概要	<p>This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. Students will practice leading and designing songs, games and exercise. Also, focus will be on adapting and developing appropriate teaching materials. Students will acquire teaching skills through hands-on practice. Students will become familiar with popular EFL teaching resources. Students will also practice planning their own games and activities and presenting them to the class. One main focus of the course will be adapting print materials, such as children's books, for maximizing language acquisition. Students that excel at course work and peer-teaching will have the opportunity to teach at a pre-school or for an elementary-aged English program.</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	Students will be introduced to the basics of EFL teaching in Japan: curriculum, lesson planning, task planning, language acquisition, teaching materials.	Classwork	20%
確かな専門的知識 や技能	Students will work in groups to teach songs, learning tasks, games, flash cards and books.	Mini Teaching	20%
コミュニケーション能力	Students will work in groups to teach songs, learning tasks, games, flash cards and books.	Mini Teaching	20%
課題解決能力	Students will work on book reading project and will develop and deliver a story with the purpose of fostering	Mini Teaching	20%

	EFL language acquisition.		
主体的に学ぶ力	Students will work on book reading project and will develop and deliver a story with the purpose of fostering EFL language acquisition.		20%
合計			100%
補足事項			
Classwork 20%, Flashcards 10%, Flash card – teaching 10%, Song teaching 10%, Book Reading 25%, group project 25%.			
Students will be required to access class materials via NJC Qlearn. For this, they will need to register which requires a GMAIL account.			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	Introduction to the course	The course, learning goals, expectations, and evaluation will explained. Students will register for an NJC Qlearn account and register for the course.	Students should make a Gmail Account prior to coming to class.
2 回目	Learning Groups and Curriculum	Students will make learning groups. To gain a greater understanding of curriculum development, students will develop an EFL language curriculum plan and discuss rationale	Students should register for NJC Qlearn, prior to coming to class.
3 回目	Songs 1	Students will explore popular songs used for language learning. Students will learn to critically analyze song choices for teaching.	Students should review songs provided on NJC Qlearn.
4 回目	Songs 2	Students will explore popular songs used for language learning. Students will learn where to access songs and other resources that can be used in the language classroom	Students should review songs provided on NJC Qlearn.
5 回目	Songs 3	Students will learn, prepare and teach a song to their peers.	Students should prepare their song prior to class.
6 回目	Books 1	Students will explore popular children's	None

		books commonly used for English teaching in Japan. Students will focus on selecting books/ or adapting books to be age and language-level appropriate.	
7 回目	Books 2	The teacher will explain the book reading project. The focus of the project will be on selecting books/ or adapting books to be age and language-level appropriate. Students will practice using speaking qualities and other strategies to enhance language acquisition.	None
8 回目	Flash Cards 1	Students will explore the use of visual aids, specifically flash cards, to help in vocabulary acquisition. Students will explore strategies for maximizing student comprehension and vocabulary acquisition.	None
9 回目	Flash Cards 2	Students will choose target vocabulary and create their own effective teaching materials.	None
10 回目	Flash Cards 3	Students will peer teach using their own flash cards. Students will further explore effective use of flashcards.	Students should prepare their own flash cards as described in class. Students should also practice teaching target vocabulary using their original materials
11 回目	Games 1	Students will how games can be use to present, practice target language. Bingo, mystery box, memory	None
12 回目	Games 2	Students will how games can be used to present and practice target language. Bingo, mystery box, memory	None
13 回目	Course Work 1	Students will work finishing all class assignments and prepare for the book reading assignment.	None

14 回目	Course Work 2	Students will work finishing all class assignments and prepare for the book reading assignment.	Students should prepare and bring materials as necessary.
15 回目	4-Corner presentations	Students will read their books to peers using the 4-corner presentation format. Students will submit their book reading project, flashcards.	Students should be ready to read their book and submit all class work.
16 回目	定期試験	NONE	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	None
履修上の注意	
オフィスアワー	None (please contact me via email or schedule a meeting during the lunch period, prior to class)
備考・メッセージ	I'm looking forward to learning together

講義科目名称：日本語教授法	授業コード：
英文科目名称：Japanese Language Teaching Method	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5thQ、6thQ	2	2	選択	講義
担当教員				
小嶋 栄子				

授業概要	<p>本授業では、講義の他に留学生1年生の日本語の授業を参観したり彼らをサポートしたりすることを通じて日本語教授法の基礎を学び、下記の4つのことを目標とする。</p> <p>① 日本語の基本的な「音声」「語彙」「文法」を学ぶことによって、日本語を世界の言語の中の1つとして見ることができる。</p> <p>② 本学の留学生との交流を通じてその現状を知り、具体的な日本語教育の方法について考えることができる。</p> <p>③ ドリルを通して日本語の一般常識（漢字・慣用句など）を身につける。</p> <p>④ 日本語教師という職業・役割について理解することができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の基本的な「音声」「語彙」「文法」「文字・表記」の知識を身につける。 日本語授業の簡単な指導案を作って授業をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 レポート（指導案） 	<p>40%</p> <p>20%</p>
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 留学生と積極的に交流して、彼らの日本での生活をサポートしようとする姿勢を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加・態度 	15%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ドリルを解くことを通じて日本語の一般常識（漢字・慣用句など）を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストなど 	10%
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教師という職業・役割について理解することを通じて、自らのキャリア形成に活かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 	15%
合計			100%

補足事項

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	オリエンテーション	この授業の内容・展開を知る。 プレースメントテスト	復習：プレースメントテストの見直し 予習：日本の留学生の現状について調べておく。
2 回目	留学生と過ごす日々	「留学生と過ごす日々」のスライドを見て日本での留学生の生活について理解し、どのような支援ができるかを考える。 ドリル 1	復習：「留学生と過ごす日々」のスライドのメモを見直しておく。 予習：本学留学生の氏名と出身国等を調べておく。
3 回目	留学生との交流とサポート 1	留学生の授業を参観した後で交流し、留学生がどんなサポートを必要としているかを知り、それをまとめる。 ドリル 2	復習：サポートをまとめたものを読み返す。 予習：「言語としての日本語」のプリントを読んでおく。
4 回目	言語としての日本語	世界の諸言語の一つとして、日本語をさまざまな面からとらえなおす。 ドリル 3	復習：「言語としての日本語」のプリントを読み直す。 予習：「日本語の音声 1」のプリントを読んでおく。
5 回目	日本語の音声 1	日本語の音声のさまざまな側面についての特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 4	復習：「日本語の音声 1」のプリントを読み直す。 予習：J T E S T について調べておく。
6 回目	留学生との交流とサポート 1	J T E S T 受験を目指す留学生たちのサポートを通じて、「外国語としての日本語を学ぶ」ことについて考えてまとめる。 ドリル 5	復習：「外国語としての日本語を学ぶ」ことについてまとめたものを読み返す。 予習：「日本語の音声 2」のプリントを読んでおく。
7 回目	日本語の音声 2	日本語の音声のさまざまな側面についての特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 6	復習：「日本語の音声 2」のプリントを読み直す。 予習：「日本語の文法 1」のプリントを読んでおく。

8回目	日本語の文法 1	日本語の文法の特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 7	復習:「日本語の文法 1」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文法 2」のプリントを読んでおく。
9回目	日本語の文法 2	日本語の文法の特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 8	復習:「日本語の文法 2」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文法 3」のプリントを読んでおく。
10回目	日本語の文法 3	日本語の文法の特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 9	復習:「日本語の文法 3」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の語彙 1」のプリントを読んでおく。
11回目	日本語の語彙 1	日本語の語彙の種類や構成などの特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 10	復習:「日本語の語彙 1」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の語彙 2」のプリントを読んでおく。
12回目	日本語の語彙 2	日本語の語彙の種類や構成などの特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 11	復習:「日本語の語彙 2」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の語彙 3」のプリントを読んでおく。
13回目	日本語の語彙 3	日本語の語彙の種類や構成などの特徴を知り、その教え方を学ぶ。 ドリル 12	復習:「日本語の語彙 3」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文字・表記 1」のプリントを読んでおく。
14回目	日本語の文字・表記 1	日本語の「漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字」の表記の基準を知り、その教え方を学ぶ。	復習:「日本語の文字・表記 1」のプリントを読み直す。 予習:「日本語の文字・表記 2」のプリントを読んでおく。
15回目	日本語の文字・表記 2	日本語の「漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字」の表記の基準を知り、その教え方を学ぶ。	復習:「日本語の文字・表記 2」のプリントを読み直す。 予習: 定期試験の準備
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
------------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：プリントを配布する</p> <p>参考書：『新・はじめての日本語教育1』アスク出版 『日本語教授法1－14』国際交流基金</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	5thQ:水曜日3コマ目、6thQ:水曜日4コマ目
備考・メッセージ	<p>授業計画は、進捗状況や諸事情により前後することがあります。</p> <p>日本語教師を目指す人もそうでない人も、「国語」とは違う日本語のおもしろさを一緒に学びましょう。</p> <p>本授業に関する連絡は学科の掲示板で行います。</p>

講義科目名称：Awesome Sasebo！ I（準備・導入）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q・2Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
竹田英司				

授業概要	<p>長崎短期大学近郊の「有田町」「波佐見町」をフィールドとし、地方創生の取り組みを体感する。1年間に観光客が、260万人訪れる有田町（人口20,091人）と105万人訪れる波佐見町（人口14,818人）について、地域の稼ぐ力を再生する（＝地方創生）ためには何が必要かを検討する。</p> <p>情報・データ収集能力、プレゼンテーション能力を高めることはもちろん、フィールドワークを通じて、多様な人たちと接しコミュニケーション能力を高める。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	統計分析の手法が修得できる	アンケート調査の集計結果提出	10%
コミュニケーション能力	多国語に対応したアンケート調査が実施できる	アンケート調査の質問紙提出	10%
課題解決能力	地域の稼ぐ力を整理できる	成果発表の準備 成果発表の内容	25% 25%
主体的に学ぶ力	主体的にフィールドワークへ行くことができる	フィールドワーク参加率	30%
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	フィールドワーク準備 (情報収集)	グループ分けを行い、フィールドワークに向けて情報収集する	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
2回目	アンケート調査質問紙の作成	フィールドワークに向けてアンケート調査質問紙を作成する	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
3回目	地方創生と地域の稼ぐ力	地域の稼ぐ力を再生させる(=地方創生)ためには何が必要かを学ぶ	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
4回目	フィールドワーク 1	波佐見町でアンケート調査を行う	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
5回目	フィールドワーク 2	波佐見町でインタビュー調査を行う	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
6回目	フィールドワーク 3	有田町でアンケート調査を行う	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
7回目	フィールドワーク 4	有田町でインタビュー調査を行う	フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。
8回目	統計分析の修得 1	マーケティング調査とインタビューの結果を集計し記述統計を作成する	データ入力がスムーズにできるようにフィールドワークの結果を整理する。
9回目	統計分析の修得 2	マーケティング調査とインタビューの結果を集計し記述統計を作成する	データ入力がスムーズにできるようにフィールドワークの結果を整理する。
10回目	発表準備 1	成果発表の準備を通じて、プレゼンテーション能力を高める	第三者にわかりやすいプレゼンテーションを準備する。
11回目	発表準備 2	成果発表の準備を通じて、プレゼンテーション能力を高める	第三者にわかりやすいプレゼンテーションを準備する。
12回目	成果中間発表 1	成果発表を通じて、プレゼンテーション能力を高める	第三者にわかりやすいプレゼンテーションを準備する。
13回目	成果中間発表 2	成果発表を通じて、プレゼンテーション能力を高める	第三者にわかりやすいプレゼンテーションを準備する。
14回目	発表準備 3	成果発表の準備を通じて、プレゼ	第三者にわかりやすいプレゼ

		ンテーション能力を高める	ゼンテーションを準備する。
15回目	成果発表1	成果発表を通じて、プレゼンテーション能力を高める	第3者にわかりやすいプレゼンテーションを準備する。
16回目	成果発表2	成果発表を通じて、プレゼンテーション能力を高める	第3者にわかりやすいプレゼンテーションを準備する。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	学外でフィールドワークを行います
オフィスアワー	日時：金曜日（12:20-12:50） 場所：ラウンジ
備考・メッセージ	皆さんにとって、地方創生とは何でしょうか。私が考える地方創生とは、「地域の平均所得を上げること」です。そのためにまず必要なのが、「地域の稼ぐ力」です。地方には仕事がないと耳にしますが果たしてそうでしょうか。地域には魅力的な仕事があることを皆さんの目線で考えてください。

Awesome Sasebo! II (定着)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! II	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5 th Q	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の5項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%

キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、5つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、5項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	・プロジェクトの説明とグループ分 ・グループ内メンバーで第1回打合せ。	予習： 特になし 復習： パンフレットやインターネットからコース内容を見ておく
2回目	取材方法を学ぶ	インタビュー方法、動画撮影方法などの基本を学ぶ。	予習： パンフ等を目を通しておくこと 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
3回目	ホームページ作成方法を学ぶ	WordPress を使用し、HP の作成方法を学ぶ。	予習： 他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
4回目	ホームページへの記事掲載方法を学ぶ	ホームページへの記事の載せ方を学ぶ。	予習： 他大学のホームページも参考のために見ておくこと。 復習： 学んだポイントをノートにまとめておく。
5回目	地域行事への取組	地域行事とその取り組み、報告	予習： 自分の住む町の

		<p>書の作成方法について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に2行事以上に参加 ・写真付きレポートの作成（活動内容・感想）*余白標準設定で横書き、写真含む、A4、3-5枚、1行45文字x40列、文字数最大1800文字、フォント10.5 	<p>行事を調べておくこと。</p> <p>復習：学んだポイントをノートにまとめておく。</p>
6回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・担当のコース長との打合せ。 	<p>予習：コースの内容を調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
7回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
8回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
9回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
10回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
11回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコー 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p>

		スグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
12回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
13回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
14回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
15回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

Awesome Sasebo! III (応用)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! III	

授業概要	<p>以下の5項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別に実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、5つの学びの目的の達成を目指す。また、
 2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、5項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
2回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
3回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
4回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
5回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
6回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報を

		に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	ノートにまとめておく。
7回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
8回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
9回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
10回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
11回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
12回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
13回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめてお

		・地域活動状況連絡と活動報告	く。
14 回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
15 回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

Awesome Sasebo! IV (発展)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! IV	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 thQ	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の5項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり 	30%

キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、5つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、5項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元イベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
2回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
3回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
4回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>

5回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
6回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
7回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
8回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
9回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
10回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
11回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
12回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コー 	<p>予習：参考にアイディ</p>

		スグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	アを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
13回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
14回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
15回目	まとめの発表	今タームの進捗を発表する	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

Awesome Sasebo! V (完成)	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! V	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8thQ	2年	1単位	必修	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>以下の5項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・情報収集・まとめの力の向上 ・プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 ・言語運用能力(翻訳等)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・NJC 学生ホームページの充実度 ・インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極性 ・独創性 ・チームとしての 	30%

		まとめり	
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトのミッションとし、その過程で、5つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、5項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
2回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
3回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
4回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめてお</p>

		・地域活動状況連絡と活動報告	く。
5回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
6回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
7回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
8回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
9回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
10回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。
11回目	コース別活動	・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告	予習：参考にアイデアを調べておく。 復習：知り得た情報をノートにまとめておく。

12 回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
13 回目	コース別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「食物コースグループ」「介護コースグループ」「国コミコースグループ」「3ヶ町商店街コースグループ」に別れて活動。 ・地域活動状況連絡と活動報告 	<p>予習：参考にアイデアを調べておく。</p> <p>復習：知り得た情報をノートにまとめておく。</p>
14 回目	最終発表準備	最終発表のリハーサルを行う。	<p>予習：発表内容確認</p> <p>復習：確認後の修正</p>
15 回目	まとめの発表	各グループ、まとめのプレゼンテーション	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

ギャップイヤー事前指導	授業コード：
英文科目名称： Preparation Seminar for Gap Term	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>1st Quarter： ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービ斯拉ーニング」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。</p> <p>2nd Quarter： 1st Quarter に作成した計画に従って、以下のカテゴリ別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービ斯拉ーニング： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。	・活動計画書作成	30%

異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ・ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ・ギャップイヤーの活動に関する評価システム（活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために）を理解し、運用できる。 	・授業や活動への参加・態度	30%
キャリアデザイン力	・ギャップイヤーの活動計画を立て、プレゼンテーションができる。	・活動計画のプレゼンテーション	40%
合計			100%
補足事項			
<p>・「活動計画書作成」、「活動計画のプレゼンテーション」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価します。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤー概要説明 ・現時点での選択希望調査 	予習：特になし 復習：不明な点を確認する。
2回目	ポスタープレゼン	・前年度経験した2年生によるポスタープレゼンテーション	予習：先輩への質問を考えておく。 復習：先輩から聞いたことをメモに整理しておくこと。
3回目	長期留学の説明	・ニュージーランド有給インタ	予習：質問を考えてお

		<p>ンシップ説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングホリデー留学説明 	<p>く。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
4回目	準備・計画1	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
5回目	準備・計画2	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
6回目	インターンシップ説明	・国内有給インターンシップの説明	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
7回目	準備・計画3	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
8回目	準備・計画4	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
9回目	準備・計画5	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p> <p>復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。</p>
10回目	準備・計画6	ギャップで選択した活動の準備・計画	<p>予習：質問を考えておく。</p>

			復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
11 回目	職業理解 1	職業選択に関して（フレッシュワーク）	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
12 回目	職業理解 2	医療事務、エアライン、公務員	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
13 回目	活動計画書作成 1	各種書類作成	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
14 回目	活動計画書作成 2	各種書類作成	予習：質問を考えておく。 復習：聞いたことをメモに整理しておくこと。
15 回目	まとめ	口頭プレゼンテーション	予習：プレゼンの準備 復習：自分のプレゼンで指摘された項目をメモし、改善方法を書き出す。
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし

履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨むこと。

講義科目名称:ギャップイヤー事前指導	授業コード:302310
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年生	2単位	必修	講義
担当教員				
岩崎 千恵、園田 靖、中里 亜希子				

授業概要	生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じ、と同時に学生主体で活動を行うことで、短大生活に慣れ、クラスメイトともに学修生活を充実させることができるような行動ができる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え行動することを意識することができる	発表	10%
専門的知識や技能	日本語で、ごく基本的なあいさつや短い文章を書き、日常的表現と基本的な言い回しを理解することができる。	チームアクティビティ	50%
異文化知識・対応能力	他者とのかかわりによって表面的な自己が用いる文化的ルールを認識することができる。	感想文	10%
課題解決能力	自分の意見をうまく伝え、人の意見をうまく聞けるようになりたいという気持ちがあり、前向きに取り組むことができる。	振り返りシート	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の進め方、評価の仕方、授業内容を理解する。	

		2年生と交流し、お互いを知る。出身国に分かれてチーム活動の準備。	
2回目	国紹介準備	お互いの国紹介 流行っているもの(食べ物・飲み物・病気・ゲーム・音楽・その他など)、伝統楽器、伝統衣装、宗教、名新、ことわざ、クラスメイトに知ってほしいことなどを調べ、PPTにまとめる。	
3回目	発表	PPT発表『国別の紹介』	
4回目	外部講師による講座	外部講師『チームビルディング講座』 新たなチームアクティビティA	
5回目	チームアクティビティA	チームアクティビティ①オープンキャンパス 『留学生が佐世保生活を楽しむヒント』 キャンパス、学科、三ヶ町、四ヶ町、アルバイト、衣食住、スーパー、トラブルQ&Aなどの紹介動画制作で2年生の指示を受けて活動に参加。	
6回目	チームアクティビティA	チームアクティビティ②オープンキャンパス 『留学生が佐世保生活を楽しむヒント』 キャンパス、学科、三ヶ町、四ヶ町、アルバイト、衣食住、スーパー、トラブルQ&Aなどの紹介動画制作で2年生の指示を受けて活動に参加。	
7回目	チームアクティビティA	チームアクティビティ③オープンキャンパス 『留学生が佐世保生活を楽しむヒント』 キャンパス、学科、三ヶ町、四ヶ町、アルバイト、衣食住、スーパー、トラブルQ&Aなどの紹介動画制作で、自らの役割を果たす	
8回目	チームアクティビティA	チームアクティビティ④オープンキャンパス 『留学生が佐世保生活を楽しむヒント』 キャンパス、学科、三ヶ町、四ヶ町、アルバイト、衣食住、スーパー、トラブルQ&Aなどの紹介動画制作で、自らの役割をはたす	
9回目	チームアクティビティA: 動画発表リハーサル	オープンキャンパス用動画発表リハーサル	
10回目	動画発表会	発表後修正・訂正	
11回目	動画上映	最終発表	
12回目	動画字幕制作	動画字幕作成①	
13回目	動画字幕制作	動画字幕作成②訂正・修正→提出	
14回目	字幕付き動画上映	第三者による評価・各チーム反省会	
15回目	チームアクティビティB	宿泊研修事前準備①	

		1年生短期大学定着プロジェクト(宿泊研修)のプランニング:自分の役割を考えながら参加する。	
16回目	チームアクティビティB	宿泊研修事前準備② 日本のキャンプ研修、集団研修について学ぶ キャンプソングを習い、練習する。	
17回目	チームアクティビティB	宿泊研修事前準備③ 宿泊研修しおり制作に取り組む 2年生から指示を受けながら活動する	
18回目	チームアクティビティB	宿泊研修事前準備④ 宿泊研修しおり制作を終え、印刷する。 2年生から指示を受け、各チームでの活動を理解する。	
19回目	チームアクティビティB	宿泊研修事前準備⑤ 宿泊研修での役割を把握し、クラスメイトとともに確認作業をする。	
20回目	チームアクティビティB	最終打合せ・リハーサル(しおり配布)	
21回目	宿泊研修①	各チームによるプログラムの実施 →2年生と協力しながら行う	
22回目	宿泊研修②	各チームによるプログラムの実施 →2年生と協力しながら行う	
23回目	宿泊研修③	各チームによるプログラムの実施 →2年生と協力しながら行う	
24回目	宿泊研修④	各チームによるプログラムの実施 →2年生と協力しながら行う	
25回目	宿泊研修⑤	各チームによるプログラムの実施 →2年生と協力しながら行う	
26回目	宿泊研修⑥	各チームによるプログラムの実施 →2年生と協力しながら行う	
27回目	研修の振り返り①	各チームでの振り返りとまとめ →PPTでの発表準備	
28回目	研修の振り返り②	個人での振り返り・まとめ	
29回目	研修の振り返り③	振り返りシート完成	
30回目	総まとめ:発表	各チームによる発表	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・常に授業の進捗状況を把握し、自分の時間・スケジュールを調整し、クラスメイトと協力し活動するようにしてください。 ・予習復習は授業内で伝えます。
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	2年生の指示を受け、その指示に対して自分なりの考えをもって行動してください。

海外文化事情 I (アジア圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称: Foreign Culture Study I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>主に、韓国や中国・台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動をおこなう。滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験する。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%

キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。

履修条件	授業（遅刻・欠席数）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申し込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかかなり高くなることを理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。</p>

海外文化事情Ⅱ（英語圏短期研修）	授業コード：
英文科目名称： Foreign Culture StudyⅡ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラム。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験を行う。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。</p> <p>渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性がある。これまで、カナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ（ハワイ）、ニュージーランドへの研修を実施した。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報の収集方法や、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発 	プレゼンテーションの評価	30%

	表をおこなうことができる。		
キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	授業（遅刻・欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思をもっていること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日（14:50－18:00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が悪く、生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込み後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込みこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前には、先輩や、特に英語圏からの学生から現地情報を得て、有意義な研修になるように努めること。</p>

海外文化事情Ⅲ（中期留学）	授業コード：
英文科目名称： Foreign Culture Study Ⅲ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	6単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>海外に約3ヶ月間留学するプログラム。但し、希望者が少数の場合、渡航できない国もある。</p> <p>（英語圏）カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド （アジア圏）韓国、中国、台湾</p> <p>現地での授業内容（例） *留学する国や語学学校や大学により異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新入生歓迎オリエンテーション 2 プレイスメントテスト 3 語学学習（月～金、週30時間程度） 4 セルフスタディ（スーパーバイザ指導のもと） 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動（フィードトリップ、地域でのボランティア活動、等々） 7 学期末テスト（評価あり） 8 成績所及び修了証書授与
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要なとなる情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 	レポート評価	40%

	・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。		
異文化知識・対応能力	・姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			

13 回目			
14 回目			
15 回目			
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意志を持っている。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。</p>

講義科目名称：インターンシップ I	授業コード：
英文科目名称：Internship I	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】 就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】 与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】 インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】 自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

講義科目名称：インターンシップ II	授業コード：
英文科目名称：Internship II	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

講義科目名称：インターンシップ III	授業コード：
英文科目名称：Internship III	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

講義科目名称：インターンシップ IV	授業コード：
英文科目名称：Internship IV	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ	2年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎日、インターネット上の日誌に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

講義科目名称:実践 AS!サービスマーケティング I～II	授業コード:11252
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
牟田 美信、岩崎 千恵、中里 亜希子、園田 靖、青木 萌、李ゼウ				

授業概要	<p>この授業では、次の4項目を意識しながら以下の様々な校外活動に参加するものである。</p> <p>1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。</p> <p>2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。</p> <p>3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。</p> <p>4) チーム活動を通して達成する課題に対して主体的に学ぶ姿勢を養うこと。</p> <p>地域の例としては、西海市、佐世保市相浦地区、重尾地区などの教育機関や公民館での地域活動がある</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら適切に判断し、自分以外の誰かのために継続して行動できる	・授業への参加態度	20%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や画像を用いて、レイアウト的にも配慮した効果的なプレゼンテーション資料を作成できる ・日本語で自らの意志を表現・伝達し、相手とコミュニケーションが取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成物 ・活動への参加態度 	30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	目標に向かって自ら課題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して教員や、相手の協力を仰ぎながら対応する方法がわかり、実践することができる	・活動レポート	20%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業への参加態度 20%、作成物 30%、活動への参加態度 30%、活動レポート 20%、の割合で評価する
- ・質疑応答は、Melly 上で実施することもできる。Melly が使用できない場合は各担当の指示に従い、適当な連絡ツールを用いて質疑応答を行うものとする

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	「サービスマーケティング」とは何か。演習に取り組む前に 9/25	・この授業全体のガイダンスをした後、これまでの活動を確認する。 ・チームビルディング活動を通して、チーム内コミュニケーションを深める	㊦ シラバスを読んでおく ㊧ 授業内容を把握する
2 回目	演習① 「計画」 9/25	・10分読書 ・2年生から、それぞれの参加活動に関して発表を聞き、質疑応答を通して理解する ・活動記録シートの書き方を理解し、実行する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
3 回目	演習② 「紙芝居作成①」 9/28	・10分読書 ・チーム内で決定した紙芝居を作成するために、役割分担を行う。テキストに沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
4 回目	演習② 「紙芝居作成②」 9/28	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
5 回目	演習② 「紙芝居作成③」 10/2	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
6 回目	演習② 「紙芝居作成④」	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する

	10/2	・今日勉強したことを学習者同士で話す	
7回目	演習② 「紙芝居作成⑤」 10/5	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
8回目	演習② 「紙芝居作成⑥」 10/5	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
9回目	演習② 「紙芝居作成⑦」 10/9	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
10回目	演習② 「紙芝居作成⑧」 10/9	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
11回目	演習② 「紙芝居作成⑨」 10/12	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
12回目	演習② 「紙芝居作成⑩」 10/12	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
13回目	演習② 「紙芝居作成⑪」 10/14	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
14回目	演習② 「紙芝居作成⑫」	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成さ	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習

	10/14	せる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	し、活動記録シートに記録する
15回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習①」 10/16	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・2年生も観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
16回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習②」 10/16	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・2年生も観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
17回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習③」 10/19	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・互いに観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
18回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習④」 10/19	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・互いに観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
19回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習⑤」 10/23	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・2年生も観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
20回目	演習④ 「交流授業シラバス作成①」 10/23	・10分読書 ・派遣授業の15分シラバスの作成 ・2年生が行う昨年のプレゼンを見て、内容を掴む。質疑応答。 ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
21回目	演習④ 「交流授業シラバス作成①」 10/29	・10分読書 ・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
22回目	演習④	・10分読書	㊦配布資料を熟読する

	「交流授業シラバス作成②」 10/29	・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
23 回目	演習④ 「交流授業シラバス作成②」 10/30	・10分読書 ・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
24 回目	演習④ 「交流授業シラバス作成②」 10/30	・10分読書 ・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
25 回目	演習④	最終チェック	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
26 回目	学外活動①	教育施設へ交流授業実施①	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の活動内容を復習し、活動記録シートに記録する
27 回目			
28 回目	学外活動②	教育施設へ交流授業実施②	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の活動内容を復習し、活動記録シートに記録する
29 回目			
30 回目	学外活動③	教育施設へ交流授業実施③	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の活動内容を復習し、活動記録シートに記録する
32 回目			

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	配布資料
履修条件	チームワークを大切にすること
履修上の注意	USBを紛失しない
オフィスアワー	月曜日 13:30～14:30 それ以外の時間はメールで問い合わせてください
備考・メッセージ	期日をしっかりと守って、課題を仕上げましょう

講義科目名称:実践 AS!サービスマーケティング I～II	授業コード:11252
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
牟田 美信、岩崎 千恵、中里 亜希子、園田 靖、青木 萌、李ゼウ				

授業概要	<p>この授業では、次の4項目を意識しながら以下の様々な校外活動に参加するものである。</p> <p>1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。</p> <p>2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。</p> <p>3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。</p> <p>4) チーム活動を通して達成する課題に対して主体的に学ぶ姿勢を養うこと。</p> <p>地域の例としては、西海市、佐世保市相浦地区、重尾地区などの教育機関や公民館での地域活動がある</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら適切に判断し、自分以外の誰かのために継続して行動できる	・授業への参加態度	20%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や画像を用いて、レイアウト的にも配慮した効果的なプレゼンテーション資料を作成できる ・日本語で自らの意志を表現・伝達し、相手とコミュニケーションが取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成物 ・活動への参加態度 	30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	目標に向かって自ら課題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して教員や、相手の協力を仰ぎながら対応する方法がわかり、実践することができる	・活動レポート	20%
キャリアデザイン力			
出席			受験要件
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業への参加態度 20%、作成物 30%、活動への参加態度 30%、活動レポート 20%、の割合で評価する
- ・質疑応答は、Melly 上で実施することもできる。Melly が使用できない場合は各担当の指示に従い、適当な連絡ツールを用いて質疑応答を行うものとする

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	「サービスマーケティング」とは何か。演習に取り組む前に 9/25	・この授業全体のガイダンスをした後、これまでの活動を確認する。 ・チームビルディング活動を通して、チーム内コミュニケーションを深める	㊦ シラバスを読んでおく ㊧ 授業内容を把握する
2 回目	演習① 「計画」 9/25	・10分読書 ・2年生から、それぞれの参加活動に関して発表を聞き、質疑応答を通して理解する ・活動記録シートの書き方を理解し、実行する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
3 回目	演習② 「紙芝居作成①」 9/28	・10分読書 ・チーム内で決定した紙芝居を作成するために、役割分担を行う。テキストに沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
4 回目	演習② 「紙芝居作成②」 9/28	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
5 回目	演習② 「紙芝居作成③」 10/2	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
6 回目	演習② 「紙芝居作成④」	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する	㊦ 配布資料を熟読する ㊧ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する

	10/2	・今日勉強したことを学習者同士で話す	
7回目	演習② 「紙芝居作成⑤」 10/5	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
8回目	演習② 「紙芝居作成⑥」 10/5	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
9回目	演習② 「紙芝居作成⑦」 10/9	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
10回目	演習② 「紙芝居作成⑧」 10/9	・10分読書 ・2年生から、アドバイスをもらいながら紙芝居を作成する ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
11回目	演習② 「紙芝居作成⑨」 10/12	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
12回目	演習② 「紙芝居作成⑩」 10/12	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
13回目	演習② 「紙芝居作成⑪」 10/14	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成させる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
14回目	演習② 「紙芝居作成⑫」	・10分読書 ・チーム内で役割分担に沿って、絵を完成さ	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習

	10/14	せる ・活動記録シートに記録する ・今日勉強したことを学習者同士で話す	し、活動記録シートに記録する
15回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習①」 10/16	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・2年生も観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
16回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習②」 10/16	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・2年生も観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
17回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習③」 10/19	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・互いに観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
18回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習④」 10/19	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・互いに観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
19回目	演習③ 「紙芝居プレゼン練習⑤」 10/23	・10分読書 ・チーム内で完成した紙芝居を用いてプレゼンテーション ・2年生も観客となって感想を言い合う ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
20回目	演習④ 「交流授業シラバス作成①」 10/23	・10分読書 ・派遣授業の15分シラバスの作成 ・2年生が行う昨年のプレゼンを見て、内容を掴む。質疑応答。 ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
21回目	演習④ 「交流授業シラバス作成①」 10/29	・10分読書 ・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦配布資料を熟読する ㊧本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
22回目	演習④	・10分読書	㊦配布資料を熟読する

	「交流授業シラバス作成②」 10/29	・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
23 回目	演習④ 「交流授業シラバス作成②」 10/30	・10分読書 ・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
24 回目	演習④ 「交流授業シラバス作成②」 10/30	・10分読書 ・交流派遣授業の15分シラバスの作成 ・準備 ・活動記録シートに記録する	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
25 回目	演習④	最終チェック	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の学習内容を復習し、活動記録シートに記録する
26 回目	学外活動①	教育施設へ交流授業実施①	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の活動内容を復習し、活動記録シートに記録する
27 回目			
28 回目	学外活動②	教育施設へ交流授業実施②	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の活動内容を復習し、活動記録シートに記録する
29 回目			
30 回目	学外活動③	教育施設へ交流授業実施③	㊦ 配布資料を熟読する ㊦ 本日の活動内容を復習し、活動記録シートに記録する
32 回目			

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	配布資料
履修条件	チームワークを大切にすること
履修上の注意	USBを紛失しない
オフィスアワー	月曜日 13:30～14:30 それ以外の時間はメールで問い合わせてください
備考・メッセージ	期日をしっかりと守って、課題を仕上げましょう

ギャップイヤー事後指導	授業コード：
英文科目名称： Follow-up Seminar for Gap Term	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4thQ	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>1st Quarter： ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービスマナー」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。</p> <p>2nd Quarter： 1st Quarter に作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービスマナー： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・振り返りを第三者にも分かりやすく ppt を作成し、プレゼンテーションができる。	・プレゼンテーション	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・ギャップタームの経験を詳細に分析し、振り返り（体験の言語化）が正しく文章化できる。	・文書作成 ・授業や活動への参加・態度	50%

キャリアデザイン力			
			合計 100%
補足事項			
「ギャップタームの振り返り」文書作成、そのプレゼンテーションで、総合的に評価する。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション、振り返り	・グループで体験の報告会 ・ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
2回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
3回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
4回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
5回目	振り返り	ギャップタームの振り返り、目標シート作成、各種アンケート等	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。

			復習：授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。
6回目	キャリア研修	フレッシュワークによる「ギャップの体験をどのように職業に結びつけるか」についてのワークショップ	予習：興味関心のある職業について考えておくこと。 復習：自分の適切について引き続き考えておくこと。
7回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
8回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
9回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
10回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
11回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
12回目	プレゼン作成	振り返りの内容について、各自プレゼンテーションを作成する。	予習：ギャップ中に書いた日誌を読み返しておくこと。 復習：作成中のプレゼンへの追加項目を考える。
13回目	プレゼン準備	プレゼンテーションの練習、リハーサルを行う。	予習：プレゼンの練習をおこなう。 復習：プレゼンのポイントを確認する。
14回目		プレゼンテーション&評価	予習：プレゼンの練習 復習：プレゼンの振り返り
15回目		プレゼンテーション&評価	予習：プレゼンの練習

			復習：プレゼンの振り返り
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、振り返り（体験の言語化）をしっかりと、自分のキャリアにつなげて欲しい。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように、日頃から気づいたことを記録しておくこと。

講義科目名称:ギャップイヤー事後指導	授業コード:302320
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
岩崎 千恵・園田 靖・中里 亜希子				

授業概要	本授業では、春期休暇に取り組む「インターンシップ」研修のための準備を行う。1Q2Qでのギャップイヤー事前指導において学んだ知識や経験を活かし、「働く」ということはどういうことかを真剣に考える。学生は、卒業後の進路を考え、学生同士で話し合い、行動することができるようになる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した振る舞いができる。	感想文	10%
専門的知識や技能	日常生活の場面で、自らの意思を表現・伝達し、相手の意思ができる。	小テスト	10%
異文化知識・対応能力	自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようと試みることができる	振り返りシート	20%
課題解決能力	自分のやり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、チームで仕事をするときには、自分の役割を理解し活動することができる。	グループワーク ペアワーク	20%
キャリアデザイン力	ビジネスを実践していくにあたり理解を持ち一般的な技能を持っている。卒業後の就職や進学について、具体的に考え、行動することができる。	活動シート 発表	40%
合計			100%

補足事項

本授業では、感想文、小テストそれぞれ 10%、振り返りシート、グループワーク、ペアワークがそれぞれ 20%、活動シート・発表が 40%の割合で評価する。

- ・授業後に活動シートを記入・提出をする。
- ・感想文や振り返りシートは、適宜行い提出する

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	自己紹介(学校・職場)を考える。授業概要の説明	
2回目	インターンシップ研	「インターンシップとは何か」について	学びや気づきを感想文に書

	修について①	ループワーク	く
3回目	インターンシップ研修について②	インターンシップで何を学びたいかを考えシェアする	学びや気づきを感想文に書く
4回目	インターンシップ研修について③	インターンシップ事前準備①:働く心構え、必要な日本語、学校生活でできる準備などを考える	予習:ビジネス日本語 復習:小テスト
5回目	インターンシップ研修について④	インターンシップ事前準備②:目標の設定-インターンシップ体験後の自分を考える	予習:ビジネス日本語 履歴書の準備 復習:小テスト
6回目	インターンシップ研修について⑤	インターンシップ事前準備③:書類作成(履歴書)	予習:履歴書作成 復習:小テスト
7回目	インターンシップ研修について⑥	インターンシップ事前準備④:書類作成(履歴書)	予習:履歴書完成 復習:小テスト
8回目	ビジネスマナー	研修先での振る舞いについて① 言葉遣い・服装を整える	予習:志望動機 復習:マナーの見直し
9回目	ビジネスマナー	研修先での振る舞いについて② 手紙・お礼状について学び作成	予習:志望動機 復習:マナーの見直し
10回目	インターンシップ研修について⑦	インターンシップ事前準備⑤:書類作成(志望動機書)	予習:志望動機 復習:マナーの見直し 志望動機書完成
11回目	インターンシップ研修について⑧	インターンシップ事前準備⑥:書類作成(志望動機書)	予習:面接の準備 復習:志望動機書完成
12回目	インターンシップ研修について⑨	インターンシップ面接練習① 実際面接を想定し、学生同士で面接を体験する	予習:面接の準備 復習:面接官の視点を振り返る
13回目	インターンシップ研修について⑩	インターンシップ面接練習② 実際面接を想定し、学生同士で面接を体験する	復習:面接で不得意なところを改善する
14回目	まとめ①	インターンシップ先でのトラブル対応について考える	
15回目	まとめ②	インターンシップ後の自分を想像する。インターンシップ開始までの過ごし方を考える。	
16回目	定期試験	発表・筆記試験	

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	適宜プリント配布
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡してください
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	他者と協力し、お互いの成長のために真剣に取り組むこと。

卒業研究	授業コード：
英文科目名称： Graduation Report	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 th &8 th Q	2年	2単位	必修	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>国際コミュニケーション学科2年間で、頑張ったこと学んだことを自分の言葉で具体的に書き表してもらいます。アクティブラーニングを多く取り入れている長崎短大での学びを深く見つめ直し、「各自の短大での学びが今後の自分のキャリアにどのように影響するか」を研究することを目的とします。</p> <p>また、日本語で書き終えたものを、自分の一番得意とする言語（英語、韓国語、中国語）への一部（又は全文）翻訳版も追加し、語学学習のまとめとします。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・構成と各セクションの内容 (60%) ・まとめの内容 (20%) ・翻訳(A4,1枚) (10%) ・文章表現 (10%) 	各「資質・能力」の評価を含み、総合的にこなう。	100%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

各「資質・能力」の評価を含み、総合的にこなう。

(提出内容と作成方法)

①グーグルドキュメントで作成

②「日本語で、1部」(A4, 10.5ポイント、縦40文字x横36行=1440文字、10枚程度)写真なども使用すること。

③「⑥」の部分の「他言語(英語、韓国語、中国語)」翻訳を追加。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	書き方の説明、タイトル、目次の確認	予習： 特になし 復習： 全体構成を考える
2回目	ギャップ活動	ギャップ活動の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
3回目	ギャップ活動	ギャップ活動の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
4回目	ギャップ活動	ギャップ活動の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
5回目	留学・異文化体験	留学・異文化体験の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
6回目	留学・異文化体験	留学・異文化体験の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
7回目	留学・異文化体験	留学・異文化体験の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
8回目	茶道文化	茶道文化の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
9回目	地域活動	地域活動の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
10回目	地域活動	地域活動の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
11回目	専門授業	専門授業の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り
12回目	専門授業	専門授業の振り返りとまとめ	予習： 文章の確認 復習： 学修の振り返り

13回目	学びのまとめ	2年間の学びの総まとめ	予習：文章の確認 復習：学修の振り返り
14回目	2年間の学びを今後にどういかすか	学修したことを卒業後にどのようにいかすか	予習：文章の確認 復習：学修の振り返り
15回目	謝辞	お世話になった方々への謝辞	予習：文章の確認 復習：特になし
16回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	2年間の総まとめを行い、学びを分析、次へつなげることを目的とします。次の項目をしっかりと考えて、文章にしてください。 ・やったこと・特に頑張ったこと・知ったこと、学んだこと・これからにつなげること
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。